

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	学部の学科の設置								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン メイジダイガク								
フリガナ大学の名称	学校法人 明治大学								
大学本部の位置	メイジダイガク								
大学の目的	明治大学 (Meiji University)								
新設学部等の目的	東京都千代田区神田駿河台一丁目1番地								
新設学部等の概要	教育基本法及び学校教育法に基づき、学術の理論と応用とを教授研究して、有為な人材を育成し、文化の発展と人類の福祉に貢献することを目的とする								
新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
政治経済学部 School of Political Science and Economics	年	人	年次人	人	学士 (政策学)	法学関係	第1年次 令和8年4月	(1~2年次) 東京都杉並区永福1-9-1 (3~4年次) 東京都千代田区神田駿河台1-1	
政策学科 Department of Policy Studies	4	200	-	800			第1年次		
計									
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	政治経済学部 経済学科〔定員減〕 (△65) (令和8年4月) 総合数理学部 現象数理統計学科〔定員増〕 (15) (令和8年4月 名称変更予定) ネットワークデザイン学科〔定員増〕 (15) (令和8年4月) 政治経済学部 地域行政学科(廃止) (△165) ※令和8年4月学生募集停止 令和8年4月名称変更予定 総合数理学部 現象数理学科⇒現象数理統計学科								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	政策学科	講義	演習	実験・実習	計	124単位			
		258科目	16科目	11科目	285科目				
新設	学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)
			教授	准教授	講師	助教	計		
	政治経済学部 政策学科		11人 (11)	3人 (3)	3人 (3)	0人 (0)	17人 (17)	0人 (0)	212人 (212)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		11 (11)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	16 (16)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		
	小計（a～b）		11 (11)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	17 (17)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）		11 (11)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	17 (17)			
計		11人 (11)	3人 (3)	3人 (3)	0人 (0)	17人 (17)	0 (0)		

既	法学部 法律学科	60	7	6	0	73	7	290	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 27人				
		(60)	(7)	(6)	(0)	(73)	(7)	(290)					
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	59	7	6	0	72	/	/					
		(59)	(7)	(6)	(0)	(72)							
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1	0	0	0	1							
		(1)	(0)	(0)	(0)	(1)							
	小計（a～b）	60	7	6	0	73							
		(60)	(7)	(6)	(0)	(73)							
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0	0	0	0	0							
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)							
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0	0	0	0	0							
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)							
	計（a～d）	60	7	6	0	73							
		(60)	(7)	(6)	(0)	(73)							
	商学部 商学科	67	19	10	0	96			4		286	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 33人	
		(67)	(19)	(10)	(0)	(96)			(4)		(286)		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	67	19	10	0	96			/		/		
		(67)	(19)	(10)	(0)	(96)							
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0	0	0	0	0							
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)							
小計（a～b）	67	19	10	0	96								
	(67)	(19)	(10)	(0)	(96)								
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0	0	0	0	0								
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)								
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0	0	0	0	0								
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)								
計（a～d）	67	19	10	0	96								
	(67)	(19)	(10)	(0)	(96)								
政治経済学部 政治学科	21	4	6	0	31	0	214	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 12人					
	(21)	(4)	(6)	(0)	(31)	(0)	(214)						
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	21	4	6	0	31	/	/						
	(21)	(4)	(6)	(0)	(31)								
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0	0	0	0	0								
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)								
小計（a～b）	21	4	6	0	31								
	(21)	(4)	(6)	(0)	(31)								
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0	0	0	0	0								
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)								
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0	0	0	0	0								
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)								
計（a～d）	21	4	6	0	31								
	(21)	(4)	(6)	(0)	(31)								
政治経済学部 経済学科	28	11	9	0	48			0	332		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 21人		
	(28)	(11)	(9)	(0)	(48)			(0)	(332)				
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	27	11	8	0	46			/	/				
	(27)	(11)	(8)	(0)	(46)								
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1	0	1	0	2								
	(1)	(0)	(1)	(0)	(2)								
小計（a～b）	28	11	9	0	48								
	(28)	(11)	(9)	(0)	(48)								
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0	0	0	0	0								
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)								
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0	0	0	0	0								
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)								
計（a～d）	28	11	9	0	48								
	(28)	(11)	(9)	(0)	(48)								

文学部 文学科	32 (32)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	45 (45)	5 (5)	344 (344)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 13人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	32 (32)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	45 (45)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	32 (32)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	45 (45)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	32 (32)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	45 (45)			
文学部 史学地理学科	19 (19)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	28 (28)	9 (9)	306 (306)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	19 (19)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	28 (28)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	19 (19)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	28 (28)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	19 (19)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	28 (28)			
文学部 心理社会学科	8 (8)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	2 (2)	273 (273)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 6人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	16 (16)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	8 (8)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	16 (16)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	8 (8)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	16 (16)			
理工学部 電気電子生命学科	15 (15)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	28 (28)	4 (4)	221 (221)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 10人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	15 (15)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	28 (28)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	15 (15)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	28 (28)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	15 (15)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	28 (28)			

理工学部 機械工学科	9 (9)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	187 (187)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 8 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	9 (9)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	15 (15)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	9 (9)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	15 (15)			
理工学部 機械情報工学科	17 (17)	6 (6)	6 (6)	0 (0)	29 (29)	4 (4)	205 (205)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 8 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	17 (17)	6 (6)	6 (6)	0 (0)	29 (29)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	17 (17)	6 (6)	6 (6)	0 (0)	29 (29)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	17 (17)	6 (6)	6 (6)	0 (0)	29 (29)			
理工学部 建築学科	14 (14)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	19 (19)	6 (6)	210 (210)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 9 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	14 (14)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	19 (19)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	14 (14)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	19 (19)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	14 (14)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	19 (19)			
理工学部 応用化学科	11 (11)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	4 (4)	174 (174)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 8 人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	11 (11)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	11 (11)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			

設	理工学部 情報科学科	6 (6)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	5 (5)	187 (187)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 8 人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	13 (13)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	6 (6)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	6 (6)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	13 (13)			
	理工学部 数学科	7 (7)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	1 (1)	163 (163)	大学設置基準別 表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数 6 人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	14 (14)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	7 (7)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	14 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	14 (14)			
	理工学部 物理学科	8 (8)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	1 (1)	183 (183)	大学設置基準別 表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数 6 人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8 (8)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	8 (8)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	15 (15)				
農学部 農学科	9 (9)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	20 (20)	5 (5)	136 (136)	大学設置基準別 表第一に定め る基幹教員数の 四分の三の数 9 人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	20 (20)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	9 (9)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	20 (20)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	9 (9)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	20 (20)				

農学部 食料環境政策学科	8 (8)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	113 (113)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	8 (8)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	14 (14)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	8 (8)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	14 (14)			
農学部 農芸化学科	12 (12)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	22 (22)	1 (1)	111 (111)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	12 (12)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	22 (22)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	12 (12)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	22 (22)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	12 (12)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	22 (22)			
農学部 生命科学科	13 (13)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	7 (7)	119 (119)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	13 (13)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	13 (13)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	19 (19)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	13 (13)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	19 (19)			
経営学部 経営学科	25 (25)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	34 (34)	5 (5)	181 (181)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 16人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	25 (25)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	34 (34)	/	/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	25 (25)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	34 (34)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	25 (25)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	34 (34)			

経営学部 会計学科	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	189 (189)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 9人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
経営学部 公共経営学科	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	199 (199)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 8人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科	25 (25)	14 (14)	4 (4)	0 (0)	43 (43)	4 (4)	147 (147)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 18人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	25 (25)	14 (14)	4 (4)	0 (0)	43 (43)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	25 (25)	14 (14)	4 (4)	0 (0)	43 (43)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	25 (25)	14 (14)	4 (4)	0 (0)	43 (43)			
国際日本学部 国際日本学科	23 (23)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	31 (31)	3 (3)	177 (177)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 15人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	23 (23)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	31 (31)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	23 (23)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	31 (31)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	23 (23)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	31 (31)			

分	総合数理学部 現象数理統計学科	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	1 (1)	65 (65)	「令和7年4月 名称変更届出 (予定)」 大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 7 人					
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	/	/						
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計（a～b）	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計（a～d）	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)								
	総合数理学部 先端バイオサイエンス学科	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)				3 (3)	59 (59)	大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 8 人		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)				/	/			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計（a～b）	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計（a～d）	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)								
	総合数理学部 ネットワークサイエンス学科	11 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	15 (15)							2 (2)	64 (64)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	/							/	
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
小計（a～b）	11 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	15 (15)									
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計（a～d）	11 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	15 (15)									
国際連携機構（学部担当）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	24 (24)						
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		/	/						
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
小計（a～b）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計（a～d）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計	484 (484)	177 (177)	71 (71)	0 (0)	732 (732)					83 (83)	— (—)			
合 計	495 (495)	180人 (180)	74 (74)	0 (0)	749人 (749)					83 (83)	— (—)			

職 種		専 属		そ の 他		計		
事 務 職 員		506 (506)		426 (426)		932 (932)		
技 術 職 員		35 (35)		26 (26)		61 (61)		
図 書 館 職 員		36 (36)		24 (24)		60 (60)		
そ の 他 の 職 員		13 (13)		15 (15)		28 (28)		
指 導 補 助 者		0 (0)		36 (36)		36 (36)		
計		590 (590)		527 (527)		1117 (1117)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地	420,078 m ²	0 m ²	0 m ²		420,078 m ²		
	そ の 他	434,542 m ²	0 m ²	0 m ²		434,542 m ²		
	合 計	854,620 m ²	0 m ²	0 m ²		854,620 m ²		
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		
		326,065 m ² (326,065 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)		326,065 m ² (326,065 m ²)		
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	996 室	教 員 研 究 室	998 室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	学部等単 位で特定 不能なた め、大学 全体の数
	大学全体	2,779,133 [935,652] (2,736,425 [926,022])	32,396 [21,057] (24,896 [17,427])	36,397 [12,688] (37,181 [12,962])	19,302 [19,282] (18,459 [18,440])	21,941 (21,941)	22 (22)	
	計	2,779,133 [935,652] (2,736,425 [926,022])	32,396 [21,057] (24,896 [17,427])	36,397 [12,688] (37,181 [12,962])	19,302 [19,282] (18,459 [18,440])	21,941 (21,941)	22 (22)	
	スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂	厚生補導施設			
		852 m ²		3,983 m ²	41,895 m ²			大学全体

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
	教員1人当り研究費等		1,142千円	1,142千円	1,142千円	1,142千円	—千円	—千円	
	共同研究費等		1,070千円	1,070千円	1,070千円	1,070千円	—千円	—千円	
	図書購入費	16,939千円	17,628千円	18,360千円	19,137千円	19,963千円	—千円	—千円	
	設備購入費	18,566千円	18,566千円	18,566千円	18,566千円	18,566千円	—千円	—千円	
学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,369千円	1,174千円	1,179千円	1,184千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、寄付金、資産運用収入等								
大学等の名称	明治大学								
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人					
法学部									
法律学科	4	920	-	3,680	学士(法学)	1.05 ≪1.01≫	昭和24	【法学部、商学部、政治経済学部、文学部、経営学部、情報コミュニケーション学部】 (1・2年次) 東京都杉並区永福1-9-1 (3・4年次) 東京都千代田区神田駿河台1-1	
商学部									
商学科	4	1,150	-	4,600	学士(商学)	1.07 ≪1.02≫	昭和24		
政治経済学部									
政治学科	4	290	-	1,160	学士(政治学)	1.05 ≪1.01≫	昭和24		
経済学科	4	695	-	2,780	学士(経済学)	1.02 ≪0.99≫	昭和24		
地域行政学科	4	165	-	660	学士(地域行政学)	1.07 ≪1.02≫	昭和24		
文学部									
文学科	4	465	-	1,860	学士(文学)	1.03 ≪1.00≫	昭和24		
史学地理学科	4	290	-	1,160	学士(文学)	1.07 ≪1.02≫	昭和24		
心理社会学科	4	155	-	620	学士(文学)	1.05 ≪1.03≫	昭和24		
理工学部									
電気電子生命学科	4	236	-	944	学士(工学)	1.06 ≪1.03≫	平成14	【理工学部、農学部】 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1	
機械工学科	4	138	-	552	学士(工学)	1.08 ≪1.03≫	平成14		
機械情報工学科	4	138	-	552	学士(工学)	1.05 ≪1.00≫	平成19		
建築学科	4	173	-	692	学士(工学)	1.02 ≪0.96≫	平成元		
応用化学科	4	127	-	508	学士(工学)	1.06 ≪1.02≫	平成元		
情報科学科	4	127	-	508	学士(工学)	1.08 ≪1.03≫	平成元		
数学科	4	63	-	252	学士(理学)	1.04 ≪1.02≫	平成元		
物理学科	4	63	-	252	学士(理学)	1.06 ≪1.01≫	平成元		
農学部									
農学科	4	150	-	600	学士(農学)	1.03 ≪0.96≫	平成元		
食料環境政策学科	4	150	-	600	学士(農学)	1.05 ≪1.02≫	昭和24		
農芸化学科	4	150	-	600	学士(農学)	1.07 ≪1.05≫	昭和24		
生命科学科	4	150	-	600	学士(農学)	1.08 ≪1.05≫	昭和28		
経営学部		745		2,980					
経営学科	4	485	-	1,940	学士(経営学)	1.04 ≪1.01≫	平成12		
会計学科	4	160	-	640	学士(経営学)	1.01 ≪0.98≫	昭和28		
公共経営学科	4	100	-	400	学士(経営学)	1.09 ≪1.04≫	平成14		
情報コミュニケーション学部									

※平成27年度入学生より2年次から学科所属

情報コミュニケーション学科	4	520	-	2,080	学士(情報コミュニケーション学)	1.08 ≪1.03≫	平成16	
国際日本学部								
国際日本学科	4	400	-	1,600	学士(国際日本学)	1.10 ≪1.04≫	平成20	
総合数理学部								
現象数理学科	4	90	-	360	学士(理学)	1.04 ≪1.00≫	平成25	
先端メディアサイエンス学科	4	120	-	480	学士(理学)	1.04 ≪1.01≫	平成25	
ネットワークデザイン学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.01 ≪0.97≫	平成25	
						1.08 ≪1.05≫	平成25	
大 学 等 の 名 称	明治大学大学院							
学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	
法学研究科								【法学研究科、商学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、文学研究科、情報コミュニケーション研究科、理工学研究科建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系】
公法学専攻								東京都千代田区神田駿河台1-1
博士前期課程	2	20	-	40	修士(法学)	0.40	昭和27	
博士後期課程	3	6	-	18	博士(法学)	0.50	昭和29	
民事法学専攻								
博士前期課程	2	20	-	40	修士(法学)	0.77	昭和27	
博士後期課程	3	6	-	18	博士(法学)	0.44	昭和29	【理工学研究科(建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系及び総合芸術系を除く)、農学研究科】
商学研究科								神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
商学専攻								
博士前期課程	2	35	-	70	修士(商学)	0.42	昭和27	
博士後期課程	3	6	-	18	博士(商学)	1.22	昭和29	
政治経済学研究科								
政治学専攻								
博士前期課程	2	25	-	50	修士(政治学)	0.60	昭和27	
博士後期課程	3	5	-	15	博士(政治学)	1.33	昭和29	
経済学専攻								【教養デザイン研究科】
博士前期課程	2	35	-	70	修士(経済学)	0.47	昭和35	東京都杉並区永福1-9-1
博士後期課程	3	7	-	21	博士(経済学)	0.57	昭和38	
経営学研究科								
経営学専攻								【理工学研究科建築・都市学専攻総合芸術系、先端数理学研究科、国際日本学研究科】
博士前期課程	2	40	-	80	修士(経営学)	0.88	昭和34	東京都中野区中野4-21-1
博士後期課程	3	8	-	24	博士(経営学)	0.66	昭和34	
文学研究科								
日本文学専攻								
博士前期課程	2	6	-	12	修士(文学)	1.91	昭和39	
博士後期課程	3	2	-	6	博士(文学)	1.00	昭和39	
英文学専攻								
博士前期課程	2	6	-	12	修士(文学)	0.66	昭和39	

〔令和7年4月
名称変更届出〕

既設大学等の状況	博士後期課程	3	2	-	6	博士(文学)	0.16	昭和39
	仏文学専攻							
	博士前期課程	2	6	-	12	修士(文学)	0.33	昭和39
	博士後期課程	3	2	-	6	博士(文学)	0.66	昭和39
	独文学専攻							
	博士前期課程	2	6	-	12	修士(文学)	0.33	昭和46
	博士後期課程	3	2	-	6	博士(文学)	0.33	昭和49
	演劇学専攻							
	博士前期課程	2	6	-	12	修士(文学)	0.50	昭和46
	博士後期課程	3	1	-	3	博士(文学)	1.00	昭和49
	文芸メディア専攻							
	修士課程	2	6	-	12	修士(文学)	0.41	平成23
	史学専攻							
	博士前期課程	2	25	-	50	修士(史学)	0.98	昭和32
	博士後期課程	3	6	-	18	博士(史学)	1.88	昭和32
	地理学専攻							
	博士前期課程	2	5	-	10	修士(地理学)	0.50	昭和32
	博士後期課程	3	2	-	6	博士(地理学)	0.66	昭和39
	臨床人間学専攻							
	博士前期課程	2	14	-	28	修士(人間学)	1.71	平成17
	博士後期課程	3	4	-	12	博士(人間学)	1.00	平成19
	理工学研究科							
	電気工学専攻							
	博士前期課程	2	82	-	164	修士(工学・学術)	1.14	平成5
	博士後期課程	3	6	-	18	博士(工学・学術)	0.55	平成5
	機械工学専攻							
	博士前期課程	2	86	-	172	修士(工学・学術)	1.09	平成5
	博士後期課程	3	7	-	21	博士(工学・学術)	0.33	平成5
	応用化学専攻							
	博士前期課程	2	40	-	80	修士(工学・学術)	1.36	平成5
	博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学・学術)	0.86	平成5
	建築・都市学専攻							
博士前期課程	2	80	-	160	修士(工学・建築学・学術)	1.26	平成29	
博士後期課程	3	7	-	21	博士(工学・建築学・学術)	1.28	平成29	
情報科学専攻								
博士前期課程	2	40	-	80	修士(工学・理学・学術)	1.18	平成29	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(工学・理学・学術)	0.77	平成29	
数学専攻								
博士前期課程	2	15	-	30	修士(理学・学術)	0.50	平成29	

博士後期課程	3	3	-	9	博士(理学・学術)	0.11	平成29
物理学専攻							
博士前期課程	2	16	-	32	修士(理学・学術)	1.25	平成29
博士後期課程	3	3	-	9	博士(理学・学術)	0.22	平成29
農学研究科							
農芸化学専攻							
博士前期課程	2	26	-	52	修士(農学)	1.67	昭和34
博士後期課程	3	2	-	6	博士(農学)	1.33	昭和53
農学専攻							
博士前期課程	2	20	-	40	修士(農学)	1.60	昭和53
博士後期課程	3	2	-	6	博士(農学)	2.33	平成2
農業経済学専攻							
博士前期課程	2	8	-	16	修士(農学)	0.50	昭和53
博士後期課程	3	2	-	6	博士(農学)	0.16	平成2
生命科学専攻							
博士前期課程	2	26	-	52	修士(農学)	1.00	平成15
博士後期課程	3	2	-	6	博士(農学)	2.33	平成15
情報コミュニケーション研究科							
情報コミュニケーション学専攻							
博士前期課程	2	25	-	50	修士(情報コミュニケーション学)	0.78	平成20
博士後期課程	3	6	-	18	博士(情報コミュニケーション学)	0.72	平成22
教養デザイン研究科							
教養デザイン専攻							
博士前期課程	2	20	-	40	修士(学術)	1.10	平成20
博士後期課程	3	4	-	12	博士(学術)	1.91	平成22
先端数理科学研究科							
現象数理学専攻							
博士前期課程	2	20	-	40	修士(数理科学・統計科学)	0.85	平成23
博士後期課程	3	5	-	15	博士(数理科学・統計科学)	0.26	平成23
先端メディアサイエンス学専攻							
博士前期課程	2	45	-	90	修士(工学・理学・数理科学)	1.12	平成29
博士後期課程	3	6	-	18	博士(工学・理学・数理科学)	0.33	平成29
ネットワークデザイン専攻							
博士前期課程	2	36	-	72	修士(工学・理学)	0.75	平成29
博士後期課程	3	3	-	9	博士(工学・理学)	0.22	平成29
国際日本学研究科							
国際日本学専攻							
博士前期課程	2	20	-	40	修士(国際日本学)	0.80	平成24
博士後期課程	3	5	-	15	博士(国際日本学)	1.20	平成26

グローバル・ガバナンス研究科									
グローバル・ガバナンス専攻									
博士後期課程	3	5	-	15	博士(グローバル・ガバナンス学)	0.26	平成26		
ガバナンス研究科									
ガバナンス専攻	2	55	-	110	公共政策修士(専門職)	1.19	平成19	【ガバナンス研究科、グローバル・ビジネス研究科、会計専門職研究科、法務研究科】 東京都千代田区神田駿河台1-1	
グローバル・ビジネス研究科									
グローバル・ビジネス専攻	2	85	-	170	経営管理修士(専門職)	1.20	平成16		
会計専門職研究科									
会計専門職専攻	2	80	-	160	会計修士(専門職)	1.18	平成17		
法務研究科									
法務専攻	3	40	-	120	法務博士(専門職)	0.96	平成16		
附属施設の概要	<p>名称：工作工場 目的：理工学部（主に機械系）学生に、教科目として数種の簡単な機械要素製作を行わせることにより、工作機械における基本的な加工技術を取得させ、機械の設計・製作に関する全体的な理解を深めることを設置の目的としている 所在地：神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 生田キャンパス内</p> <hr/> <p>名称：農場（黒川農場） 目的：農場は、農場に関する実習その他の学生教育を行い、農場を活用した研究の推進を図るとともに、その成果を社会に還元する。 黒川農場 所在地：神奈川県川崎市麻生区 設置：2012年4月 規模：総面積13.4ha</p>								

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

教育課程等の概要																
(政治経済学部 政策学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員以外の教員
(人文科学科目群)	哲学概論	1・2前	○		2		○								1	
	哲学史	1・2後	○		2		○								1	
	基礎論理学	1・2前	○		2		○								1	
	応用論理学概論	1・2後			2		○								1	
	歴史学	1・2前・後	○		4		○								2	
	国語表現	1・2前・後	○		4		○			1					9	
	日本文学	1・2前・後	○		4		○			1					4	
	外国文学	3・4前			2		○								1	
	言語と文化	3・4前			2		○								1	
	留学認定科目(基礎科目・人文)	1・2・3・4前・後			1		○								1	
小計(10科目)	—	—	0	25	0	—	—	—	1	0	0	0	0	16	—	
(社会科学科目群)	法学	1・2前・後			4		○								1	
	地理学	1・2前・後			4		○								1	
	文化人類学A	1・2前	○		2		○								2	
	文化人類学B	1・2後	○		2		○								2	
	現代心理学	1前・2後			2		○								2	
	心理学概論	1後・2前			2		○								1	
	文化論概論	1・2前	○		4		○								1	
	異文化理解とコミュニケーション	1・2前	○		2		○			1						
	異文化摩擦とコミュニケーション	1・2後	○		2		○			1						
	国際地域研究基礎論	1・2前			2		○								2	
	ジェンダー論I	1・2前			2		○								1	
	ジェンダー論II	3・4後			2		○								1	
	留学認定科目(基礎科目・社会)	1・2・3・4前・後			1		○								1	
小計(13科目)	—	—	0	31	0	—	—	—	1	0	0	0	0	13	—	
(自然科学科目群)	基礎数学	1・2前	○		2		○								1	
	数学概論	1・2後			2		○								1	
	線形代数学I	1・2前	○		2		○								2	
	線形代数学II	1・2後			2		○								2	
	線形代数学III	3・4前			2		○								1	
	線形代数学IV	3・4後			2		○								1	
	解析学I	1・2前	○		2		○								2	
	解析学II	1・2後			2		○								2	
	科学史A	1・2前	○		2		○								1	
	科学史B	1・2後	○		2		○								1	
	技術史A	3・4前			2		○								1	
	技術史B	3・4後			2		○								1	
	物理科学概論A	1・2前			2		○								1	
	物理科学概論B	1・2後			2		○								1	
	環境科学概論A	1・2前			2		○								1	
	環境科学概論B	1・2後			2		○								1	
	生命科学概論A	1・2前			2		○								1	
	生命科学概論B	1・2後			2		○								1	
	留学認定科目(基礎科目・自然)	1・2・3・4前・後			1		○								1	
小計(19科目)	—	—	0	37	0	—	—	—	0	0	0	0	0	8	—	
	教養演習I A	1前			2				○						7	
	教養演習I B	1後			2				○						6	
	教養演習II A	2前			2				○						7	
	教養演習II B	2後			2				○						6	

(総合科目群) 基礎科目目	教養演習ⅠC	1通			4			○									11		
	教養演習ⅡC	2通			4			○									11		
	ICTベーシック	1・2前・後			4			○									1	メディア	
	共通総合講座Ⅰ	1・2前			2			○									2	メディア・オムニバス	
	共通総合講座Ⅱ	1・2後			2			○									2	メディア・オムニバス	
	国際文化特殊講義A	1・2前			2			○									1		
	国際文化特殊講義B	1・2後			2			○									1		
	Top School Seminar (International Cultures) A	1・2・3・4前			2			○									1	メディア	
	Top School Seminar (International Cultures) B	1・2・3・4後			2			○									1	メディア	
	日本事情A	1・2後			2			○									14	オムニバス	
	日本事情B	1・2後			2			○									1		
	日本事情C	1・2前			2			○									1		
	留学認定科目(基礎科目・総合)	1・2・3・4前・後			1			○									1		
	小計(17科目)	—	—	0	37	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	35	—	
	外国語科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○		1			○									8	
		英語Ⅱ	2・3・4前・後			1			○									23	
		英語Ⅲ	2・3・4前・後			1			○									5	
英語Ⅳ		2・3・4前・後			1			○									3		
ドイツ語Ⅰ		1・2・3・4前・後	○	1				○			1						6		
ドイツ語Ⅱ		1・2・3・4前・後			1			○			1						5		
ドイツ語Ⅲ		2・3・4前・後			1			○			1						5		
ドイツ語Ⅳ		2・3・4前・後			1			○									1		
フランス語Ⅰ		1・2・3・4前・後	○	1				○									3		
フランス語Ⅱ		1・2・3・4前・後			1			○									4		
フランス語Ⅲ		2・3・4前・後			1			○									8		
フランス語Ⅳ		2・3・4前・後			1			○									1		
中国語Ⅰ		1・2・3・4前・後	○	1				○			1						5		
中国語Ⅱ		1・2・3・4前・後			1			○			1						5		
中国語Ⅲ		2・3・4前・後			1			○			1						15		
中国語Ⅳ		2・3・4前・後			1			○									1		
スペイン語Ⅰ		1・2・3・4前・後	○	1				○			1						4		
スペイン語Ⅱ		1・2・3・4前・後			1			○			1						4		
スペイン語Ⅲ		2・3・4前・後			1			○			1						7		
スペイン語Ⅳ		2・3・4前・後			1			○									1		
日本語Ⅰ		1・2・3・4前		1				○									2		
日本語Ⅱ		1・2・3・4後			1			○									2		
日本語Ⅲ		2・3・4前・後			1			○									2		
日本語Ⅳ	2・3・4前・後			1			○									2			
A C E Content-based Study	1・2・3・4前・後			1			○									4			
A C E General Communication Skills	1・2・3・4前・後			1			○			1						6			
A C E Exam Skills	1・2・3・4前・後			1			○			1						2			
A C E Presentation Skills	1・2・3・4前・後			1			○									1			
A C E Academic Training	1・2・3・4前・後			1			○									2			
小計(29科目)	—	—	5	24	0	—	—	—	1	3	0	0	0	0	0	83	—		
健康・運動科学科目	運動学演習Ⅰ-1	1前	○	1				○		1							6		
	運動学演習Ⅰ-2	1後	○	1				○		1							6		
	健康・運動科学Ⅰ	2前・後	○		2			○									1		
	健康・運動科学Ⅱ	3・4前・後			2			○		1									
	健康・運動科学Ⅲ	3・4前・後			2			○		1									
	運動学演習Ⅱ-1	2前			1			○		1							10		
	運動学演習Ⅱ-2	2後			1			○		1							9		
	運動学演習Ⅲ-1	3前			1			○									2		
	運動学演習Ⅲ-2	3後			1			○									2		
	運動学演習Ⅳ-1	4前			1			○									2		
	運動学演習Ⅳ-2	4後			1			○									2		
	生涯スポーツ演習	2・3・4休			1			○		1							2		
小計(12科目)	—	—	2	13	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	0	16	—		
(3学科共通基本科目)	政治学特殊講義A	1・2前			2			○									1		
	政治学特殊講義B	1・2後			2			○									1		
	社会学特殊講義A	1・2前			2			○									1		
	社会学特殊講義B	1・2後			2			○									1		
	経済学特殊講義A	1・2前			2			○									1		
	経済学特殊講義B	1・2後			2			○									1		
	経済政策特殊講義A	1・2前			2			○									1		
	経済政策特殊講義B	1・2後			2			○									1		
	海外留学演習Ⅰ	1・2休			2			○									1		
	海外留学演習Ⅱ	1・2休			2			○									1		
	海外留学演習Ⅲ	1・2休			2			○									1		
	海外留学演習Ⅳ	1・2休			2			○									1		

	留学基礎講座	1・2後			2	○										1	
	留学準備講座	1・2前			2	○										1	
	就業力育成総合講座	1・2前・後			2	○										1	
	留学認定科目（基本科目・3学科共通）	1・2・3・4前・後			1	○										1	
	小計（16科目）	—	—	0	23	8	—		0	0	0	0	0	0	6	—	
（3学科共通関係科目） 応用科目	日本・アジア文化論A	3・4後			2	○										1	
	日本・アジア文化論B	3・4後			2	○										1	
	日本・アジア文化論C	3・4後			2	○			1							1	
	日本・アジア文化論D	3・4後			2	○										1	
	日本・アジア地域論A	3・4前			2	○										1	
	日本・アジア地域論B	3・4前			2	○										1	
	日本・アジア地域論C	3・4前			2	○										1	
	日本・アジア地域論D	3・4前			2	○										1	
	ヨーロッパ文化論A	3・4後			2	○										1	
	ヨーロッパ文化論B	3・4後			2	○										1	
	ヨーロッパ文化論C	3・4後			2	○										1	
	ヨーロッパ文化論D	3・4後			2	○										1	
	ヨーロッパ地域論A	3・4前			2	○										1	
	ヨーロッパ地域論B	3・4前			2	○				1						1	
	ヨーロッパ地域論C	3・4前			2	○										1	
	ヨーロッパ地域論D	3・4前			2	○										1	
	アメリカ文化論A	3・4後			2	○										1	
	アメリカ文化論C	3・4後			2	○										1	
	アメリカ文化論D	3・4後			2	○										1	
	アメリカ地域論A	3・4前			2	○										1	
	アメリカ地域論C	3・4前			2	○										1	
	アメリカ地域論D	3・4前			2	○										1	
	連環地域文化論A	3・4前			2	○										1	
	連環地域文化論B	3・4後			2	○										1	
	連環地域文化論C	3・4前			2	○										1	
	連環地域文化論D	3・4後			2	○				1						1	
身体文化論	3・4前			2	○										1		
スポーツ文化論	3・4後			2	○				1						1		
表象文化論	3・4後			2	○										1		
留学認定科目（応用科目・3学科共通）	1・2・3・4前・後			1	○										1		
小計（30科目）	—	—	0	59	0	—		2	2	0	0	0	0	16	—		
（専門演習科目） 応用演習科目	専門演習（卒業論文）ⅠA	3前			2	○		11	3	3					57		
	専門演習（卒業論文）ⅡA	3後			2	○		11	3	3					57		
	専門演習（卒業論文）Ⅲ	4前			2	○		11	3	3					57		
	専門演習（卒業論文）Ⅳ	4後			2	○		11	3	3					57		
	小計（4科目）	—	—	0	8	0	—	11	3	3	0	0	0	57	—		
（専門応用研究科目）	専門研究Ⅰ	3前			2	○		1							4		
	専門研究Ⅱ	3後			2	○		1							4		
	専門研究Ⅲ	4前			2	○		1							4		
	専門研究Ⅳ	4後			2	○		1							4		
	専門演習（卒業論文）ⅠB	3前			2	○		11	3	3					57		
	専門演習（卒業論文）ⅡB	3後			2	○		11	3	3					57		
小計（6科目）	—	—	0	12	0	—	11	3	3	0	0	0	58	—			
（総合講座科目） 応用講座科目	応用総合講座A	1・2後			2	○									3	メディア・オムニバス	
	応用総合講座B	1・2前			2	○									3	メディア・オムニバス	
	応用総合講座C	1・2前			2	○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座D	1・2後			2	○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座E	1・2前			2	○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座F	1・2後			2	○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座G	1・2前			2	○		1							1	メディア・オムニバス	
	小計（7科目）	—	—	0	14	0	—	1	0	0	0	0	0	6	—		
（特殊講義科目） 応用講義科目	政治学特殊講義C	3・4前			2	○									1		
	政治学特殊講義D	3・4後			2	○									1		
	政治学特殊講義E	3・4前			2	○									1		
	政治学特殊講義F	3・4後			2	○									1		
	社会学特殊講義C	3・4前			2	○									1		
	社会学特殊講義D	3・4後			2	○									1		
	経済学特殊講義C	3・4前			2	○									1		
	経済学特殊講義D	3・4後			2	○									1		
	経済政策特殊講義C	3・4前			2	○									1		
	経済政策特殊講義D	3・4後			2	○									1		
	国際文化特殊講義E	3・4前			2	○									1		
	国際文化特殊講義F	3・4後			2	○									1		
	Top School Seminar (International Cultures) C	3・4前			2	○									1	メディア	

	Top School Seminar (International Cultures) D	3・4後			2		○									1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) E	3・4前			2		○									1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) F	3・4後			2		○									1	メディア
	留学認定科目 (応用科目・特殊講義)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
	小計 (17科目)	—	—	0	33	0	—			0	0	0	0	0	0	8	—
科実目習	社会実習	1・2・3・4通				2		○								1	
	小計 (1科目)	—	—	0	0	2	—			0	0	0	0	0	0	1	—
(情報科目)	ICT統計解析入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICT統計解析応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICTデータベース入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICTデータベース応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICT画像編集入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICT画像編集応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICT動画編集入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICT動画編集応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	
	ICT音楽編集入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	
	ICT音楽編集応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	
	ICTプログラミング入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICTプログラミング応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICT Webページ作成	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア
	ICT eラーニングデザイン入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	
	ICT eラーニングデザイン応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	
ICT プレゼンテーション	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
小計 (16科目)	—	—	0	32	0	—			0	0	0	0	0	0	9	—	
(政策学基本科目)	政策学基礎	1前	○	2			○			7		3				2	メディア・オムニバス
	憲法B	1前・後		2			○									1	
	政治学基礎	1前		2			○									1	
	政治理論基礎	1後		2			○									1	
	マクロ経済学I	1前・後		2			○									1	
	ミクロ経済学I	1前・後		2			○									1	
	行政学基礎	2前	○	2			○			1							
	行政理論基礎	2後	○	2			○			1							
	政策研究総合講座	2前		2			○			4		1				1	オムニバス
	経済政策	2前・後	○	2			○					2					
	民法(総則)	2前		2			○									1	
	民法(物権)	2後		2			○									1	
	地域研究論	2前		2			○									1	
	地域分析法	2前		2			○									1	
	簿記論	2後		4			○									1	
	統計学	1・2前・後		4			○									1	
	社会科学方法論	1・2後		4			○									1	
	数量経済分析	1・2前・後		2			○					1					
	社会学A	1・2前		2			○									1	
	社会学B	1・2後		2			○									1	
	憲法A	1・2前・後		2			○									2	
	マクロ経済学II	1・2前・後		2			○									1	
	ミクロ経済学II	1・2前・後		2			○									1	
	政策フィールドスタディーズ	1・2後		2			○	※		1							中間で教室外での調査活動を実施
政策評価・デザイン	1・2前		2			○									1		
財政学	2前・後		2			○									1		
現代経済事情	2前・後		2			○			1								
留学認定科目 (基本科目・政策学科)	1・2・3・4前・後			1		○									1		
小計 (28科目)	—	—	12	49	0	—			7	0	3	0	0	0	15	—	
	地域行政学	3・4前			4		○									1	
	都市政策	3・4前			2		○			1							
	都市行政	3・4後			2		○			1							
	地方自治法	3・4後			2		○			1							
	自治体経営論	3・4前			4		○			1							
	地方財政論	3・4前			4		○									1	
	社会保障論	3・4前			4		○									1	
	情報政策論	3・4前			2		○									1	
	公共政策学	3・4前			4		○									1	
	公会計学	3・4後			4		○									1	
	行政法	3・4前			4		○									1	
	社会福祉政策論	3・4前			2		○									1	
	コミュニティ福祉論	3・4後			2		○									1	
	地域産業論	3・4後			4		○				1						
	中小企業論	3・4前			4		○				1						
協同組合学	3・4前			4		○									1		

(政策学関係科目) 応用科目	食料経済学	3・4前		4	○									1	
	労働経済学	3・4後		4	○									1	
	異文化ビジネス論概論	3・4前		2	○			1							
	実践異文化ビジネス論	3・4後		2	○			1							
	応用政策論A	3・4後		2	○									1	
	応用政策論B	3・4前		2	○									1	
	応用政策論C	3・4前		2	○									1	
	応用政策論D	3・4前		2	○									1	
	応用政策論E	3・4後		2	○									1	
	応用政策論F	3・4前		2	○									1	
	応用政策論G	3・4後		2	○									1	
	環境経済学	3・4前		4	○									1	
	地域情報論	3・4前		2	○									1	
	人口学	3・4後		4	○									1	
	経済地理学	3・4後		4	○									1	
	地域開発論	3・4前		2	○									1	
	地域振興論	3・4後		2	○									1	
	応用数量分析	3・4前		2	○									1	
	民法(債権)	3・4前		2	○									1	
	民法(家族法)	3・4後		2	○									1	
	経済法	3・4前		4	○									1	
	租税論	3・4後		2	○									1	
	経済政策原理	3・4後		2	○					1					
	金融政策	3・4後		2	○									1	
	現代経済政策	3・4前		4	○					1					
	開発経済学	3・4前		4	○									1	
	国際経済政策	3・4前		4	○				1						
	財政政策	3・4後		4	○									1	
国際法A	3・4前		2	○									1		
国際法B	3・4後		2	○									1		
観光・文化政策論	3・4前		2	○									1		
社会的企業論	3・4前		2	○									1		
政策マーケティング	3・4前		2	○									1		
政策実践総合講座	3・4後		2	○				6		3				オムニバス	
政策研究インターンシップ	3・4通		2	※		○		1						事前にネット課程、事後にグループワーク等を実施	
留学認定科目(応用科目・政策学科)	1・2・3・4前・後		1	○										1	
小計(52科目)		—	—	0	143	0	—	8	0	3	0	0	0	28	—
(資格応用科目)	日本史概論	1・2前・後		2	○									3	
	東洋史概論	1・2前・後		2	○									2	
	西洋史概論	1・2前・後		2	○									2	
	地誌学概論	1・2前・後		2	○									1	
	人文地理学概論	1・2前・後		2	○									1	
	自然地理学概論	1・2前・後		2	○									1	
	法律学概論	1・2前・後		2	○									1	
	倫理学概論	1・2前・後		2	○									1	
小計(8科目)		—	—	0	16	0	—	0	0	0	0	0	0	12	—
合計(285科目)		—	—	19	556	10	—	11	3	3	0	0	0	212	
学位又は称号	学士(政策学)			学位又は学科の分野			法学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
基礎科目28単位(4つの科目群から各4単位以上)、外国語科目16単位(2言語を選択必修とし、所定の単位(英語6単位以上、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語及び日本語は8単位以上修得))、健康・運動科学科目4単位、政策学関係科目42単位(1年次必修12単位、2年次選択必修6単位)、専門研究科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。 専門演習(卒業論文)を8単位修得していない者は、政治経済学部教授会が別に定めるコースに所属し、当該所属コースの科目のうちから20単位以上を修得しなければならない。専門演習を履修する者は、4年次に4単位以上(外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。)を修得しなければならない。ただし、4年次に大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。専門演習を履修しない者は、在学最終学期において、4単位以上(外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。)を修得しなければならない。ただし、在学最終学期において、大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。(履修上限単位数(年間):1年次42単位、2年次44単位、3・4年次48単位)							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			14週					
							1時限の授業の標準時間			100分					

教 育 課 程 等 の 概 要

(政治経済学部 政策学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員
(人文科学群) 基礎科目	外国文学	3・4前			2		○								1	
	言語と文化	3・4前			2		○								1	
	留学認定科目(基礎科目・人文)	1・2・3・4前・後			1		○								1	
	小計(3科目)	—	—	0	5	0	—	—	—	0	0	0	0	0	3	—
(社会科学群) 基礎科目	ジェンダー論Ⅱ	3・4後			2		○								1	
	留学認定科目(基礎科目・社会)	1・2・3・4前・後			1		○								1	
	小計(2科目)	—	—	0	3	0	—	—	—	0	0	0	0	0	2	—
(自然科学群) 基礎科目	線形代数学Ⅲ	3・4前			2		○								1	
	線形代数学Ⅳ	3・4後			2		○								1	
	技術史A	3・4前			2		○								1	
	技術史B	3・4後			2		○								1	
	留学認定科目(基礎科目・自然)	1・2・3・4前・後			1		○								1	
小計(5科目)	—	—	0	9	0	—	—	—	0	0	0	0	0	3	—	
(総合科目群) 基礎科目	Top School Seminar (International Cultures) A	1・2・3・4前			2		○								1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) B	1・2・3・4後			2		○								1	メディア
	留学認定科目(基礎科目・総合)	1・2・3・4前・後			1		○								1	
	小計(3科目)	—	—	0	5	0	—	—	—	0	0	0	0	0	2	—
外国語科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○		1		○								8	
	英語Ⅱ	2・3・4前・後			1		○								23	
	英語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○								5	
	英語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○								3	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○				1				6	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○				1				5	
	ドイツ語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○				1				5	
	ドイツ語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○								1	
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○								3	
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○								4	
	フランス語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○								8	
	フランス語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○								1	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○				1				5	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○				1				5	
	中国語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○				1				15	
	中国語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○								1	
	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○				1				4	
	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○				1				4	
	スペイン語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○				1				7	
	スペイン語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○								1	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1		○								2	
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1		○								2	
	日本語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○								2	
	日本語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○								2	
	ACE Content-based Study	1・2・3・4前・後			1		○								4	
	ACE General Communication Skills	1・2・3・4前・後			1		○				1				6	
	ACE Exam Skills	1・2・3・4前・後			1		○				1				2	
	ACE Presentation Skills	1・2・3・4前・後			1		○								1	
	ACE Academic Training	1・2・3・4前・後			1		○								2	
小計(29科目)	—	—	—	5	24	0	—	—	—	1	3	0	0	0	83	—

健康・運動科学科目	健康・運動科学Ⅱ	3・4前・後			2		○			1							
	健康・運動科学Ⅲ	3・4前・後			2		○			1							
	運動学演習Ⅲ-1	3前			1											2	
	運動学演習Ⅲ-2	3後			1											2	
	運動学演習Ⅳ-1	4前			1											2	
	運動学演習Ⅳ-2	4後			1											2	
	生涯スポーツ演習	2・3・4休			1						1					2	
小計(7科目)	—	—	0	9	0	—				1	0	0	0	0	4	—	
通基本科目 (3学科共通)	留学認定科目(基本科目・3学科共通)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
	小計(1科目)	—	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	1	—	
(3学科共通関係科目)	日本・アジア文化論A	3・4後			2		○									1	
	日本・アジア文化論B	3・4後			2		○									1	
	日本・アジア文化論C	3・4後			2		○			1							
	日本・アジア文化論D	3・4後			2		○									1	
	日本・アジア地域論A	3・4前			2		○									1	
	日本・アジア地域論B	3・4前			2		○									1	
	日本・アジア地域論C	3・4前			2		○									1	
	日本・アジア地域論D	3・4前			2		○									1	
	ヨーロッパ文化論A	3・4後			2		○									1	
	ヨーロッパ文化論B	3・4後			2		○									1	
	ヨーロッパ文化論C	3・4後			2		○									1	
	ヨーロッパ文化論D	3・4後			2		○									1	
	ヨーロッパ地域論A	3・4前			2		○									1	
	ヨーロッパ地域論B	3・4前			2		○			1							
	ヨーロッパ地域論C	3・4前			2		○									1	
	ヨーロッパ地域論D	3・4前			2		○									1	
	アメリカ文化論A	3・4後			2		○									1	
	アメリカ文化論C	3・4後			2		○									1	
	アメリカ文化論D	3・4後			2		○									1	
	アメリカ地域論A	3・4前			2		○									1	
	アメリカ地域論C	3・4前			2		○									1	
	アメリカ地域論D	3・4前			2		○									1	
	連環地域文化論A	3・4前			2		○									1	
	連環地域文化論B	3・4後			2		○									1	
	連環地域文化論C	3・4前			2		○									1	
	連環地域文化論D	3・4後			2		○			1							
	身体文化論	3・4前			2		○									1	
	スポーツ文化論	3・4後			2		○			1							
	表象文化論	3・4後			2		○									1	
	留学認定科目(応用科目・3学科共通)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
	小計(30科目)	—	—	0	59	0	—				2	2	0	0	0	16	—
(専門演習科目)	専門演習(卒業論文)ⅠA	3前			2		○			11	3	3				57	
	専門演習(卒業論文)ⅡA	3後			2		○			11	3	3				57	
	専門演習(卒業論文)Ⅲ	4前			2		○			11	3	3				57	
	専門演習(卒業論文)Ⅳ	4後			2		○			11	3	3				57	
	小計(4科目)	—	—	0	8	0	—			11	3	3	0	0	57	—	
(専門研究科目)	専門研究Ⅰ	3前			2		○			1						4	
	専門研究Ⅱ	3後			2		○			1						4	
	専門研究Ⅲ	4前			2		○			1						4	
	専門研究Ⅳ	4後			2		○			1						4	
	専門演習(卒業論文)ⅠB	3前			2		○			11	3	3				57	
	専門演習(卒業論文)ⅡB	3後			2		○			11	3	3				57	
小計(6科目)	—	—	0	12	0	—			11	3	3	0	0	58	—		
(特殊講義科目)	政治学特殊講義C	3・4前			2		○									1	
	政治学特殊講義D	3・4後			2		○									1	
	政治学特殊講義E	3・4前			2		○									1	
	政治学特殊講義F	3・4後			2		○									1	
	社会学特殊講義C	3・4前			2		○									1	
	社会学特殊講義D	3・4後			2		○									1	
	経済学特殊講義C	3・4前			2		○									1	
	経済学特殊講義D	3・4後			2		○									1	
	経済政策特殊講義C	3・4前			2		○									1	
	経済政策特殊講義D	3・4後			2		○									1	
	国際文化特殊講義E	3・4前			2		○									1	
	国際文化特殊講義F	3・4後			2		○									1	
	Top School Seminar (International Cultures) C	3・4前			2		○									1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) D	3・4後			2		○									1	メディア
Top School Seminar (International Cultures) E	3・4前			2		○									1	メディア	

	Top School Seminar (International Cultures) F	3・4後			2											1	メディア
	留学認定科目 (応用科目・特殊講義)	1・2・3・4前・後			1											1	
	小計 (17科目)	—	—	0	33	0	—			0	0	0	0	0	0	8	—
科実 目習	社会実習	1・2・3・4通			2											1	
	小計 (1科目)	—	—	0	2	—				0	0	0	0	0	0	1	—
(情報 科目)	ICT統計解析入門	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICT統計解析応用	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICTデータベース入門	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICTデータベース応用	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICT画像編集入門	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICT画像編集応用	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICT動画編集入門	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICT動画編集応用	1・2・3・4前・後			2											1	
	ICT音楽編集入門	1・2・3・4前・後			2											1	
	ICT音楽編集応用	1・2・3・4前・後			2											1	
	ICTプログラミング入門	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICTプログラミング応用	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICT Webページ作成	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
	ICT eラーニングデザイン入門	1・2・3・4前・後			2											1	
	ICT eラーニングデザイン応用	1・2・3・4前・後			2											1	
	ICT プレゼンテーション	1・2・3・4前・後			2											1	メディア
小計 (16科目)	—	—	0	32	0	—				0	0	0	0	0	9	—	
(基本 科目)	留学認定科目 (基本科目・政策学科)	1・2・3・4前・後			1											1	
	小計 (1科目)	—	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	0	1	—
(政策 科目)	地域行政学	3・4前			4											1	
	都市政策	3・4前			2												
	都市行政	3・4後			2					1							
	地方自治法	3・4後			2					1							
	自治体経営論	3・4前			4					1							
	地方財政論	3・4前			4											1	
	社会保障論	3・4前			4											1	
	情報政策論	3・4前			2											1	
	公共政策学	3・4前			4											1	
	公会計学	3・4後			4											1	
	行政法	3・4前			4											1	
	社会福祉政策論	3・4前			2											1	
	コミュニティ福祉論	3・4後			2											1	
	地域産業論	3・4後			4					1							
	中小企業論	3・4前			4					1							
	協同組合学	3・4前			4											1	
	食料経済学	3・4前			4											1	
	労働経済学	3・4後			4											1	
	異文化ビジネス論概論	3・4前			2					1							
	実践異文化ビジネス論	3・4後			2					1							
	応用政策論A	3・4後			2											1	
	応用政策論B	3・4前			2											1	
	応用政策論C	3・4前			2											1	
	応用政策論D	3・4前			2											1	
	応用政策論E	3・4後			2											1	
	応用政策論F	3・4前			2											1	
	応用政策論G	3・4後			2											1	
	環境経済学	3・4前			4											1	
	地域情報論	3・4前			2											1	
	人口学	3・4後			4											1	
	経済地理学	3・4後			4											1	
	地域開発論	3・4前			2											1	
	地域振興論	3・4後			2											1	
応用数量分析	3・4前			2											1		
民法 (債権)	3・4前			2											1		
民法 (家族法)	3・4後			2											1		
経済法	3・4前			4											1		
租税論	3・4後			2											1		
経済政策原理	3・4後			2								1					
金融政策	3・4後			2											1		
現代経済政策	3・4前			4								1					
開発経済学	3・4前			4											1		
国際経済政策	3・4前			4					1								
財政政策	3・4後			4											1		

国際法A	3・4前			2		○									1	
国際法B	3・4後			2		○									1	
観光・文化政策論	3・4前			2		○									1	
社会的企業論	3・4前			2		○									1	
政策マーケティング	3・4前			2		○									1	
政策実践総合講座	3・4後			2		○			6		3					オムニバス
政策研究インターシッブ	3・4通			2		※		○	1							<small>事前にゼミナール講座、事後にグループワーク等を実施</small>
留学認定科目（応用科目・政策学科）	1・2・3・4前・後			1		○									1	
小計（52科目）	—	—	0	143	0	—			8	0	3	0	0	0	28	—
計（177科目）	—	—	5	344	2	—			11	3	3	0	0	0	163	
学位又は称号	学士（政策学）			学位又は学科の分野				法学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
<p>基礎科目28単位（4つの科目群から各4単位以上）、外国語科目16単位（2言語を選択必修とし、所定の単位（英語6単位以上、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語及び日本語は8単位以上修得））、健康・運動科学科目4単位、政策学関係科目42単位（1年次必修12単位、2年次選択必修6単位）、専門研究科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>専門演習（卒業論文）を8単位修得していない者は、政治経済学部教授会が別に定めるコースに所属し、当該所属コースの科目のうちから20単位以上を修得しなければならない。専門演習を履修する者は、4年次に4単位以上（外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。）を修得しなければならない。ただし、4年次に大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。専門演習を履修しない者は、在学最終学期において、4単位以上（外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。）を修得しなければならない。ただし、在学最終学期において、大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。（履修上限単位数（年間）：1年次42単位、2年次44単位、3・4年次48単位）</p>								1学年の学期区分				2学期				
								1学期の授業期間				14週				
								1時限の授業の標準時間				100分				

教 育 課 程 等 の 概 要

(政治経済学部 政策学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員	
(人文科学科目群)	哲学概論	1・2前	○		2		○									1	
	哲学史	1・2後	○		2		○									1	
	基礎論理学	1・2前	○		2		○									1	
	応用論理学概論	1・2後			2		○									1	
	歴史学	1・2前・後	○		4		○									2	
	国語表現	1・2前・後	○		4		○			1						9	
	日本文学	1・2前・後	○		4		○			1						4	
	留学認定科目 (基礎科目・人文)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
小計 (8科目)	—	—	—	0	21	0	—	—	—	1	0	0	0	0	14	—	
(社会科学科目群)	法学	1・2前・後			4		○									1	
	地理学	1・2前・後			4		○									1	
	文化人類学A	1・2前	○		2		○									2	
	文化人類学B	1・2後	○		2		○									2	
	現代心理学	1前・2後			2		○									2	
	心理学概論	1後・2前			2		○									1	
	文化論概論	1・2前	○		4		○									1	
	異文化理解とコミュニケーション	1・2前	○		2		○			1							
	異文化摩擦とコミュニケーション	1・2後	○		2		○			1							
	国際地域研究基礎論	1・2前			2		○									2	
	ジェンダー論I	1・2前			2		○									1	
	留学認定科目 (基礎科目・社会)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
小計 (12科目)	—	—	—	0	29	0	—	—	—	1	0	0	0	0	12	—	
(自然科学科目群)	基礎数学	1・2前	○		2		○									1	
	数学概論	1・2後			2		○									1	
	線形代数学I	1・2前	○		2		○									2	
	線形代数学II	1・2後			2		○									2	
	解析学I	1・2前	○		2		○									2	
	解析学II	1・2後			2		○									2	
	科学史A	1・2前	○		2		○									1	
	科学史B	1・2後	○		2		○									1	
	物理科学概論A	1・2前			2		○									1	
	物理科学概論B	1・2後			2		○									1	
	環境科学概論A	1・2前			2		○									1	
	環境科学概論B	1・2後			2		○									1	
	生命科学概論A	1・2前			2		○									1	
	生命科学概論B	1・2後			2		○									1	
	留学認定科目 (基礎科目・自然)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
小計 (15科目)	—	—	—	0	29	0	—	—	—	0	0	0	0	0	7	—	
	教養演習I A	1前			2				○							7	
	教養演習I B	1後			2				○							6	
	教養演習II A	2前			2				○							7	
	教養演習II B	2後			2				○							6	

(総合科目群) 基礎科目	教養演習ⅠC	1通			4			○											11	
	教養演習ⅡC	2通			4			○											11	
	ICTベーシック	1・2前・後			2			○											1	メディア
	共通総合講座Ⅰ	1・2前			2			○											2	メディア・オムニバス
	共通総合講座Ⅱ	1・2後			2			○											2	メディア・オムニバス
	国際文化特殊講義A	1・2前			2			○											1	
	国際文化特殊講義B	1・2後			2			○											1	
	Top School Seminar (International Cultures) A	1・2・3・4前			2			○											1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) B	1・2・3・4後			2			○											1	メディア
	日本事情A	1・2後			2			○											14	オムニバス
	日本事情B	1・2後			2			○											1	
	日本事情C	1・2前			2			○											1	
	留学認定科目(基礎科目・総合)	1・2・3・4前・後			1			○											1	
	小計(17科目)	—	—	0	37	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	—
外国語科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○		1			○											8	
	英語Ⅱ	2・3・4前・後			1			○											23	
	英語Ⅲ	2・3・4前・後			1			○											5	
	英語Ⅳ	2・3・4前・後			1			○											3	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1				○			1								6	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1			○			1								5	
	ドイツ語Ⅲ	2・3・4前・後			1			○			1								5	
	ドイツ語Ⅳ	2・3・4前・後			1			○											1	
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1				○											3	
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1			○											4	
	フランス語Ⅲ	2・3・4前・後			1			○											8	
	フランス語Ⅳ	2・3・4前・後			1			○											1	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1				○			1								5	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1			○			1								5	
	中国語Ⅲ	2・3・4前・後			1			○			1								15	
	中国語Ⅳ	2・3・4前・後			1			○											1	
	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1				○				1							4	
	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1			○				1							4	
	スペイン語Ⅲ	2・3・4前・後			1			○				1							7	
	スペイン語Ⅳ	2・3・4前・後			1			○											1	
日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1				○											2		
日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1			○											2		
日本語Ⅲ	2・3・4前・後			1			○											2		
日本語Ⅳ	2・3・4前・後			1			○											2		
ACE Content-based Study	1・2・3・4前・後			1			○											4		
ACE General Communication Skills	1・2・3・4前・後			1			○				1							6		
ACE Exam Skills	1・2・3・4前・後			1			○				1							2		
ACE Presentation Skills	1・2・3・4前・後			1			○											1		
ACE Academic Training	1・2・3・4前・後			1			○											2		
小計(29科目)	—	—	5	24	0	—	—	—	1	3	0	0	0	0	0	0	0	83	—	
健康・運動科学科 目	運動学演習Ⅰ-1	1前	○	1				○		1									6	
	運動学演習Ⅰ-2	1後	○	1				○		1									6	
	健康・運動科学Ⅰ	2前・後	○		2		○												1	
	運動学演習Ⅱ-1	2前			1			○		1									10	
	運動学演習Ⅱ-2	2後			1			○		1									9	
	生涯スポーツ演習	2・3・4休			1			○		1									2	
小計(6科目)	—	—	2	5	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14	—	
(3学科共通基本科目)	政治学特殊講義A	1・2前			2			○											1	
	政治学特殊講義B	1・2後			2			○											1	
	社会学特殊講義A	1・2前			2			○											1	
	社会学特殊講義B	1・2後			2			○											1	
	経済学特殊講義A	1・2前			2			○											1	
	経済学特殊講義B	1・2後			2			○											1	
	経済政策特殊講義A	1・2前			2			○											1	
	経済政策特殊講義B	1・2後			2			○											1	
	海外留学演習Ⅰ	1・2休			2				○										1	
	海外留学演習Ⅱ	1・2休			2				○										1	
	海外留学演習Ⅲ	1・2休			2	2			○										1	
	海外留学演習Ⅳ	1・2休			2	2			○										1	
	留学基礎講座	1・2後			2	2		○											1	
	留学準備講座	1・2前			2	2		○											1	
	就業力育成総合講座	1・2前・後			2			○											1	
	留学認定科目(基本科目・3学科共通)	1・2・3・4前・後			1			○											1	
小計(16科目)	—	—	0	23	8	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	—	
関係学用 (3応用)	留学認定科目(応用科目・3学科共通)	1・2・3・4前・後			1			○											1	

科目共通	小計(1科目)	—	—	0	1	0	—	0	0	0	0	0	0	1	—
	(総合講座科目)	応用総合講座A	1・2後		2		○							3	メディア・オムニバス
		応用総合講座B	1・2前		2		○						3	メディア・オムニバス	
		応用総合講座C	1・2前		2		○						2	メディア・オムニバス	
		応用総合講座D	1・2後		2		○						2	メディア・オムニバス	
		応用総合講座E	1・2前		2		○						2	メディア・オムニバス	
		応用総合講座F	1・2後		2		○						2	メディア・オムニバス	
		応用総合講座G	1・2前		2		○						1	メディア・オムニバス	
	小計(7科目)	—	—	0	14	0	—	1	0	0	0	0	6	—	
(特別講座科目)	留学認定科目(応用科目・特殊講義)	1・2・3・4前・後			1		○						1		
	小計(1科目)	—	—	0	1	0	—	0	0	0	0	0	1	—	
科目実習	社会実習	1・2・3・4通				2			○				1		
	小計(1科目)	—	—	0	0	2	—	0	0	0	0	0	1	—	
(情報科目)	ICT統計解析入門	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICT統計解析応用	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICTデータベース入門	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICTデータベース応用	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICT画像編集入門	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICT画像編集応用	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICT動画編集入門	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICT動画編集応用	1・2・3・4前・後			2		○						1		
	ICT音楽編集入門	1・2・3・4前・後			2		○						1		
	ICT音楽編集応用	1・2・3・4前・後			2		○						1		
	ICTプログラミング入門	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICTプログラミング応用	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICT Webページ作成	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	ICT eラーニングデザイン入門	1・2・3・4前・後			2		○						1		
	ICT eラーニングデザイン応用	1・2・3・4前・後			2		○						1		
	ICT プレゼンテーション	1・2・3・4前・後			2		○						1	メディア	
	小計(16科目)	—	—	0	32	0	—	0	0	0	0	0	9	—	
(政策学関係科目)	政策学基礎	1前	○	2			○			7		3		1	メディア・オムニバス
	憲法B	1前・後		2			○							2	
	政治学基礎	1前		2			○							1	
	政治理論基礎	1後		2			○							1	
	マクロ経済学I	1前・後		2			○							1	
	ミクロ経済学I	1前・後		2			○							1	
	行政学基礎	2前	○	2			○			1					
	行政理論基礎	2後	○	2			○			1					
	政策研究総合講座	2前		2			○			4		1		1	オムニバス
	経済政策	2前・後	○	2			○					2			
	民法(総則)	2前		2			○							1	
	民法(物権)	2後		2			○							1	
	地域研究論	2前		2			○							1	
	地域分析法	2前		2			○							1	
	簿記論	2後		2			○							1	
	統計学	1・2前・後		4			○							1	
	社会科学方法論	1・2後		4			○							1	
	数量経済分析	1・2前・後		2			○					1			
	社会学A	1・2前		2			○							1	
	社会学B	1・2後		2			○							1	
	憲法A	1・2前・後		2			○							2	
	マクロ経済学II	1・2前・後		2			○							1	
	ミクロ経済学II	1・2前・後		2			○							1	
	政策フィールドスタディーズ	1・2後		2			○	※		1					中間で教室外での調査活動を実施
	政策評価・デザイン	1・2前		2			○							1	
	財政学	2前・後		2			○							1	
	現代経済事情	2前・後		2			○			1					
	留学認定科目(基本科目・政策学科)	1・2・3・4前・後			1		○							1	
小計(28科目)	—	—	12	49	0	—	7	0	3	0	0	0	15	—	
(政策学関係)	留学認定科目(応用科目・政策学科)	1・2・3・4前・後			1		○							1	
	小計(1科目)	—	—	0	1	0	—	0	0	0	0	0	1	—	
(資格応用)	日本史概論	1・2前・後			2		○							3	
	東洋史概論	1・2前・後			2		○							2	
	西洋史概論	1・2前・後			2		○							2	
	地誌学概論	1・2前・後			2		○							1	

課 程 科 目	人文地理学概論	1・2前・後			2		○										1
	自然地理学概論	1・2前・後			2		○										1
	法学概論	1・2前・後			2		○										1
	倫理学概論	1・2前・後			2		○										1
	小計（8科目）	—	—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	0	0	12
合計（166科目）		—	—	19	282	10	—			11	3	3	0	0	0	178	
学位又は称号		学士（政策学）			学位又は学科の分野			法学関係									
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
<p>基礎科目28単位（4つの科目群から各4単位以上）、外国語科目16単位（2言語を選択必修とし、所定の単位（英語6単位以上、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語及び日本語は8単位以上修得））、健康・運動科学科目4単位、政策学関係科目42単位（1年次必修12単位、2年次選択必修6単位）、専門研究科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>専門演習（卒業論文）を8単位修得していない者は、政治経済学部教授会が別に定めるコースに所属し、当該所属コースの科目のうちから20単位以上を修得しなければならない。専門演習を履修する者は、4年次に4単位以上（外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。）を修得しなければならない。ただし、4年次に大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。専門演習を履修しない者は、在学最終学期において、4単位以上（外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。）を修得しなければならない。ただし、在学最終学期において、大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。（履修上限単位数（年間）：1年次42単位、2年次44単位、3・4年次48単位）</p>								1学年の学期区分				2学期					
								1学期の授業期間				14週					
								1時限の授業の標準時間				100分					

教育課程等の概要																
(法学部法律学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外を除く教員
基礎科目群	法律リテラシー	1前	○	2			○			14	3	1			2	メディア
	法学部生のための日本語Ⅰ（リテラシー）	1前	○	2			○			4					5	メディア
	法学部生のための日本語Ⅱ（精読）	1後	○	2			○			4					5	メディア
	小計（3科目）	—	—	6	0	0	—	—	—	18	3	1	0	0	7	
（1：人間と科学）	記号論理学	1・2前		2			○								1	
	心理学Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	心理学Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	法と心理	1・2前		2			○			1						
	法と言語Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	法と言語Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	マイノリティの人間学	3・4前		2			○			1						
	スポーツと社会A	1・2前		2			○			1						
	スポーツと社会B	1・2後		2			○			1						
	スポーツとメディア	3・4後		2			○			1						
	身体活動と健康A	1・2前		2			○			1						
	身体活動と健康B	1・2後		2			○			1						
	身体と環境A	1・2前		2			○								1	
	身体と環境B	1・2後		2			○								1	
	物質と宇宙Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	物質と宇宙Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	科学技術と社会	3・4後		2			○			1						
	生命と人間Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	生命と人間Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	数理と社会Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	数理と社会Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	情報と思考Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	情報と思考Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	エネルギーと環境Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	エネルギーと環境Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	エネルギー・環境政策	3・4前		2			○			1						
	科学と技術Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	科学と技術Ⅱ	1・2後		2			○			1						
小計（28科目）	—	—	—	0	56	0	—	—	—	5	0	0	0	0	6	
（2：社会と思想）	美術の歴史	1・2後		2			○								1	
	哲学Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	哲学Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	現代哲学	3・4後		2			○			1						
	倫理学Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	倫理学Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	倫理学基礎論	1・2前		2			○			1						
	政治社会学Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	政治社会学Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	経済学Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	経済学Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	歴史学（西洋史）	1・2前		2			○					1				
	歴史学（東洋史）	1・2後		2			○			1			1			
	ヨーロッパ近現代史概説	1・2後		2			○					1				
	アジアの社会と歴史Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	アジアの社会と歴史Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	社会思想史Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	社会思想史Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	社会思想史Ⅲ	3・4前		2			○								1	
	社会思想史Ⅳ	3・4後		2			○								1	
現代世界と社会思想Ⅰ	1・2前		2			○								1		
現代世界と社会思想Ⅱ	1・2後		2			○								1		
メディア文化論Ⅰ	3・4前		2			○			1							
メディア文化論Ⅱ	3・4後		2			○			1							
映像リテラシーⅠ	1・2前		2			○			1							
映像リテラシーⅡ	1・2後		2			○			1							

	映画論A	3・4前			2		○												1	
	映画論B	3・4後			2		○												1	
	小計 (28科目)	—	—	0	56	0	—			4	1	1	0	0	0	0	0	6		
3 : 地域と文化	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1・2前			2		○												4	
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1・2後			2		○												4	
	ドイツ語圏の文化Ⅲ	3・4前			2		○												2	
	ドイツ語圏の文化Ⅳ	3・4後			2		○												2	
	フランス語圏の文化Ⅰ	1・2前			2		○			1									3	
	フランス語圏の文化Ⅱ	1・2後			2		○			1									3	
	ヨーロッパ文化Ⅰ	3・4前			2		○												1	
	ヨーロッパ文化Ⅱ	3・4後			2		○												1	
	イギリス文化	1・2後			2		○			1										
	アメリカ文化Ⅰ	3・4前			2		○			1										
	アメリカ文化Ⅱ	3・4後			2		○			1										
	英語圏の文化	3・4後			2		○			1										
	スペイン文化Ⅰ	3・4前			2		○			1										
	スペイン文化Ⅱ	3・4後			2		○			1										
	ラテンアメリカ文化Ⅰ	3・4前			2		○					1								
	ラテンアメリカ文化Ⅱ	3・4後			2		○					1								
	スペイン語圏の文化Ⅰ	1・2前			2		○													1
	スペイン語圏の文化Ⅱ	1・2後			2		○						1							
	アフリカ文化	3・4前			2		○			2										6
	アジア文化Ⅰ	1・2前			2		○			1										1
	アジア文化Ⅱ	1・2後			2		○			1										1
	アジア文化Ⅲ	3・4前			2		○													1
	アジア文化Ⅳ	3・4後			2		○													1
	イスラーム文化Ⅰ	1・2前			2		○													1
	イスラーム文化Ⅱ	1・2後			2		○													1
	イスラーム文化Ⅲ	3・4前			2		○													1
	イスラーム文化Ⅳ	3・4後			2		○													1
	日本文化AⅠ	1・2前			2		○			1										
	日本文化AⅡ	1・2後			2		○			1										
	日本文化BⅠ	1・2前			2		○			1										
	日本文化BⅡ	1・2後			2		○			1										
	日本文化CⅠ	1・2前			2		○			1										
	日本文化CⅡ	1・2後			2		○			1										
	日本文化DⅠ	1・2前			2		○			1										
	日本文化DⅡ	1・2後			2		○			1										
	比較文化AⅠ	3・4前			2		○													1
	比較文化AⅡ	3・4後			2		○													1
	比較文化BⅠ	3・4前			2		○			1										
	比較文化BⅡ	3・4後			2		○			1										
	異文化理解Ⅰ	1・2前			2		○													1
	異文化理解Ⅱ	1・2後			2		○													1
	小計 (41科目)	—	—	0	82	0	—			11	0	1	0	0	0	0	0	20		
	テーマ講座	1・2前・後			2		○												1	
	小計 (1科目)	—	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	1		
外国語科目Ⅰ	EnglishAⅠ	1前	○	1			○			5	1	1							28	
	EnglishAⅡ	1後	○	1			○			5	1	1							28	
	EnglishBⅠ	1前	○	1			○			1	1								31	
	EnglishBⅡ	1後	○	1			○			1	1								31	
	初級ドイツ語AⅠ	1前	○	1			○			1									8	
	初級ドイツ語AⅡ	1後	○	1			○			1									8	
	初級ドイツ語BⅠ	1前			1		○			1		1							8	
	初級ドイツ語BⅡ	1後			1		○			1		1							8	
	初級ドイツ語実践Ⅰ	1前			1		○												1	
	初級ドイツ語実践Ⅱ	1後			1		○												1	
	特別ドイツ語(1年)AⅠ	1前		1			○												1	
	特別ドイツ語(1年)AⅡ	1後		1			○												1	
	特別ドイツ語(1年)BⅠ	1前		1			○												1	
	特別ドイツ語(1年)BⅡ	1後		1			○												1	
	初級フランス語AⅠ	1前	○	1			○			2									6	
	初級フランス語AⅡ	1後	○	1			○			2									6	
	初級フランス語BⅠ	1前			1		○			1									7	
	初級フランス語BⅡ	1後			1		○			1									7	
	初級フランス語実践Ⅰ	1前			1		○												1	
	初級フランス語実践Ⅱ	1後			1		○												1	
	特別フランス語(1年)AⅠ	1前		1			○												1	
	特別フランス語(1年)AⅡ	1後		1			○												1	
	特別フランス語(1年)BⅠ	1前		1			○												1	
特別フランス語(1年)BⅡ	1後		1			○												1		

	初級中国語A I	1前	○	1			○			1					14
	初級中国語A II	1後	○	1			○			1					14
	初級中国語B I	1前	○	1			○			1	1				12
	初級中国語B II	1後	○	1			○			1	1				12
	初級スペイン語A I	1前	○	1			○			1					5
	初級スペイン語A II	1後	○	1			○			1					5
	初級スペイン語B I	1前	○	1			○			1		1			4
	初級スペイン語B II	1後	○	1			○			1		1			4
	初級ロシア語A I	1前		1			○								4
	初級ロシア語A II	1後		1			○								4
	初級ロシア語B I	1前		1			○								4
	初級ロシア語B II	1後		1			○								4
	日本語（1年）A I	1前		1			○								1
	日本語（1年）A II	1後		1			○								1
	日本語（1年）B I	1前		1			○								1
	日本語（1年）B II	1後		1			○								1
	小計（40科目）	—	—	32	8	0	—			11	2	3	0	0	92
外国語科目群	EnglishC I	2前			1		○				1				31
	EnglishC II	2後			1		○				1				31
	English SeminarA I	2前			1		○			5	1	1			13
	English SeminarA II	2後			1		○			5	1	1			14
	PresentationA I	2前			1		○								3
	PresentationA II	2後			1		○								3
	Media EnglishA I	2前			1		○					1			7
	Media EnglishA II	2後			1		○					1			7
	WritingA I	2前			1		○								4
	WritingA II	2後			1		○								4
	TOEIC/TOEFL講座A I	2前			1		○								1
	TOEIC/TOEFL講座A II	2後			1		○								1
	中級ドイツ語A I	2前			1		○								10
	中級ドイツ語A II	2後			1		○								10
	中級ドイツ語B I	2前			1		○			1		1			8
	中級ドイツ語B II	2後			1		○			1		1			8
	中級ドイツ語実践I	2前			1		○								1
	中級ドイツ語実践II	2後			1		○								1
	ドイツ語ゼミナールA I	2前			1		○			1					
	ドイツ語ゼミナールA II	2後			1		○			1					
	時事ドイツ語A I	2前			1		○								1
	時事ドイツ語A II	2後			1		○								1
	資格ドイツ語A I	2前			1		○			1					
	資格ドイツ語A II	2後			1		○			1					
	特別ドイツ語（2年）C I	2前			1		○								1
	特別ドイツ語（2年）C II	2後			1		○								1
	特別ドイツ語（2年）D I	2前			1		○								1
	特別ドイツ語（2年）D II	2後			1		○								1
	中級フランス語A I	2前			1		○								6
	中級フランス語A II	2後			1		○								6
	中級フランス語B I	2前			1		○								6
	中級フランス語B II	2後			1		○								6
	中級フランス語実践I	2前			1		○								1
	中級フランス語実践II	2後			1		○								1
	フランス語ゼミナールA I	2前			1		○								1
	フランス語ゼミナールA II	2後			1		○								1
	時事フランス語A I	2前			1		○								1
	時事フランス語A II	2後			1		○								1
	資格フランス語A I	2前			1		○			1					
	資格フランス語A II	2後			1		○			1					
特別フランス語（2年）C I	2前			1		○								1	
特別フランス語（2年）C II	2後			1		○								1	
特別フランス語（2年）D I	2前			1		○								1	
特別フランス語（2年）D II	2後			1		○								1	
中級中国語A I	2前			1		○			1	1				15	
中級中国語A II	2後			1		○			1	1				15	
中級中国語B I	2前			1		○			1	1				15	
中級中国語B II	2後			1		○			1	1				15	
中級スペイン語A I	2前			1		○			1					4	
中級スペイン語A II	2後			1		○			1					4	
中級スペイン語B I	2前			1		○			1					4	
中級スペイン語B II	2後			1		○			1					4	
スペイン語実践I	2前			1		○								1	
スペイン語実践II	2後			1		○								1	

群	専門演習BⅡ	4後	○	2			○		43	4	4			16	
	小計(5科目)	—	—	8	2	0	—		49	5	4	0	0	17	
	現代法入門	1・2後			2		○		4	2				6	オムニバス
	Introduction to Modern Law I	1・2・3・4前	○		2		○		1						
	Introduction to Modern Law II	1・2・3・4後	○		2		○		1						
	Business Law in English I	3・4前	○		2		○							1	メディア
	Business Law in English II	3・4後	○		2		○							1	メディア
	民法(物権)	2・3・4前	○		2		○		1	1				2	
	民法(担保物権)	2・3・4後	○		2		○		1	1				2	
	民法(契約) I	3・4前	○		2		○		1					1	
	民法(契約) II	3・4後	○		2		○		1					1	
	民法(損害賠償)	3・4前・後	○		2		○			1				1	
	民法(親族) I	2・3・4前			2		○		1	1					
	民法(親族) II	2・3・4後			2		○		1	1					
	民法(相続)	3・4前・後			2		○		1	1					
	民法(家族法) I	3・4前			2		○		1						
	民法(家族法) II	3・4後			2		○		1						
	行政法A I	2・3・4前	○		2		○		2						
	行政法A II	2・3・4後	○		2		○		2						
	行政法(総論)	2・3・4後			2		○							1	
	行政法B I	3・4前	○		2		○		2						
	行政法B II	3・4後	○		2		○		2						
	行政法(救済法)	3・4前			2		○							1	
	租税法 I	3・4前			2		○		1						
	租税法 II	3・4後			2		○		1						
	地方自治・公務員法	3・4後			2		○		1						
	環境法 I	3・4前			2		○		1						
	環境法 II	3・4後			2		○		1						
	教育法 I	2・3・4前			2		○		1						
	教育法 II	2・3・4後			2		○		1						
	不動産法 I	3・4前			2		○			1					
	不動産法 II	3・4後			2		○			1					
	登記・供託法	3・4前			2		○							1	
	商法概論・総則	2・3・4前			2		○		1		1				
	商行為法(商取引法)	3・4後			2		○		1						
	会社法 I	2・3・4後	○		2		○		3					1	
	会社法 II	3・4前	○		2		○		3					1	
	会社法 III	3・4後	○		2		○		1						
	手形・小切手法 I	3・4前			2		○		1						
	手形・小切手法 II	3・4後			2		○		1						
	保険・海商法 I	3・4前			2		○				1				
	保険・海商法 II	3・4後			2		○				1				
	銀行取引法	3・4前			2		○							1	
	金融商品取引法	3・4後			2		○							1	
	民事訴訟法 I	3・4前	○		2		○		2	1					
	民事訴訟法 II	3・4後	○		2		○		2	1					
	民事執行・保全法 I	3・4前			2		○		1						
	民事執行・保全法 II	3・4後			2		○		1						
	倒産処理法 I	3・4前			2		○		1						
	倒産処理法 II	3・4後			2		○		1						
	刑事訴訟法 I	2・3・4前	○		2		○		2						メディア
	刑事訴訟法 II	2・3・4後	○		2		○		2						メディア
	経済刑法	3・4前			2		○		1						
	労働法 A I	3・4前	○		2		○		1						
	労働法 A II	3・4後	○		2		○		1						
	労働法 B I	3・4前	○		2		○		1						
	労働法 B II	3・4後	○		2		○		1						
	社会保障法 I	3・4前			2		○		1						
	社会保障法 II	3・4後			2		○		1						
	国際法 I	2・3・4前	○		2		○		1		1				
	国際法 II	2・3・4後	○		2		○		1		1				
	国際人権法	3・4後			2		○							1	
	国際経済法 I	3・4前			2		○		1						
	国際経済法 II	3・4後			2		○		1						
	国際私法 I	3・4前			2		○			1					
	国際私法 II	3・4後	○		2		○			1					
	国際取引法	3・4前			2		○							1	
	国際環境法	3・4後			2		○				1				
	国際民事訴訟法	3・4後			2		○			1					
	法社会学 I	3・4前			2		○		1						
	法社会学 II	3・4後			2		○		1						

	Legal Studies Abroad C I	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad C II	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad D I	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad D II	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad E I	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad E II	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Japanese Law Study in English A I	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Japanese Law Study in English A II	1・2・3・4集中			2	○				1					
	小計 (37科目)	—	—	0	84	0	—			1	1	1	0	0	1
資格課程関係科目群	日本史概論	1・2・3・4前・後			2	○									3
	東洋史概論	1・2・3・4前・後			2	○									2
	西洋史概論	1・2・3・4前・後			2	○									2
	人文地理学概論	1・2・3・4前・後			2	○									1
	自然地理学概論	1・2・3・4前・後			2	○									1
	地誌学概論	1・2・3・4前・後			2	○									1
	社会学概論	1・2・3・4前・後			2	○									1
	経済学概論	1・2・3・4前・後			2	○									2
	哲学概論	1・2・3・4前・後			2	○									1
	倫理学概論	1・2・3・4前・後			2	○									1
	小計 (10科目)	—	—	0	0	20	—			0	0	0	0	0	14
合計 (490科目)		—	—	72	753	20	—			60	7	6	0	0	290
学位又は称号		学士 (法学)			学位又は学科の分野			法学関係							
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等							
<p>1 卒業に必要な単位数は、128単位以上とする。</p> <p>2 基礎科目群については、法律リテラシー及び法学部生のための日本語Ⅰ・Ⅱを必修とする。</p> <p>3 教養科目群については、12単位以上を修得しなければならない。</p> <p>4 外国語科目群については、English、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語及び日本語のうちから2か国語を選択し、外国語科目Ⅰ及び外国語科目Ⅱのうちから16単位 (1か国語につき10単位を限度とする。)を修得しなければならない。</p> <p>5 保健体育科目群については、基礎運動実習Ⅰ・Ⅱを必修とする。</p> <p>6 法律必修科目群については、24単位を修得しなければならない。</p> <p>7 演習科目群については、専門演習 (AⅠ～BⅡ)を必修とする。ただし、早期卒業対象者については、専門演習BⅠ及び専門演習BⅡの修得を要しないものとする。</p> <p>8 コース科目群については、コースにおいて定める必修科目を含め、44単位以上を修得しなければならない。</p> <p>9 4年次においては、12単位以上を修得しなければならない。</p> <p>(履修上限単位数 (年間) : 1年次44単位、2～4年次49単位)</p>								1学年の学期区分				2学期			
								1学期の授業期間				14週			
								1時限の授業の標準時間				100分			

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校等の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員 (助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員 (助手を除く)」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校等の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要																
(法学部法律学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員
教養科目群	(1:人間と科学)	マイノリティの人間学	3・4前		2		○			1						
	スポーツとメディア	3・4後		2		○			1							
	科学技術と社会	3・4後		2		○			1							
	エネルギー・環境政策	3・4前		2		○			1							
	小計(4科目)	—	—	0	8	0	—	—	3	0	0	0	0	0	0	
	(2:社会と思想)	現代哲学	3・4後		2		○			1						
	社会思想史Ⅲ	3・4前		2		○								1		
	社会思想史Ⅳ	3・4後		2		○								1		
	メディア文化論Ⅰ	3・4前		2		○			1							
	メディア文化論Ⅱ	3・4後		2		○			1							
	映画論A	3・4前		2		○								1		
	映画論B	3・4後		2		○								1		
	小計(7科目)	—	—	0	14	0	—	—	2	0	0	0	0	0	2	
	(3:地域と文化)	ドイツ語圏の文化Ⅲ	3・4前		2		○								2	
	ドイツ語圏の文化Ⅳ	3・4後		2		○									2	
	ヨーロッパ文化Ⅰ	3・4前		2		○									1	
	ヨーロッパ文化Ⅱ	3・4後		2		○									1	
	アメリカ文化Ⅰ	3・4前		2		○			1							
	アメリカ文化Ⅱ	3・4後		2		○			1							
	英語圏の文化	3・4後		2		○			1							
スペイン文化Ⅰ	3・4前		2		○			1								
スペイン文化Ⅱ	3・4後		2		○			1								
ラテンアメリカ文化Ⅰ	3・4前		2		○				1							
ラテンアメリカ文化Ⅱ	3・4後		2		○					1						
アフリカ文化	3・4前		2		○			2						6		
アジア文化Ⅲ	3・4前		2		○									1		
アジア文化Ⅳ	3・4後		2		○									1		
イスラーム文化Ⅲ	3・4前		2		○									1		
イスラーム文化Ⅳ	3・4後		2		○									1		
比較文化AⅠ	3・4前		2		○									1		
比較文化AⅡ	3・4後		2		○									1		
比較文化BⅠ	3・4前		2		○			1								
比較文化BⅡ	3・4後		2		○			1								
小計(20科目)	—	—	0	40	0	—	—	5	0	1	0	0	0	12		
外国語科目	English Seminar BⅠ	3・4前		1		○			2							
	English Seminar BⅡ	3・4後		1		○			2							
	Presentation BⅠ	3・4前		1		○								1		
	Presentation BⅡ	3・4後		1		○								1		
	Media English BⅠ	3・4前		1		○								1		
	Media English BⅡ	3・4後		1		○								1		
	Advanced ReadingⅠ	3・4前		1		○								1		
	Advanced ReadingⅡ	3・4後		1		○								1		
	Writing BⅠ	3・4前		1		○								1		
	Writing BⅡ	3・4後		1		○								1		
	ドイツ語ゼミナール BⅠ	3・4前		1		○								1		
	ドイツ語ゼミナール BⅡ	3・4後		1		○								1		
	時事ドイツ語 BⅠ	3・4前		1		○								1		
	時事ドイツ語 BⅡ	3・4後		1		○								1		
	資格ドイツ語 BⅠ	3・4前		1		○								1		
	資格ドイツ語 BⅡ	3・4後		1		○								1		
	上級ドイツ語Ⅰ	3・4前		1		○								1		
	上級ドイツ語Ⅱ	3・4後		1		○								1		
	上級ドイツ語実践Ⅰ	3・4前		1		○			1							
	上級ドイツ語実践Ⅱ	3・4後		1		○			1							
時事フランス語 BⅠ	3・4前		1		○								1			
時事フランス語 BⅡ	3・4後		1		○								1			

群 III	資格フランス語 B I	3・4前			1		○													1	
	資格フランス語 B II	3・4後			1		○													1	
	上級フランス語 I	3・4前			1		○			1											
	上級フランス語 II	3・4後			1		○			1											
	上級フランス語実践 I	3・4前			1		○													1	
	上級フランス語実践 II	3・4後			1		○													1	
	上級中国語 A I	3・4前			1		○													1	
	上級中国語 A II	3・4後			1		○													1	
	上級中国語 B I	3・4前			1		○													1	
	上級中国語 B II	3・4後			1		○													1	
	上級スペイン語 A I	3・4前			1		○					1									
	上級スペイン語 A II	3・4後			1		○					1									
	上級スペイン語 B I	3・4前			1		○													1	
	上級スペイン語 B II	3・4後			1		○													1	
	上級ロシア語 A I	3・4前			1		○													1	
	上級ロシア語 A II	3・4後			1		○													1	
	上級ロシア語 B I	3・4前			1		○													1	
	上級ロシア語 B II	3・4後			1		○													1	
	小計 (40科目)	—	—	0	40	0	—	—	—	—	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	16
	...	スポーツ実習	2・3・4前・後			1				○	2										35
...	小計 (1科目)	—	—	0	1	0	—	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	
法律必修科目群	専門演習 A I	3前	○	2			○			44	4	4								14	
	専門演習 A II	3後	○	2			○			44	4	4								14	
	専門演習 B I	4前	○	2			○			43	4	4								16	
	専門演習 B II	4後	○	2			○			43	4	4								16	
	小計 (4科目)	—	—	8	0	0	—	—	—	49	5	4	0	0	0	0	0	0	0	16	
	Introduction to Modern Law I	1・2・3・4前	○	2			○			1											
	Introduction to Modern Law II	1・2・3・4後	○	2			○			1											
	Business Law in English I	3・4前	○	2			○													1	
	Business Law in English II	3・4後	○	2			○													1	
	民法 (物権)	2・3・4前	○	2			○			1	1									2	
	民法 (担保物権)	2・3・4後	○	2			○			1	1									2	
	民法 (契約) I	3・4前	○	2			○			1										1	
	民法 (契約) II	3・4後	○	2			○			1										1	
	民法 (損害賠償)	3・4前・後	○	2			○					1								1	
	民法 (親族) I	2・3・4前		2			○			1	1										
	民法 (親族) II	2・3・4後		2			○			1	1										
	民法 (相続)	3・4前・後		2			○			1	1										
	民法 (家族法) I	3・4前		2			○			1											
	民法 (家族法) II	3・4後		2			○			1											
	行政法 A I	2・3・4前	○	2			○			2											
	行政法 A II	2・3・4後	○	2			○			2											
	行政法 (総論)	2・3・4後		2			○													1	
	行政法 B I	3・4前		2			○			2											
	行政法 B II	3・4後	○	2			○			2											
	行政法 (救済法)	3・4前		2			○													1	
	租税法 I	3・4前		2			○			1											
	租税法 II	3・4後		2			○			1											
	地方自治・公務員法	3・4後		2			○			1											
	環境法 I	3・4前		2			○			1											
	環境法 II	3・4後		2			○			1											
	教育法 I	2・3・4前		2			○			1											
	教育法 II	2・3・4後		2			○			1											
	不動産法 I	3・4前		2			○					1									
	不動産法 II	3・4後		2			○					1									
	登記・供託法	3・4前		2			○													1	
	商法概論・総則	2・3・4前		2			○			1			1								
	商行為法 (商取引法)	3・4後		2			○			1											
	会社法 I	2・3・4後	○	2			○			3										1	
	会社法 II	3・4前	○	2			○			3										1	
	会社法 III	3・4後	○	2			○			1											
	手形・小切手法 I	3・4前		2			○			1											
	手形・小切手法 II	3・4後		2			○			1											
	保険・海商法 I	3・4前		2			○						1								
	保険・海商法 II	3・4後		2			○						1								
	銀行取引法	3・4前		2			○													1	
金融商品取引法	3・4後		2			○													1		
民事訴訟法 I	3・4前	○	2			○			2	1											
民事訴訟法 II	3・4後	○	2			○			2	1											
民事執行・保全法 I	3・4前		2			○			1												
民事執行・保全法 II	3・4後		2			○			1												

メディア
メディア

	サイバー法A	3・4前	○		2		○			1								
	サイバー法B	3・4後	○		2		○			1								
	サイバー法C	3・4後	○		2		○			1								
	サイバー法D	3・4前	○		2		○			1								
	サイバー法E	3・4後	○		2		○			1								
	デジタルコンテンツA	1・2・3・4前			2		○								2		メディア	
	デジタルコンテンツB	1・2・3・4後			2		○								1			
	情報通信技術A	1・2・3・4前			2		○			3					1		メディア・オムニバス	
	情報通信技術B	1・2・3・4後			2		○			3					1		メディア・オムニバス	
	法・情報・社会A	1・2・3・4前			2		○								1			
	法・情報・社会B	1・2・3・4後			2		○								1			
	情報組織論Ⅰ	1・2・3・4前			2		○								1			
	情報組織論Ⅱ	1・2・3・4後			2		○								1			
	法情報学Ⅰ	3・4前	○		2		○			1							メディア	
	法情報学Ⅱ	3・4後	○		2		○			1							メディア	
	民法特講Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	民法特講Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	刑法特講Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	刑法特講Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	医事法Ⅰ	3・4前			2		○			1								
	医事法Ⅱ	3・4後			2		○			1								
	ジェンダーと法Ⅰ	2・3・4前			2		○								1			
	ジェンダーと法Ⅱ	2・3・4後			2		○								1			
	行政学Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	行政学Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	国際関係論Ⅰ	3・4前			2		○			1								
	国際関係論Ⅱ	3・4後			2		○			1								
	国際政治史Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	国際政治史Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	外交史Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	外交史Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	司法演習Ⅰ	2・3・4前			2			○		3	1				9			
	司法演習Ⅱ	2・3・4後			2			○		3	1				9			
	法律外書講読Ⅰ	3・4前	○		2		○			5					1			
	法律外書講読Ⅱ	3・4後	○		2		○			5					1			
	小計(151科目)	—	—	0	302	0	—			36	6	2	0	0	37			
自由 選択 科目 群	社会政策Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	社会政策Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	経済政策Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	経済政策Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	財政学Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	財政学Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	会計学Ⅰ	3・4前			2		○								1			
	会計学Ⅱ	3・4後			2		○								1			
	ICTベーシック	1・2・3・4前・後			2				○						9		メディア	
	ICT統計解析入門	1・2・3・4前・後			2				○						6		メディア	
	ICT統計解析応用	1・2・3・4後			2				○						5		メディア	
	ICTデータベース入門	1・2・3・4前			2				○						3		メディア	
	ICTデータベース応用	1・2・3・4後			2				○						3		メディア	
	ICT画像編集入門	1・2・3・4前・後			2				○						2		メディア	
	ICT画像編集応用	1・2・3・4後			2				○						2		メディア	
	ICT動画編集入門	1・2・3・4前			2				○						2		メディア	
	ICT動画編集応用	1・2・3・4後			2				○						1			
	ICT音楽編集入門	1・2・3・4前			2				○						1			
	ICT音楽編集応用	1・2・3・4後			2				○						1			
	ICTプログラミング入門	1・2・3・4前・後			2				○						4		メディア	
	ICTプログラミング応用	1・2・3・4後			2				○						3		メディア	
	ICTWebページ作成	1・2・3・4後			2				○						3		メディア	
	ICTeラーニングデザイン入門	1・2・3・4前			2				○						2			
ICTeラーニングデザイン応用	1・2・3・4後			2				○						2				
ICTプレゼンテーション	1・2・3・4後			2				○						2		メディア		
総合講座	1・2・3・4前・後			2			○			2	1						メディア	
	小計(26科目)	—	—	0	52	0	—			2	1	0	0	0	19			
	留学関係科目AⅠ	1・2・3・4前・後			2		○				1							
	留学関係科目AⅡ	1・2・3・4前・後			2		○				1							
	留学関係科目AⅢ	1・2・3・4前・後			2		○				1							
	留学関係科目BⅠ	1・2・3・4前・後			2		○				1							
	留学関係科目BⅡ	1・2・3・4前・後			2		○				1							
	留学関係科目BⅢ	1・2・3・4前・後			4		○				1							
	留学関係科目CⅠ	1・2・3・4前・後			2		○				1							
	留学関係科目CⅡ	1・2・3・4前・後			2		○				1							

留學関係科目群	留學関係科目CⅢ	1・2・3・4前・後			4	○				1					
	留學関係科目DⅠ	1・2・3・4前・後			2	○				1					
	留學関係科目DⅡ	1・2・3・4前・後			2	○				1					
	留學関係科目DⅢ	1・2・3・4前・後			4	○				1					
	留學関係科目EⅠ	1・2・3・4前・後			2	○				1					
	留學関係科目EⅡ	1・2・3・4前・後			2	○				1					
	留學関係科目EⅢ	1・2・3・4前・後			4	○				1					
	留學関係科目FⅠ	1・2・3・4前・後			2	○				1					
	留學関係科目FⅡ	1・2・3・4前・後			2	○				1					
	留學基礎講座AⅠ	1・2・3・4前			2	○									1
	留學基礎講座AⅡ	1・2・3・4後			2	○									1
	留學基礎講座BⅠ	2・3・4前			2	○					1				
	留學基礎講座BⅡ	2・3・4後			2	○					1				
	留學基礎講座CⅠ	2・3・4前			2	○			1						
	留學基礎講座CⅡ	2・3・4後			2	○									1
	留學基礎講座DⅠ	1・2・3・4前			2	○									1
	留學基礎講座DⅡ	1・2・3・4後			2	○									1
	Legal Studies Abroad AⅠ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad AⅡ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad BⅠ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad BⅡ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad CⅠ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad CⅡ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad DⅠ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad DⅡ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad EⅠ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Legal Studies Abroad EⅡ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Japanese Law Study in English AⅠ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	Japanese Law Study in English AⅡ	1・2・3・4集中			2	○				1					
	小計(37科目)	-	-	0	84	0	-		1	1	1	0	0	0	1
	資格課程関係科目群	日本史概論	1・2・3・4前・後			2	○								3
		東洋史概論	1・2・3・4前・後			2	○								2
		西洋史概論	1・2・3・4前・後			2	○								2
		人文地理学概論	1・2・3・4前・後			2	○								1
		自然地理学概論	1・2・3・4前・後			2	○								1
		地誌学概論	1・2・3・4前・後			2	○								1
		社会学概論	1・2・3・4前・後			2	○								1
経済学概論		1・2・3・4前・後			2	○								2	
哲学概論		1・2・3・4前・後			2	○								1	
倫理学概論		1・2・3・4前・後			2	○								1	
小計(10科目)	-	-	0	0	20	-		0	0	0	0	0	0	14	
合計(300科目)	-	-	8	541	20	-		54	6	6	0	0	0	122	
学位又は称号	学士(法学)			学位又は学科の分野			法学関係								
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等								
1 卒業に必要な単位数は、128単位以上とする。 2 基礎科目群については、法律リテラシー及び法学部生のための日本語Ⅰ・Ⅱを必修とする。 3 教養科目群については、12単位以上を修得しなければならない。 4 外国語科目群については、English、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語及び日本語のうちから2か国語を選択し、外国語科目Ⅰ及び外国語科目Ⅱのうちから16単位(1か国語につき10単位を限度とする。)を修得しなければならない。 5 保健体育科目群については、基礎運動実習Ⅰ・Ⅱを必修とする。 6 法律必修科目群については、24単位を修得しなければならない。 7 演習科目群については、専門演習(AⅠ～BⅡ)を必修とする。ただし、早期卒業対象者については、専門演習BⅠ及び専門演習BⅡの修得を要しないものとする。 8 コース科目群については、コースにおいて定める必修科目を含め、44単位以上を修得しなければならない。 9 4年次においては、12単位以上を修得しなければならない。 (履修上限単位数(年間)：1年次44単位、2～4年次49単位)							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			14週					
							1時限の授業の標準時間			100分					

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校等の取容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校等の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」

- 」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
 - 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
 - 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

(法学部法律学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(助手を除く)の教員
基礎科目群	法律リテラシー	1前	○	2			○			14	3	1			2	メディア
	法学部生のための日本語Ⅰ（リテラシー）	1前	○	2			○			4					5	メディア
	法学部生のための日本語Ⅱ（精読）	1後	○	2			○			4					5	メディア
	小計（3科目）	—	—	6	0	0	—	—	—	18	3	1	0	0	7	
(1:人間と科学)	記号論理学	1・2前		2			○								1	
	心理学Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	心理学Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	法と心理	1・2前		2			○			1						
	法と言語Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	法と言語Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	スポーツと社会A	1・2前		2			○			1						
	スポーツと社会B	1・2後		2			○			1						
	身体活動と健康A	1・2前		2			○			1						
	身体活動と健康B	1・2後		2			○			1						
	身体と環境A	1・2前		2			○								1	
	身体と環境B	1・2後		2			○								1	
	物質と宇宙Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	物質と宇宙Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	生命と人間Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	生命と人間Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	数理と社会Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	数理と社会Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	情報と思考Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	情報と思考Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	エネルギーと環境Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	エネルギーと環境Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	科学と技術Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	科学と技術Ⅱ	1・2後		2			○			1						
小計（24科目）	—	—	0	48	0	—	—	—	4	0	0	0	0	6		
(2:社会と思想)	美術の歴史	1・2後		2			○								1	
	哲学Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	哲学Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	倫理学Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	倫理学Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	倫理学基礎論	1・2前		2			○			1						
	政治社会学Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	政治社会学Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	経済学Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	経済学Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	歴史学（西洋史）	1・2前		2			○					1				
	歴史学（東洋史）	1・2後		2			○			1						
	ヨーロッパ近現代史概説	1・2後		2			○						1			
	アジアの社会と歴史Ⅰ	1・2前		2			○					1				
	アジアの社会と歴史Ⅱ	1・2後		2			○					1				
	社会思想史Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	社会思想史Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	現代世界と社会思想Ⅰ	1・2前		2			○								1	
	現代世界と社会思想Ⅱ	1・2後		2			○								1	
	映像リテラシーⅠ	1・2前		2			○			1						
	映像リテラシーⅡ	1・2後		2			○			1						
小計（21科目）	—	—	0	42	0	—	—	—	3	1	1	0	0	5		
ドイツ語圏の文化Ⅰ	1・2前			2			○								4	
ドイツ語圏の文化Ⅱ	1・2後			2			○								4	

(3 : 地域と文化)	フランス語圏の文化 I	1・2前			2		○			1					3
	フランス語圏の文化 II	1・2後			2		○			1					3
	イギリス文化	1・2後			2		○			1					
	スペイン語圏の文化 I	1・2前			2		○								1
	スペイン語圏の文化 II	1・2後			2		○				1				
	アジア文化 I	1・2前			2		○			1					1
	アジア文化 II	1・2後			2		○			1					1
	イスラーム文化 I	1・2前			2		○								1
	イスラーム文化 II	1・2後			2		○								1
	日本文化 A I	1・2前			2		○			1					
	日本文化 A II	1・2後			2		○			1					
	日本文化 B I	1・2前			2		○			1					
	日本文化 B II	1・2後			2		○			1					
	日本文化 C I	1・2前			2		○			1					
	日本文化 C II	1・2後			2		○			1					
	日本文化 D I	1・2前			2		○			1					
	日本文化 D II	1・2後			2		○			1					
	異文化理解 I	1・2前			2		○								1
	異文化理解 II	1・2後			2		○								1
	小計 (21科目)	—	—	0	42	0	—			7	0	1	0	0	11
	テーマ講座	1・2前・後			2		○								1
小計 (1科目)	—	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	1	
外国語科目 I	English A I	1前	○	1			○		5	1	1				28
	English A II	1後	○	1			○		5	1	1				28
	English B I	1前	○	1			○		1	1					31
	English B II	1後	○	1			○		1	1					31
	初級ドイツ語 A I	1前	○	1			○		1						8
	初級ドイツ語 A II	1後	○	1			○		1						8
	初級ドイツ語 B I	1前			1		○		1		1				8
	初級ドイツ語 B II	1後			1		○		1		1				8
	初級ドイツ語実践 I	1前			1		○								1
	初級ドイツ語実践 II	1後			1		○								1
	特別ドイツ語 (1年) A I	1前		1			○								1
	特別ドイツ語 (1年) A II	1後		1			○								1
	特別ドイツ語 (1年) B I	1前		1			○								1
	特別ドイツ語 (1年) B II	1後		1			○								1
	初級フランス語 A I	1前	○	1			○		2						6
	初級フランス語 A II	1後	○	1			○		2						6
	初級フランス語 B I	1前			1		○		1						7
	初級フランス語 B II	1後			1		○		1						7
	初級フランス語実践 I	1前			1		○								1
	初級フランス語実践 II	1後			1		○								1
	特別フランス語 (1年) A I	1前		1			○								1
	特別フランス語 (1年) A II	1後		1			○								1
	特別フランス語 (1年) B I	1前		1			○								1
	特別フランス語 (1年) B II	1後		1			○								1
	初級中国語 A I	1前	○	1			○		1						14
	初級中国語 A II	1後	○	1			○		1						14
	初級中国語 B I	1前	○	1			○		1	1					12
	初級中国語 B II	1後	○	1			○		1	1					12
	初級スペイン語 A I	1前	○	1			○		1						5
	初級スペイン語 A II	1後	○	1			○		1						5
	初級スペイン語 B I	1前	○	1			○		1		1				4
	初級スペイン語 B II	1後	○	1			○		1		1				4
	初級ロシア語 A I	1前		1			○								4
	初級ロシア語 A II	1後		1			○								4
	初級ロシア語 B I	1前		1			○								4
	初級ロシア語 B II	1後		1			○								4
	日本語 (1年) A I	1前		1			○								1
	日本語 (1年) A II	1後		1			○								1
	日本語 (1年) B I	1前		1			○								1
	日本語 (1年) B II	1後		1			○								1
小計 (40科目)	—	—	32	8	0	—			11	2	3	0	0	92	
English C I	2前			1			○			1					31
English C II	2後			1			○			1					31
English Seminar A I	2前			1			○		5	1	1				13
English Seminar A II	2後			1			○		5	1	1				14
Presentation A I	2前			1			○								3

外国語科目群	PresentationA II	2後		1	○														3
	Media EnglishA I	2前		1	○														7
	Media EnglishA II	2後		1	○														7
	WritingA I	2前		1	○														4
	WritingA II	2後		1	○														4
	TOEIC/TOEFL講座A I	2前		1	○														1
	TOEIC/TOEFL講座A II	2後		1	○														1
	中級ドイツ語A I	2前		1	○														10
	中級ドイツ語A II	2後		1	○														10
	中級ドイツ語B I	2前		1	○					1									8
	中級ドイツ語B II	2後		1	○					1									8
	中級ドイツ語実践I	2前		1	○														1
	中級ドイツ語実践II	2後		1	○														1
	ドイツ語ゼミナールA I	2前		1	○						1								
	ドイツ語ゼミナールA II	2後		1	○						1								
	時事ドイツ語A I	2前		1	○														1
	時事ドイツ語A II	2後		1	○														1
	資格ドイツ語A I	2前		1	○						1								
	資格ドイツ語A II	2後		1	○						1								
	特別ドイツ語(2年)C I	2前		1	○														1
	特別ドイツ語(2年)C II	2後		1	○														1
	特別ドイツ語(2年)D I	2前		1	○														1
	特別ドイツ語(2年)D II	2後		1	○														1
	中級フランス語A I	2前		1	○														6
	中級フランス語A II	2後		1	○														6
	中級フランス語B I	2前		1	○														6
	中級フランス語B II	2後		1	○														6
	中級フランス語実践I	2前		1	○														1
	中級フランス語実践II	2後		1	○														1
	フランス語ゼミナールA I	2前		1	○														1
	フランス語ゼミナールA II	2後		1	○														1
	時事フランス語A I	2前		1	○														1
	時事フランス語A II	2後		1	○														1
	資格フランス語A I	2前		1	○						1								
	資格フランス語A II	2後		1	○						1								
	特別フランス語(2年)C I	2前		1	○														1
	特別フランス語(2年)C II	2後		1	○														1
	特別フランス語(2年)D I	2前		1	○														1
	特別フランス語(2年)D II	2後		1	○														1
	中級中国語A I	2前		1	○						1		1						15
	中級中国語A II	2後		1	○						1		1						15
	中級中国語B I	2前		1	○						1		1						15
	中級中国語B II	2後		1	○						1		1						15
	中級スペイン語A I	2前		1	○						1								4
	中級スペイン語A II	2後		1	○						1								4
	中級スペイン語B I	2前		1	○						1								4
	中級スペイン語B II	2後		1	○						1								4
	スペイン語実践I	2前		1	○														1
	スペイン語実践II	2後		1	○														1
	中級ロシア語A I	2前		1	○														4
	中級ロシア語A II	2後		1	○														4
	中級ロシア語B I	2前		1	○														4
	中級ロシア語B II	2後		1	○														4
	日本語(2年)C I	2前		1	○														1
	日本語(2年)C II	2後		1	○														1
	日本語(2年)D I	2前		1	○														1
	日本語(2年)D II	2後		1	○														1
	小計(62科目)		—	—	0	62	0	—			9	2	2	0	0				102
	保健体育科目群	基礎運動実習I	1前	○	1						○								12
		基礎運動実習II	1後	○	1						○								12
		スポーツ実習	2・3・4前・後			1					○								35
		小計(3科目)		—	—	2	1	0	—		2	0	0	0	0				42
	法律必	憲法(人権)I	1前	○	2						○								1
		憲法(人権)II	1後	○	2						○								1
		憲法(統治)I	2前	○	2						○								1
		憲法(統治)II	2後	○	2						○								1
		民法(総則)I	1前	○	2						○								3
		民法(総則)II	1後	○	2						○								3

修 科 目 群	民法（債権総論）Ⅰ	2前	○	2			○								3	メディア				
	民法（債権総論）Ⅱ	2後	○	2			○								3	メディア				
	刑法（総論）Ⅰ	1前	○	2			○								1					
	刑法（総論）Ⅱ	1後	○	2			○								1					
	刑法（各論）Ⅰ	2前	○	2			○								1					
	刑法（各論）Ⅱ	2後	○	2			○								1					
小計（12科目）	—	—	24	0	0	—									7					
選 修 科 目 群	特設演習（留学生向け）	1後			2			○								1				
	小計（1科目）	—	—	0	2	0	—									1				
コ ー ス 科 目 群	現代法入門	1・2後			2			○							4	2	6	オムニバス		
	Introduction to Modern Law I	1・2・3・4前	○		2			○							1					
	Introduction to Modern Law II	1・2・3・4後	○		2			○							1					
	民法（物権）	2・3・4前	○		2			○							1	1		2		
	民法（担保物権）	2・3・4後	○		2			○							1	1		2		
	民法（親族）Ⅰ	2・3・4前			2			○							1	1				
	民法（親族）Ⅱ	2・3・4後			2			○							1	1				
	行政法Ⅰ	2・3・4前	○		2			○							2					
	行政法Ⅱ	2・3・4後	○		2			○							2					
	行政法（総論）	2・3・4後			2			○										1		
	教育法Ⅰ	2・3・4前			2			○							1					
	教育法Ⅱ	2・3・4後			2			○							1					
	商法概論・総則	2・3・4前			2			○							1	1		1		
	会社法Ⅰ	2・3・4後	○		2			○							3			1		
	刑事訴訟法Ⅰ	2・3・4前	○		2			○							2			メディア		
	刑事訴訟法Ⅱ	2・3・4後	○		2			○							2			メディア		
	国際法Ⅰ	2・3・4前	○		2			○							1	1				
	国際法Ⅱ	2・3・4後	○		2			○							1	1				
	日本近代法史Ⅰ	1・2・3・4前			2			○							1			1		
	日本近代法史Ⅱ	1・2・3・4後			2			○							1			1		
	比較法学Ⅰ	2・3・4前			2			○							2					
	比較法学Ⅱ	2・3・4後			2			○							2					
	デジタルコンテンツA	1・2・3・4前			2			○										2	メディア	
	デジタルコンテンツB	1・2・3・4後			2			○										1		
	情報通信技術A	1・2・3・4前			2			○							3			1	メディア・オムニバス	
	情報通信技術B	1・2・3・4後			2			○							3			1	メディア・オムニバス	
	法・情報・社会A	1・2・3・4前			2			○										1		
	法・情報・社会B	1・2・3・4後			2			○										1		
	情報組織論Ⅰ	1・2・3・4前			2			○										1		
	情報組織論Ⅱ	1・2・3・4後			2			○										1		
	ジェンダーと法Ⅰ	2・3・4前			2			○										1		
	ジェンダーと法Ⅱ	2・3・4後			2			○										1		
	司法演習Ⅰ	2・3・4前			2					○					3	1		9		
	司法演習Ⅱ	2・3・4後			2					○					3	1		9		
	法律英語Ⅰ	2前	○		2			○								1				
	法律英語Ⅱ	2後	○		2			○								1				
小計（36科目）	—	—	0	72	0	—									19	3	2	0	0	23
	ICTベーシック	1・2・3・4前・後			2													9	メディア	
	ICT統計解析入門	1・2・3・4前・後			2													6	メディア	
	ICT統計解析応用	1・2・3・4後			2													5	メディア	
	ICTデータベース入門	1・2・3・4前			2													3	メディア	
	ICTデータベース応用	1・2・3・4後			2													3	メディア	
	ICT画像編集入門	1・2・3・4前・後			2													2	メディア	
	ICT画像編集応用	1・2・3・4後			2													2	メディア	
	ICT動画編集入門	1・2・3・4前			2													2	メディア	
	ICT動画編集応用	1・2・3・4後			2													1		
	ICT音楽編集入門	1・2・3・4前			2													1		
	ICT音楽編集応用	1・2・3・4後			2													1		
	ICTプログラミング入門	1・2・3・4前・後			2													4	メディア	
	ICTプログラミング応用	1・2・3・4後			2													3	メディア	
	ICTWebページ作成	1・2・3・4後			2													3	メディア	
	ICTeラーニングデザイン入門	1・2・3・4前			2													2		
	ICTeラーニングデザイン応用	1・2・3・4後			2													2		
	ICTプレゼンテーション	1・2・3・4後			2													2	メディア	
	総合講座	1・2・3・4前・後			2			○							2	1			メディア	

	小計 (18科目)	-	-	0	36	0	-	2	1	0	0	0	15	
留学関係科目群	留学関係科目A I	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目A II	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目A III	1・2・3・4前・後			4	0	○						1	
	留学関係科目B I	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目B II	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目B III	1・2・3・4前・後			4	0	○						1	
	留学関係科目C I	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目C II	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目C III	1・2・3・4前・後			4	0	○						1	
	留学関係科目D I	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目D II	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目D III	1・2・3・4前・後			4	0	○						1	
	留学関係科目E I	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目E II	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目E III	1・2・3・4前・後			4	0	○						1	
	留学関係科目F I	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学関係科目F II	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	留学基礎講座A I	1・2・3・4前			2	0	○							1
	留学基礎講座A II	1・2・3・4後			2	0	○							1
	留学基礎講座B I	2・3・4前			2	0	○				1			
	留学基礎講座B II	2・3・4後			2	0	○				1			
	留学基礎講座C I	2・3・4前			2	0	○		1					
	留学基礎講座C II	2・3・4後			2	0	○							1
	留学基礎講座D I	1・2・3・4前			2	0	○							1
	留学基礎講座D II	1・2・3・4後			2	0	○							1
	Legal Studies Abroad A I	1・2・3・4集中			2	0	○			1				
	Legal Studies Abroad A II	1・2・3・4集中			2	0	○			1				
Legal Studies Abroad B I	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Legal Studies Abroad B II	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Legal Studies Abroad C I	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Legal Studies Abroad C II	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Legal Studies Abroad D I	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Legal Studies Abroad D II	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Legal Studies Abroad E I	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Legal Studies Abroad E II	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Japanese Law Study in English A I	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
Japanese Law Study in English A II	1・2・3・4集中			2	0	○			1					
	小計 (37科目)	-	-	0	84	0	-	1	1	1	0	0	1	
資格課程関係科目群	日本史概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						3	
	東洋史概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						2	
	西洋史概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						2	
	人文地理学概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	自然地理学概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	地誌学概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	社会学概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	経済学概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						2	
	哲学概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	倫理学概論	1・2・3・4前・後			2	0	○						1	
	小計 (10科目)	-	-	0	0	20	-	0	0	0	0	0	14	
	合計 (289科目)	-	-	64	399	20	-	55	6	7	0	0	237	
学位又は称号	学士 (法学)			学位又は学科の分野				法学関係						
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等						
<p>1 卒業に必要な単位数は、128単位以上とする。</p> <p>2 基礎科目群については、法律リテラシー及び法学部生のための日本語Ⅰ・Ⅱを必修とする。</p> <p>3 教養科目群については、12単位以上を修得しなければならない。</p> <p>4 外国語科目群については、English、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語及び日本語のうちから2か国語を選択し、外国語科目Ⅰ及び外国語科目Ⅱのうちから16単位(1か国語につき10単位を限度とする。)を修得しなければならない。</p> <p>5 保健体育科目群については、基礎運動実習Ⅰ・Ⅱを必修とする。</p> <p>6 法律必修科目群については、24単位を修得しなければならない。</p> <p>7 演習科目群については、専門演習(AⅠ～BⅡ)を必修とする。ただし、早期卒業対象者については、専門演習BⅠ及び専門演習BⅡの修得を要しないものとする。</p> <p>8 コース科目群については、コースにおいて定める必修科目を含め、44単位以上を修得しなければならない。</p> <p>9 4年次においては、12単位以上を修得しなければならない。 (履修上限単位数(年間)：1年次44単位、2～4年次49単位)</p>								1学年の学期区分		2学期				
								1学期の授業期間		14週				
								1時限の授業の標準時間		100分				

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教育課程等の概要

(政治経済学部 政治学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員以外の教員	
(人文科学科目群) 基礎科目	哲学概論	1・2前	○		2		○			1							
	哲学史	1・2後	○		2		○			1							
	基礎論理学	1・2前	○		2		○								1		
	応用論理学概論	1・2後			2		○								1		
	歴史学	1・2前・後	○		4		○								2		
	国語表現	1・2前・後	○		4		○			1					10		
	日本文学	1・2前・後	○		4		○			1					5		
	外国文学	3・4前			2		○				1						
	言語と文化	3・4前			2		○				1						
	留学認定科目(基礎科目・人文)	1・2・3・4前・後			1		○								1		
小計(10科目)	—	—	0	25	0	—	—	—	2	2	0	0	0	14	—	—	
(社会科学科目群) 基礎科目	法学	1・2前・後			4		○								1		
	地理学	1・2前・後			4		○								1		
	文化人類学A	1・2前	○		2		○								2		
	文化人類学B	1・2後	○		2		○								2		
	現代心理学	1前・2後			2		○			1					1		
	心理学概論	1後・2前			2		○				1						
	文化論概論	1・2前	○		4		○								1		
	異文化理解とコミュニケーション	1・2前	○		2		○								1		
	異文化摩擦とコミュニケーション	1・2後	○		2		○								1		
	国際地域研究基礎論	1・2前			2		○								2		
	ジェンダー論Ⅰ	1・2前			2		○			1							
	ジェンダー論Ⅱ	3・4後			2		○				1						
	留学認定科目(基礎科目・社会)	1・2・3・4前・後			1		○								1		
小計(13科目)	—	—	0	31	0	—	—	—	2	2	0	0	0	10	—	—	
(自然科学科目群) 基礎科目	基礎数学	1・2前	○		2		○										
	数学概論	1・2後			2		○								1		
	線形代数学Ⅰ	1・2前	○		2		○								1		
	線形代数学Ⅱ	1・2後			2		○								1		
	線形代数学Ⅲ	3・4前			2		○								1		
	線形代数学Ⅳ	3・4後			2		○								1		
	解析学Ⅰ	1・2前	○		2		○								1		
	解析学Ⅱ	1・2後			2		○								1		
	科学史A	1・2前	○		2		○								1		
	科学史B	1・2後	○		2		○								1		
	技術史A	3・4前			2		○								1		
	技術史B	3・4後			2		○								1		
	物理科学概論A	1・2前			2		○								1		
	物理科学概論B	1・2後			2		○								1		
	環境科学概論A	1・2前			2		○								1		
	環境科学概論B	1・2後			2		○								1		
	生命科学概論A	1・2前			2		○								1		
	生命科学概論B	1・2後			2		○								1		
留学認定科目(基礎科目・自然)	1・2・3・4前・後			1		○								1			
小計(19科目)	—	—	0	37	0	—	—	—	0	0	1	0	0	7	—	—	
教養演習ⅠA	1前			2				○							2		1
	1後			2				○						1	1	1	3
	2前			2				○						2	1		3
	2後			2				○						1	1		1
	1通			4				○						1	1		9
	2通			4				○						1	1		9

(総合科目群) 基礎科目	ICTベーシック	1・2前・後			2		○									1	メディア
	共通総合講座Ⅰ	1・2前			2		○									2	メディア・オムニバス
	共通総合講座Ⅱ	1・2後			2		○									2	メディア・オムニバス
	国際文化特殊講義A	1・2前			2		○				1						
	国際文化特殊講義B	1・2後			2		○									1	
	Top School Seminar (International Cultures) A	1・2・3・4前			2		○									1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) B	1・2・3・4後			2		○									1	メディア
	日本事情A	1・2後			2		○			3	1	1				9	オムニバス
	日本事情B	1・2後			2		○									1	
	日本事情C	1・2前			2		○									1	
	留学認定科目(基礎科目・総合)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
	小計(17科目)	—	—	0	37	0	—	—	—	4	2	3	0	0	0	23	—
外国語科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○		1		○			1						14	
	英語Ⅱ	2・3・4前・後			1		○			1	1					21	
	英語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									5	
	英語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									3	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○			1						6	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○			1						4	
	ドイツ語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○			1						5	
	ドイツ語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									1	
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○									3	
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○									3	
	フランス語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									9	
	フランス語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									1	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○									13	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○									13	
	中国語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									17	
	中国語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									1	
	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○					1				4	
	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○				1					4	
	スペイン語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									8	
	スペイン語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									1	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1			○									2	
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1		○									2	
	日本語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									2	
日本語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									2		
ACE Content-based Study	1・2・3・4前・後			1		○					1				3		
ACE General Communication Skills	1・2・3・4前・後			1		○									7		
ACE Exam Skills	1・2・3・4前・後			1		○									3		
ACE Multimedia Independent Study	1・2・3・4前・後			1		○									1		
ACE Presentation Skills	1・2・3・4前・後			1		○									1		
ACE Academic Training	1・2・3・4前・後			1		○									2		
小計(30科目)	—	—	5	25	0	—	—	—	2	2	0	0	0	0	85	—	
健康・運動科学科目	運動学演習Ⅰ-1	1前	○	1			○									8	
	運動学演習Ⅰ-2	1後	○	1			○									8	
	健康・運動科学Ⅰ	2前・後	○		2		○									2	
	健康・運動科学Ⅱ	3・4前・後			2		○									1	
	健康・運動科学Ⅲ	3・4前・後			2		○									1	
	運動学演習Ⅱ-1	2前			1			○		1						10	
	運動学演習Ⅱ-2	2後			1			○		1						9	
	運動学演習Ⅲ-1	3前			1			○								2	
	運動学演習Ⅲ-2	3後			1			○								2	
	運動学演習Ⅳ-1	4前			1			○								2	
	運動学演習Ⅳ-2	4後			1			○								2	
	生涯スポーツ演習	2・3・4休			1			○		1						2	
小計(12科目)	—	—	2	13	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	16	—	
	キャリアデザイン総合講座	2前・後			2		○			1							
	政治学特殊講義A	1・2前			2		○					1					
	政治学特殊講義B	1・2後			2		○					1					
	社会学特殊講義A	1・2前			2		○			1							
	社会学特殊講義B	1・2後			2		○			1							
	マスコミュニケーション特殊講義A	1・2前			2		○			1							
	マスコミュニケーション特殊講義B	1・2後			2		○			1							
	経済学特殊講義A	1・2前			2		○									1	
経済学特殊講義B	1・2後			2		○									1		

(3 学科共通基本科目)	経済政策特殊講義 A	1・2前		2		○												1	
	経済政策特殊講義 B	1・2後		2		○												1	
	地域行政特殊講義 A	1・2前		2		○												1	
	地域行政特殊講義 B	1・2後		2		○												1	
	海外留学演習 I	1・2休		2				○										1	
	海外留学演習 II	1・2休		2				○	○									1	
	海外留学演習 III	1・2休			2				○	○								1	
	海外留学演習 IV	1・2休			2				○	○								1	
	留学基礎講座	1・2後			2				○									1	
	留学準備講座	1・2前			2				○									1	
	就業力育成総合講座 A	1・2前・後			2				○									1	
	就業力育成総合講座 B	1・2前・後			2				○									1	
	就業力育成総合講座 C	1・2前・後			2				○									1	
	就業力育成総合講座 D	1・2前・後			2				○									1	
	就業力育成総合講座 E	1・2前・後			2				○									1	
	留学認定科目 (基本科目・3学科共通)	1・2・3・4前・後			1				○										1
	小計 (25科目)		—	—	0	41	8		—		2	0	1	0	0	0	0	5	—
(3 学科共通関係科目)	日本・アジア文化論 A	3・4後			2			○										1	
	日本・アジア文化論 B	3・4後			2			○										1	
	日本・アジア文化論 C	3・4後			2			○										1	
	日本・アジア文化論 D	3・4後			2			○										1	
	日本・アジア地域論 A	3・4前			2			○										1	
	日本・アジア地域論 B	3・4前			2			○										1	
	日本・アジア地域論 C	3・4前			2			○										1	
	日本・アジア地域論 D	3・4前			2			○										1	
	ヨーロッパ文化論 A	3・4後			2			○										1	
	ヨーロッパ文化論 B	3・4後			2			○										1	
	ヨーロッパ文化論 C	3・4後			2			○										1	
	ヨーロッパ文化論 D	3・4後			2			○										1	
	ヨーロッパ文化論 E	3・4後			2			○										1	
	ヨーロッパ地域論 A	3・4前			2			○										1	
	ヨーロッパ地域論 B	3・4前			2			○										1	
	ヨーロッパ地域論 C	3・4前			2			○										1	
	ヨーロッパ地域論 D	3・4前			2			○										1	
	ヨーロッパ地域論 E	3・4前			2			○										1	
	アメリカ文化論 A	3・4後			2			○			1							1	
	アメリカ文化論 B	3・4後			2			○										1	
	アメリカ文化論 C	3・4後			2			○										1	
	アメリカ文化論 D	3・4後			2			○		1								1	
	アメリカ地域論 A	3・4前			2			○			1							1	
	アメリカ地域論 B	3・4前			2			○										1	
	アメリカ地域論 C	3・4前			2			○										1	
	アメリカ地域論 D	3・4前			2			○		1								1	
	連環地域文化論 A	3・4前			2			○			1							1	
	連環地域文化論 B	3・4後			2			○										1	
	連環地域文化論 C	3・4前			2			○										1	
	連環地域文化論 D	3・4後			2			○										1	
	身体文化論	3・4前			2			○		1								1	
	スポーツ文化論	3・4後			2			○										1	
	表象文化論	3・4後			2			○										1	
	留学認定科目 (応用科目・3学科共通)	1・2・3・4前・後			1				○										1
小計 (34科目)		—	—	0	67	0		—		2	2	0	0	0	0	0	16	—	
習(応用科目)専門科目	専門演習 (卒業論文)	3・4前・後			2			○		16	2	4						51	
	小計 (1科目)	—	—	0	2	0		—		16	2	4	0	0	0	0	51	—	
(原典応用研究科目)	原典講読 I	3前			2			○										5	
	原典講読 II	3後			2			○										5	
	原典講読 III	4前			2			○										5	
	原典講読 IV	4後			2			○										5	
	専門演習 (外国書研究・原典研究) I	3前			2				○	16	2	4						51	
	専門演習 (外国書研究・原典研究) II	3後			2				○	16	2	4						51	
小計 (6科目)	—	—	0	12	0		—		16	2	4	0	0	0	0	53	—		
(総合応用講座科目)	応用総合講座 A	1・2後			2			○		2								メディア・オムニバス	
	応用総合講座 B	1・2前			2			○										2	
	応用総合講座 C	1・2前			2			○		2								メディア・オムニバス	
	応用総合講座 D	1・2後			2			○										2	
	応用総合講座 E	1・2前			2			○										2	
	応用総合講座 F	1・2後			2			○										2	
	応用総合講座 G	1・2前			2			○										2	
	応用総合講座 H	1・2前			2			○										2	

	応用総合講座 I	1・2後			2	○								2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座 J	1・2前			2	○								2	メディア・オムニバス	
	小計 (10科目)	—	—	0	20	0	—			2	0	0	0	0	8	—
(特殊 応用 講義 科目 目)	政治学特殊講義C	3・4前			2	○									1	
	政治学特殊講義D	3・4後			2	○			1							
	政治学特殊講義E	3・4前			2	○			1							
	政治学特殊講義F	3・4後			2	○			1							
	社会学特殊講義C	3・4前			2	○				1						
	社会学特殊講義D	3・4後			2	○				1						
	社会学特殊講義E	3・4前			2	○				1						
	社会学特殊講義F	3・4後			2	○				1						
	マスコミュニケーション特殊講義C	3・4前			2	○			1							
	マスコミュニケーション特殊講義D	3・4後			2	○			1							
	マスコミュニケーション特殊講義E	3・4前			2	○			1							
	マスコミュニケーション特殊講義F	3・4後			2	○			1							
	経済学特殊講義C	3・4前			2	○									1	
	経済学特殊講義D	3・4後			2	○									1	
	経済学特殊講義E	3・4前			2	○									1	
	経済学特殊講義F	3・4後			2	○									1	
	経済政策特殊講義C	3・4前			2	○									1	
	経済政策特殊講義D	3・4後			2	○									1	
	経済政策特殊講義E	3・4前			2	○									1	
	経済政策特殊講義F	3・4後			2	○									1	
	地域行政特殊講義C	3・4前			2	○									1	
	地域行政特殊講義D	3・4後			2	○									1	
	地域行政特殊講義E	3・4前			2	○									1	
	地域行政特殊講義F	3・4後			2	○									1	
	国際文化特殊講義C	3・4前			2	○									1	
	国際文化特殊講義D	3・4後			2	○									1	
	国際文化特殊講義E	3・4前			2	○									1	
	国際文化特殊講義F	3・4後			2	○									1	
	Top School Seminar (International Cultures) C	3・4前			2	○									1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) D	3・4後			2	○									1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) E	3・4前			2	○									1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) F	3・4後			2	○									1	メディア
	留学認定科目 (応用科目・特殊講義)	1・2・3・4前・後			1	○									1	
小計 (33科目)	—	—	0	65	0	—			2	1	0	0	0	7	—	
科実 目習	社会実習	1・2・3・4通			2	○								1		
小計 (1科目)	—	—	0	0	2	—			0	0	0	0	0	1	—	
(情 報 科 目)	ICT統計解析入門	1・2・3・4前・後			2	○			1							メディア
	ICT統計解析応用	1・2・3・4前・後			2	○			1							メディア
	ICTデータベース入門	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	ICTデータベース応用	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	ICT画像編集入門	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	ICT画像編集応用	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	ICT動画編集入門	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	ICT動画編集応用	1・2・3・4前・後			2	○								1		
	ICT音楽編集入門	1・2・3・4前・後			2	○								1		
	ICT音楽編集応用	1・2・3・4前・後			2	○								1		
	ICTプログラミング入門	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	ICTプログラミング応用	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	ICT Webページ作成	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	ICT eラーニングデザイン入門	1・2・3・4前・後			2	○								1		
	ICT eラーニングデザイン応用	1・2・3・4前・後			2	○								1		
	ICT プレゼンテーション	1・2・3・4前・後			2	○								1	メディア	
	小計 (16科目)	—	—	0	32	0	—			1	0	0	0	0	8	—
	憲法	1前・後		4		○								2		
	政治学基礎	1前	○	2		○								1		
	政治理論基礎	1後	○	2		○								1		
	政治学原論	2前・後		4		○					1					
	政治学・社会学総合講座	1前		2		○			8		2			4	メディア・オムニバス	
	行政学基礎	2前	○	2		○								1		
	行政理論基礎	2後	○	2		○								1		
	社会学A	1・2前	○	2		○								1		
	社会学B	1・2後	○	2		○								1		
	統計学	1・2前・後		4		○								1		
	社会科学方法論	1・2後	○	4		○								1		
	ジャーナリズム論	1・2前	○	2		○			1							
	メディアコミュニケーション論	1・2前		2		○								1		

(政治学関係科目) 基本科目	Top School Seminar (Politics) A	1・2前		2	○							1	メディア	
	Top School Seminar (Politics) B	1・2後		2	○							1	メディア	
	Top School Seminar (Sociology) A	1・2前		2	○							1	メディア	
	Top School Seminar (Sociology) B	1・2後		2	○							1	メディア	
	Top School Seminar (Mass Communication)A	1・2前		2	○		1						メディア	
	Top School Seminar (Mass Communication)B	1・2後		2	○		1						メディア	
	政治思想史	3・4前	○	2	○		1							
	政治理論史	3・4後	○	2	○		1							
	日本政治史	3・4後	○	4	○							1		
	西洋政治史	3・4前	○	4	○		1							
	現代思想	3・4前	○	2	○		1							
	現代政治理論	3・4後	○	2	○		1							
	日本政治思想史	3・4前	○	2	○				1					
	日本政治文化論	3・4後	○	2	○				1					
	メディアリテラシー論	3・4後		2	○								1	
	国際コミュニケーション論	3・4後		2	○								1	
	マスメディア論	3・4前	○	2	○								1	
	メディアと世論	3・4後	○	2	○								1	
	留学認定科目 (基本科目・政治学科)	1・2・3・4前・後		1	○								1	
	小計 (32科目)	—	—	14	61	0	—	9	0	3	0	0	16	—
(政治学関係科目) 応用科目	自治体経営論	3・4前	○	4	○							1		
	国家論	3・4前	○	2	○		1							
	現代国家分析	3・4後	○	2	○		1							
	国際政治学	3・4後	○	4	○		1							
	都市政策	3・4前	○	2	○							1		
	都市行政	3・4後	○	2	○							1		
	政治過程論	3・4前	○	4	○				1					
	政治体制論	3・4前	○	2	○		1							
	政治体制変動論	3・4後	○	2	○		1							
	比較政治論	3・4前	○	4	○				1					
	比較政治論 (東アジア)	3・4後	○	4	○							1		
	計量政治学	3・4前	○	2	○		1							
	政治行動論	3・4後	○	2	○		1							
	国際関係史	3・4後	○	4	○		1							
	アジア政治論	3・4後		2	○							1		
	アメリカ政治論	3・4前		2	○							1		
	ラテンアメリカ政治論	3・4後		2	○							1		
	アフリカ政治論	3・4後		2	○							1		
	ロシア政治論	3・4前		2	○		1							
	東欧政治論	3・4後		2	○		1							
	現代社会学A	3・4前	○	2	○							1		
	現代社会学B	3・4後	○	2	○							1		
	現代社会心理学A	3・4前	○	2	○				1					
	現代社会心理学B	3・4後	○	2	○				1					
	産業心理学	3・4前	○	2	○		1							
	消費心理学	3・4後	○	2	○		1							
	社会調査法	3・4前	○	2	○							1		
	フィールドワーク論	3・4後	○	2	○							1		
	比較社会学	3・4後	○	4	○		1							
	民俗学A	3・4前		2	○							1		
	民俗学B	3・4後		2	○							1		
	社会人類学A	3・4前		2	○							1		
	社会人類学B	3・4後		2	○							1		
	地域開発論	3・4前		2	○							1		
	地域振興論	3・4後		2	○							1		
	地域情報論	3・4前		2	○							1		
	応用数量分析	3・4前		2	○							1		
	国際法A	3・4前		2	○							1		
	国際法B	3・4後		2	○							1		
	行政法	3・4前		4	○							1		
Top School Seminar (Politics) C	3・4前		2	○		1						メディア		
Top School Seminar (Politics) D	3・4後		2	○		1						メディア		
Top School Seminar (Politics) E	3・4前		2	○		1						メディア		
Top School Seminar (Politics) F	3・4後		2	○		1						メディア		
Top School Seminar (Sociology) C	3・4前		2	○							1	メディア		
Top School Seminar (Sociology) D	3・4後		2	○							1	メディア		
Top School Seminar (Sociology) E	3・4前		2	○							1	メディア		
Top School Seminar (Sociology) F	3・4後		2	○							1	メディア		
Top School Seminar (Mass Communication)C	3・4前		2	○		1						メディア		

	Top School Seminar (Mass Communication)D	3・4後			2		○									1									メディア	
	Top School Seminar (Mass Communication)E	3・4前			2		○									1									メディア	
	Top School Seminar (Mass Communication)F	3・4後			2		○									1									メディア	
	留学認定科目（応用科目・政治学科）	1・2・3・4前・後			1		○																		1	
	小計（53科目）	—	—	0	121	0	—									8	1	2	0	0					18	—
（資格 応用 課程 科目）	日本史概論	1・2前・後			2		○																		3	
	東洋史概論	1・2前・後			2		○																		2	
	西洋史概論	1・2前・後			2		○																		2	
	地誌学概論	1・2前・後			2		○																		1	
	人文地理学概論	1・2前・後			2		○																		1	
	自然地理学概論	1・2前・後			2		○																		1	
	法学概論	1・2前・後			2		○																		1	
	倫理学概論	1・2前・後			2		○																		1	
小計（8科目）	—	—	0	16	0	—									0	0	0	0	0					12	—	
合計（320科目）			—	—	21	605	10	—							16	3	5	0	0					214		
学位又は称号		学士（政治学）			学位又は学科の分野				法学関係																	
卒業要件及び履修方法												授業期間等														
<p>基礎科目28単位（4つの科目群から各4単位以上）、外国語科目16単位（2言語を選択必修とし、所定の単位（英語6単位以上、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語及び日本語は8単位以上修得））、健康・運動科学科目4単位、政治学関係科目42単位（1年次必修10単位、2年次必修4単位、3・4年次選択必修12単位）、原典研究科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。なお、3・4年次選択必修は、政治思想史、政治理論史、日本政治史、西洋政治史、現代思想、現代政治理論、日本政治思想史、日本政治文化論、メディアリテラシー論、国際コミュニケーション論、マスメディア論、メディアと世論から12単位修得すること。専門演習（卒業論文）を8単位修得していない者は、政治経済学部教授会が別に定めるコースに所属し、当該所属コースの科目のうちから20単位以上を修得しなければならない。専門演習を履修する者は、4年次に4単位以上（外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。）を修得しなければならない。ただし、4年次に大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。専門演習を履修しない者は、在学最終学期において、4単位以上（外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。）を修得しなければならない。ただし、在学最終学期において、大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。（履修上限単位数（年間）：1年次42単位、2年次44単位、3・4年次48単位）</p>												1学年の学期区分						2学期								
												1学期の授業期間						14週								
												1時限の授業の標準時間						100分								

教育課程等の概要

(政治経済学部 政治学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(助手を除く)の教員	
学群(人文科学)	外国文学	3・4前			2		○				1						
	言語と文化	3・4前			2		○				1						
	留学認定科目(基礎科目・人文)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
	小計(3科目)	—	—	0	5	0	—	—	—	0	2	0	0	0	0	1	—
学群(社会科学)	ジェンダー論Ⅱ	3・4後			2		○				1						
	留学認定科目(基礎科目・社会)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
	小計(2科目)	—	—	0	3	0	—	—	—	0	1	0	0	0	0	1	—
学群(自然科学)	線形代数学Ⅲ	3・4前			2		○					1					
	線形代数学Ⅳ	3・4後			2		○					1					
	技術史A	3・4前			2		○									1	
	技術史B	3・4後			2		○									1	
	留学認定科目(基礎科目・自然)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
	小計(5科目)	—	—	0	9	0	—	—	—	0	0	1	0	0	0	2	—
学群(総合科目)	Top School Seminar (International Cultures) A	1・2・3・4前			2		○									1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) B	1・2・3・4後			2		○									1	メディア
	留学認定科目(基礎科目・総合)	1・2・3・4前・後			1		○									1	
	小計(3科目)	—	—	0	5	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	2	—
外国語科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○		1		○				1					14	
	英語Ⅱ	2・3・4前・後			1		○				1	1				21	
	英語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									5	
	英語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									3	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○				1					6	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○				1					4	
	ドイツ語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○				1					5	
	ドイツ語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									1	
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○									3	
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○									3	
	フランス語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									9	
	フランス語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									1	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○									13	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○									13	
	中国語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									17	
	中国語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									1	
	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1			○					1				4	
	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1		○					1				4	
	スペイン語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									8	
	スペイン語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									1	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1		○									2	
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1		○									2	
	日本語Ⅲ	2・3・4前・後			1		○									2	
	日本語Ⅳ	2・3・4前・後			1		○									2	
	ACE Content-based Study	1・2・3・4前・後			1		○					1				3	
	ACE General Communication Skills	1・2・3・4前・後			1		○									7	
	ACE Exam Skills	1・2・3・4前・後			1		○									3	
ACE Multimedia Independent Study	1・2・3・4前・後			1		○									1		
ACE Presentation Skills	1・2・3・4前・後			1		○									1		
ACE Academic Training	1・2・3・4前・後			1		○									2		
	小計(30科目)	—	—	5	25	0	—	—	—	2	2	0	0	0	85	—	
健康・運動科学科目	健康・運動科学Ⅱ	3・4前・後			2		○									1	
	健康・運動科学Ⅲ	3・4前・後			2		○									1	
	運動学演習Ⅲ-1	3前			1				○							2	
	運動学演習Ⅲ-2	3後			1				○							2	
	運動学演習Ⅳ-1	4前			1				○							2	
	運動学演習Ⅳ-2	4後			1				○							2	
	生涯スポーツ演習	2・3・4休			1				○		1					2	

口	小計 (7科目)	—	—	0	9	0	—	—	—	1	0	0	0	0	4	—
(基本科目) 3 基本科目共通	留学認定科目 (基本科目・3 学科共通)	1・2・3・4前・後			1		○									1
	小計 (1科目)	—	—	0	1	0	—	—	—	0	0	0	0	0	1	—
(3 学科共通関係科目) 応用科目	日本・アジア文化論A	3・4後			2		○									1
	日本・アジア文化論B	3・4後			2		○									1
	日本・アジア文化論C	3・4後			2		○									1
	日本・アジア文化論D	3・4後			2		○									1
	日本・アジア地域論A	3・4前			2		○									1
	日本・アジア地域論B	3・4前			2		○									1
	日本・アジア地域論C	3・4前			2		○									1
	日本・アジア地域論D	3・4前			2		○									1
	ヨーロッパ文化論A	3・4後			2		○									1
	ヨーロッパ文化論B	3・4後			2		○									1
	ヨーロッパ文化論C	3・4後			2		○									1
	ヨーロッパ文化論D	3・4後			2		○									1
	ヨーロッパ文化論E	3・4後			2		○									1
	ヨーロッパ地域論A	3・4前			2		○									1
	ヨーロッパ地域論B	3・4前			2		○									1
	ヨーロッパ地域論C	3・4前			2		○									1
	ヨーロッパ地域論D	3・4前			2		○									1
	ヨーロッパ地域論E	3・4前			2		○									1
	アメリカ文化論A	3・4後			2		○				1					1
	アメリカ文化論B	3・4後			2		○									1
	アメリカ文化論C	3・4後			2		○									1
	アメリカ文化論D	3・4後			2		○			1						1
	アメリカ地域論A	3・4前			2		○				1					1
	アメリカ地域論B	3・4前			2		○					1				1
	アメリカ地域論C	3・4前			2		○									1
	アメリカ地域論D	3・4前			2		○			1						1
	連環地域文化論A	3・4前			2		○				1					1
	連環地域文化論B	3・4後			2		○					1				1
	連環地域文化論C	3・4前			2		○									1
	連環地域文化論D	3・4後			2		○									1
	身体文化論	3・4前			2		○			1						1
	スポーツ文化論	3・4後			2		○									1
	表象文化論	3・4後			2		○									1
	留学認定科目 (応用科目・3 学科共通)	1・2・3・4前・後				1		○								
小計 (34科目)	—	—	0	67	0	—	—	—	2	2	0	0	0	0	16	—
(応用科目) 科目 専門演習	専門演習 (卒業論文)	3・4前・後			2		○		16	2	4					51
	小計 (1科目)	—	—	0	2	0	—	—	16	2	4	0	0	0	51	—
(原典応用科目) 研究科目	原典講読 I	3前			2		○									5
	原典講読 II	3後			2		○									5
	原典講読 III	4前			2		○									5
	原典講読 IV	4後			2		○									5
	専門演習 (外国書研究・原典研究) I	3前			2		○		16	2	4					51
	専門演習 (外国書研究・原典研究) II	3後			2		○		16	2	4					51
小計 (6科目)	—	—	0	12	0	—	—	16	2	4	0	0	0	53	—	
(特殊応用科目) 講義科目	政治学特殊講義 C	3・4前			2		○									1
	政治学特殊講義 D	3・4後			2		○		1							1
	政治学特殊講義 E	3・4前			2		○		1							1
	政治学特殊講義 F	3・4後			2		○		1							1
	社会学特殊講義 C	3・4前			2		○			1						1
	社会学特殊講義 D	3・4後			2		○				1					1
	社会学特殊講義 E	3・4前			2		○				1					1
	社会学特殊講義 F	3・4後			2		○				1					1
	マスコミュニケーション特殊講義 C	3・4前			2		○		1							1
	マスコミュニケーション特殊講義 D	3・4後			2		○		1							1
	マスコミュニケーション特殊講義 E	3・4前			2		○		1							1
	マスコミュニケーション特殊講義 F	3・4後			2		○		1							1
	経済学特殊講義 C	3・4前			2		○									1
	経済学特殊講義 D	3・4後			2		○									1
	経済学特殊講義 E	3・4前			2		○									1
	経済学特殊講義 F	3・4後			2		○									1
	経済政策特殊講義 C	3・4前			2		○									1
	経済政策特殊講義 D	3・4後			2		○									1
	経済政策特殊講義 E	3・4前			2		○									1
	経済政策特殊講義 F	3・4後			2		○									1

	地域行政特殊講義C	3・4前			2		○											1	
	地域行政特殊講義D	3・4後			2		○											1	
	地域行政特殊講義E	3・4前			2		○											1	
	地域行政特殊講義F	3・4後			2		○											1	
	国際文化特殊講義C	3・4前			2		○											1	
	国際文化特殊講義D	3・4後			2		○											1	
	国際文化特殊講義E	3・4前			2		○											1	
	国際文化特殊講義F	3・4後			2		○											1	
	Top School Seminar (International Cultures) C	3・4前			2		○											1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) D	3・4後			2		○											1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) E	3・4前			2		○											1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) F	3・4後			2		○											1	メディア
	留学認定科目 (応用科目・特殊講義)	1・2・3・4前・後			1		○											1	
	小計 (33科目)	—	—	0	65	0	—			2	1	0	0	0	0	0	7	—	
科実習	社会実習	1・2・3・4通				2		○										1	
	小計 (1科目)	—	—	0	0	2	—			0	0	0	0	0	0	1	—		
(情報応用科目)	ICT統計解析入門	1・2・3・4前・後			2		○			1									メディア
	ICT統計解析応用	1・2・3・4前・後			2		○			1									メディア
	ICTデータベース入門	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア
	ICTデータベース応用	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア
	ICT画像編集入門	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア
	ICT画像編集応用	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア
	ICT動画編集入門	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア
	ICT動画編集応用	1・2・3・4前・後			2		○										1		
	ICT音楽編集入門	1・2・3・4前・後			2		○										1		
	ICT音楽編集応用	1・2・3・4前・後			2		○										1		
	ICTプログラミング入門	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア
	ICTプログラミング応用	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア
	ICT Webページ作成	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア
	ICT eラーニングデザイン入門	1・2・3・4前・後			2		○										1		
ICT eラーニングデザイン応用	1・2・3・4前・後			2		○										1			
ICT プレゼンテーション	1・2・3・4前・後			2		○										1		メディア	
	小計 (16科目)	—	—	0	32	0	—			1	0	0	0	0	0	8	—		
(政治学基本科目)	政治思想史	3・4前	○		2		○			1									
	政治理論史	3・4後	○		2		○			1									
	日本政治史	3・4後	○		4		○										1		
	西洋政治史	3・4前	○		4		○			1									
	現代思想	3・4前	○		2		○			1									
	現代政治理論	3・4後	○		2		○			1									
	日本政治思想史	3・4前	○		2		○						1						
	日本政治文化論	3・4後	○		2		○						1						
	メディアリテラシー論	3・4後			2		○											1	
	国際コミュニケーション論	3・4後			2		○											1	
	マスメディア論	3・4前	○		2		○											1	
	メディアと世論	3・4後	○		2		○											1	
	留学認定科目 (基本科目・政治学科)	1・2・3・4前・後			1		○											1	
	小計 (13科目)	—	—	0	29	0	—			3	0	1	0	0	0	5	—		
	自治体経営論	3・4前	○		4		○											1	
	国家論	3・4前	○		2		○			1									
	現代国家分析	3・4後	○		2		○			1									
	国際政治学	3・4後	○		4		○			1									
	都市政策	3・4前	○		2		○										1		
	都市行政	3・4後	○		2		○										1		
	政治過程論	3・4前	○		4		○					1							
	政治体制論	3・4前	○		2		○			1									
	政治体制変動論	3・4後	○		2		○			1									
	比較政治論	3・4前	○		4		○					1							
	比較政治論 (東アジア)	3・4後	○		4		○						1						1
	計量政治学	3・4前	○		2		○			1									
	政治行動論	3・4後	○		2		○			1									
	国際関係史	3・4後	○		4		○			1									
	アジア政治論	3・4後			2		○											1	
	アメリカ政治論	3・4前			2		○											1	
	ラテンアメリカ政治論	3・4後			2		○											1	
	アフリカ政治論	3・4後			2		○											1	
	ロシア政治論	3・4前			2		○			1									
	東欧政治論	3・4後			2		○			1									

教育課程等の概要

(政治経済学部 政治学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)以外の教員		
(人文科学科目群)	哲学概論	1・2前	○		2		○			1								
	哲学史	1・2後	○		2		○		1									
	基礎論理学	1・2前	○		2		○								1			
	応用論理学概論	1・2後			2		○								1			
	歴史学	1・2前・後	○		4		○								2			
	国語表現	1・2前・後	○		4		○		1						10			
	日本文学	1・2前・後	○		4		○		1						5			
	留学認定科目(基礎科目・人文)	1・2・3・4前・後			1		○								1			
小計(8科目)	—	—	0	21	0	—	—	—	2	0	0	0	0	0	14	—		
(社会科学科目群)	法学	1・2前・後			4		○								1			
	地理学	1・2前・後			4		○								1			
	文化人類学A	1・2前	○		2		○								2			
	文化人類学B	1・2後	○		2		○								2			
	現代心理学	1前・2後			2		○		1						1			
	心理学概論	1後・2前			2		○			1								
	文化論概論	1・2前	○		4		○								1			
	異文化理解とコミュニケーション	1・2前	○		2		○								1			
	異文化摩擦とコミュニケーション	1・2後	○		2		○								1			
	国際地域研究基礎論	1・2前			2		○								2			
ジェンダー論I	1・2前			2		○		1										
留学認定科目(基礎科目・社会)	1・2・3・4前・後			1		○								1				
小計(12科目)	—	—	0	29	0	—	—	—	2	1	0	0	0	0	10	—		
(自然科学科目群)	基礎数学	1・2前	○		2		○								1			
	数学概論	1・2後			2		○								1			
	線形代数学I	1・2前	○		2		○								1			
	線形代数学II	1・2後			2		○								1			
	解析学I	1・2前	○		2		○								1			
	解析学II	1・2後			2		○						1		1			
	科学史A	1・2前	○		2		○								1			
	科学史B	1・2後	○		2		○								1			
	物理学概論A	1・2前			2		○								1			
	物理学概論B	1・2後			2		○								1			
	環境科学概論A	1・2前			2		○								1			
	環境科学概論B	1・2後			2		○								1			
	生命科学概論A	1・2前			2		○								1			
	生命科学概論B	1・2後			2		○								1			
	留学認定科目(基礎科目・自然)	1・2・3・4前・後			1		○								1			
小計(15科目)	—	—	0	29	0	—	—	—	0	0	1	0	0	0	6	—		
(総合科目群)	教養演習IA	1前			2			○					2	1			3	
	教養演習IB	1後			2			○		1	1	1					1	
	教養演習IIA	2前			2			○			2	1					3	
	教養演習IIB	2後			2			○		1	1	1					1	
	教養演習IIC	1通			4			○		1	1	1					9	
	教養演習IIC	2通			4			○		1		1					9	
	ICTベーシック	1・2前・後			2		○								1		メディア	
	共通総合講座I	1・2前			2		○								2		メディア・オムニバス	
	共通総合講座II	1・2後			2		○								2		メディア・オムニバス	
	国際文化特殊講義A	1・2前			2		○				1							
国際文化特殊講義B	1・2後			2		○								1				

	Top School Seminar (International Cultures) A	1・2・3・4前			2	○										1	メディア
	Top School Seminar (International Cultures) B	1・2・3・4後			2	○										1	メディア
	日本事情A	1・2後			2	○				3	1	1				9	オムニバス
	日本事情B	1・2後			2	○										1	
	日本事情C	1・2前			2	○										1	
	留学認定科目(基礎科目・総合)	1・2・3・4前・後			1	○										1	
	小計(17科目)	—	—	0	37	0	—	—	—	4	2	3	0	0	23	—	
外国語科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○		1	○				1						14	
	英語Ⅱ	2・3・4前・後			1	○				1	1					21	
	英語Ⅲ	2・3・4前・後			1	○										5	
	英語Ⅳ	2・3・4前・後			1	○										3	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1		○				1						6	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1	○				1						4	
	ドイツ語Ⅲ	2・3・4前・後			1	○				1						5	
	ドイツ語Ⅳ	2・3・4前・後			1	○										1	
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1		○										3	
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1	○										3	
	フランス語Ⅲ	2・3・4前・後			1	○										9	
	フランス語Ⅳ	2・3・4前・後			1	○										1	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1		○										13	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1	○										13	
	中国語Ⅲ	2・3・4前・後			1	○										17	
	中国語Ⅳ	2・3・4前・後			1	○										1	
	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4前・後	○	1		○						1				4	
	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4前・後			1	○						1				4	
	スペイン語Ⅲ	2・3・4前・後			1	○										8	
	スペイン語Ⅳ	2・3・4前・後			1	○										1	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1	○										2	
日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1	○										2		
日本語Ⅲ	2・3・4前・後			1	○										2		
日本語Ⅳ	2・3・4前・後			1	○										2		
ACE Content-based Study	1・2・3・4前・後			1	○						1				3		
ACE General Communication Skills	1・2・3・4前・後			1	○										7		
ACE Exam Skills	1・2・3・4前・後			1	○										3		
ACE Multimedia Independent Study	1・2・3・4前・後			1	○										1		
ACE Presentation Skills	1・2・3・4前・後			1	○										1		
ACE Academic Training	1・2・3・4前・後			1	○										2		
小計(30科目)	—	—	5	25	0	—	—	—	—	2	2	0	0	0	85	—	
健康・運動科学科	運動学演習Ⅰ-1	1前	○	1												8	
	運動学演習Ⅰ-2	1後	○	1												8	
	健康・運動科学Ⅰ	2前・後	○		2	○										2	
	運動学演習Ⅱ-1	2前			1					1						10	
	運動学演習Ⅱ-2	2後			1					1						9	
	生涯スポーツ演習	2・3・4休			1					1						2	
小計(6科目)	—	—	2	5	0	—	—	—	1	0	0	0	0	14	—		
(3学科共通基本科目)	キャリアデザイン総合講座	2前・後			2	○				1							
	政治学特殊講義A	1・2前			2	○						1					
	政治学特殊講義B	1・2後			2	○						1					
	社会学特殊講義A	1・2前			2	○				1							
	社会学特殊講義B	1・2後			2	○				1							
	マスコミュニケーション特殊講義A	1・2前			2	○				1							
	マスコミュニケーション特殊講義B	1・2後			2	○				1							
	経済学特殊講義A	1・2前			2	○										1	
	経済学特殊講義B	1・2後			2	○										1	
	経済政策特殊講義A	1・2前			2	○										1	
	経済政策特殊講義B	1・2後			2	○										1	
	地域行政特殊講義A	1・2前			2	○										1	
	地域行政特殊講義B	1・2後			2	○										1	
	海外留学演習Ⅰ	1・2休			2		○									1	
	海外留学演習Ⅱ	1・2休			2		○									1	
海外留学演習Ⅲ	1・2休			2		○									1		
海外留学演習Ⅳ	1・2休			2		○									1		
留学基礎講座	1・2後			2	○										1		
留学準備講座	1・2前			2	○										1		

	就業力育成総合講座A	1・2前・後			2		○									1		
	就業力育成総合講座B	1・2前・後			2		○									1		
	就業力育成総合講座C	1・2前・後			2		○									1		
	就業力育成総合講座D	1・2前・後			2		○									1		
	就業力育成総合講座E	1・2前・後			2		○									1		
	留学認定科目(基本科目・3学科共通)	1・2・3・4前・後			1		○									1		
	小計(25科目)	—	—	0	41	8	—	—	—	2	0	1	0	0	0	5	—	
(関係科目) (応用科目共通)	留学認定科目(応用科目・3学科共通)	1・2・3・4前・後			1		○									1		
	小計(1科目)	—	—	0	1	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	1	—	
(総合講座科目)	応用総合講座A	1・2後			2		○			2							メディア・オムニバス	
	応用総合講座B	1・2前			2		○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座C	1・2前			2		○		2								メディア・オムニバス	
	応用総合講座D	1・2後			2		○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座E	1・2前			2		○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座F	1・2後			2		○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座G	1・2前			2		○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座H	1・2前			2		○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座I	1・2後			2		○									2	メディア・オムニバス	
	応用総合講座J	1・2前			2		○									2	メディア・オムニバス	
小計(10科目)	—	—	0	20	0	—	—	—	2	0	0	0	0	0	8	—		
(特目) (特殊講義科目)	留学認定科目(応用科目・特殊講義)	1・2・3・4前・後			1		○									1		
	小計(1科目)	—	—	0	1	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	1	—	
科実 目習	社会実習	1・2・3・4通				2		○									1	
	小計(1科目)	—	—	0	0	2	—	—	—	0	0	0	0	0	0	1	—	
(情報科目)	ICT統計解析入門	1・2・3・4前・後			2		○			1							メディア	
	ICT統計解析応用	1・2・3・4前・後			2		○			1							メディア	
	ICTデータベース入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
	ICTデータベース応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
	ICT画像編集入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
	ICT画像編集応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
	ICT動画編集入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
	ICT動画編集応用	1・2・3・4前・後			2		○									1		
	ICT音楽編集入門	1・2・3・4前・後			2		○									1		
	ICT音楽編集応用	1・2・3・4前・後			2		○									1		
	ICTプログラミング入門	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
	ICTプログラミング応用	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
	ICT Webページ作成	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
	ICT eラーニングデザイン入門	1・2・3・4前・後			2		○									1		
	ICT eラーニングデザイン応用	1・2・3・4前・後			2		○									1		
	ICT プレゼンテーション	1・2・3・4前・後			2		○									1	メディア	
小計(16科目)	—	—	0	32	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	8	—		
(政治学関係科目)	憲法	1前・後			4		○										2	
	政治学基礎	1前	○		2		○										1	
	政治理論基礎	1後	○		2		○										1	
	政治学原論	2前・後			4		○						1					
	政治学・社会学総合講座	1前			2		○		8			2				4	メディア・オムニバス	
	行政学基礎	2前	○		2		○										1	
	行政理論基礎	2後	○		2		○										1	
	社会学A	1・2前	○		2		○										1	
	社会学B	1・2後	○		2		○										1	
	統計学	1・2前・後			4		○										1	
	社会科学方法論	1・2後	○		4		○										1	
	ジャーナリズム論	1・2前	○		2		○		1									
	メディアコミュニケーション論	1・2前			2		○										1	
	Top School Seminar (Politics) A	1・2前			2		○										1	メディア
	Top School Seminar (Politics) B	1・2後			2		○										1	メディア
	Top School Seminar (Sociology) A	1・2前			2		○										1	メディア
	Top School Seminar (Sociology) B	1・2後			2		○										1	メディア
	Top School Seminar (Mass Communication)A	1・2前			2		○		1								メディア	
	Top School Seminar (Mass Communication)B	1・2後			2		○		1								メディア	
留学認定科目(基本科目・政治学科)	1・2・3・4前・後			1		○										1		
小計(20科目)	—	—	14	33	0	—	—	—	9	0	3	0	0	0	12	—		

(政治学関係科目)	留学認定科目(応用科目・政治学)	1・2・3・4前・後			1		○							1		
	小計(1科目)	—	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	1	—
(資格課程科目)	日本史概論	1・2前・後			2		○								3	
	東洋史概論	1・2前・後			2		○								2	
	西洋史概論	1・2前・後			2		○								2	
	地誌学概論	1・2前・後			2		○								1	
	人文地理学概論	1・2前・後			2		○								1	
	自然地理学概論	1・2前・後			2		○								1	
	法学概論	1・2前・後			2		○								1	
	倫理学概論	1・2前・後			2		○								1	
小計(8科目)	—	—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	12	—	
合計(171科目)		—	—	21	291	10	—		16	3	5	0	0	173		
学位又は称号	学士(政治学)			学位又は学科の分野				法学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
<p>基礎科目28単位(4つの科目群から各4単位以上)、外国語科目16単位(2言語を選択必修とし、所定の単位(英語6単位以上、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語及び日本語は8単位以上修得))、健康・運動科学科目4単位、政治学関係科目42単位(1年次必修10単位、2年次必修4単位、3・4年次選択必修12単位)、原典研究科目4単位を修得し、124単位以上修得すること。なお、3・4年次選択必修は、政治思想史、政治理論史、日本政治史、西洋政治史、現代思想、現代政治理論、日本政治思想史、日本政治文化論、メディアリテラシー論、国際コミュニケーション論、マスメディア論、メディアと世論から12単位修得すること。専門演習(卒業論文)を8単位修得していない者は、政治経済学部教授会が別に定めるコースに所属し、当該所属コースの科目のうちから20単位以上を修得しなければならない。専門演習を履修する者は、4年次に4単位以上(外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。)を修得しなければならない。ただし、4年次に大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。専門演習を履修しない者は、在学最終学期において、4単位以上(外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。)を修得しなければならない。ただし、在学最終学期において、大学間若しくは学部間の協定校・認定校への留学プログラム又はそれに準ずると教授会が認めたプログラムの参加者を除く。(履修上限単位数(年間):1年次42単位、2年次44単位、3・4年次48単位)</p>							1学年の学期区分		2学期							
							1学期の授業期間		14週							
							1時限の授業の標準時間		100分							

教育課程等の概要																	
(情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員	
ゼミナール科目群	基礎ゼミナール	1通			4				○		16	11	2			3	
	問題発見テーマ演習A	2前			2				○		16	13				1	
	問題発見テーマ演習B	2後			2				○		14	10	1			2	
	問題分析ゼミナールI	3前			2				○		25	14	4			3	
	問題分析ゼミナールII	3後			2				○		25	14	4			3	
	問題解決ゼミナールI	4前			2				○		21	14	3			3	
	問題解決ゼミナールII	4後			2				○		21	14	3			3	
	卒業論文・卒業制作	4通			2				○		16	9				2	
小計(8科目)	—	—	—	0	18	0		—		25	14	5	0	0	6		
学際科目群	情報コミュニケーション学入門A	1前	○	2				○		8	3					2	オムニバス・メディア
	情報コミュニケーション学入門B	1後	○	2				○		4	5	2				1	オムニバス・メディア
	情報コミュニケーション学	3・4前・後	○	2				○		1	1					2	オムニバス・メディア
小計(3科目)	—	—	—	4	2	0		—		13	9	2	0	0	5		
専門科目群	社会科学																
	家族社会学概論	1・2前	○	2				○			1						
	環境と社会	1・2前	○	2				○								1	
	経営学	1・2後	○	2				○								1	
	憲法A	1・2後	○	2				○		1							
	憲法B	1・2後	○	2				○		1							
	コミュニティ論	1・2前	○	2				○								1	
	ジェンダー論	1・2前	○	2				○			1					1	
	市民社会と法I	1・2前	○	2				○					1				
	市民社会と法II	1・2後	○	2				○					1				
	社会学A	1・2前	○	2				○		1							
	社会学B	1・2後	○	2				○		1							
	社会心理学A	1・2前	○	2				○			1						メディア
	社会心理学B	1・2後	○	2				○			1						メディア
	情報社会と経済	1・2後	○	2				○		1							
	情報倫理	1・2前	○	2				○			1						メディア
	政治学	1・2前	○	2				○			1						
	組織論	1・2後	○	2				○		1							
	犯罪と法I	1・2前	○	2				○		1							
	犯罪と法II	1・2後	○	2				○		1							
法学	1・2後	○	2				○			1							
マクロ経済学	1・2前	○	2				○		1								
ミクロ経済学	1・2後	○	2				○		1								
メディア・リテラシー	1・2後	○	2				○								1		
小計(23科目)	—	—	—	0	46	0		—		7	5	1	0	0	5		
人文科学	異文化理解	1・2前	○	2				○		1							
	英文学A	1・2前	○	2				○								1	
	英文学B	1・2後	○	2				○								1	
	外国文学	1・2前	○	2				○		1						1	メディア
	言語学	1・2後	○	2				○			1						
	宗教学	1・2前	○	2				○								1	
	小集団コミュニケーション	1・2前・後	○	2				○								4	
	新興国事情	1・2前・後	○	2				○			2						
	心理学A	1・2前	○	2				○								1	メディア
	心理学B	1・2後	○	2				○								1	メディア
	生命論A	1・2前	○	2				○		1							メディア
	生命論B	1・2後	○	2				○		1							メディア
	西洋史概論	1・2後	○	2				○								1	メディア
	地域文化論(基礎)	1・2前	○	2				○		3						4	オムニバス
	地誌学	1・2前	○	2				○								1	
	地理学	1・2後	○	2				○								1	
	哲学	1・2前	○	2				○		1							

	情報と職業	3・4前	○		2		○									1
	人口論	3・4後	○		2		○									1
	身体と意識	3・4後	○		2		○			1						1
	身体表現論	3・4後	○		2		○					1				1
	人文地理学	3・4後	○		2		○						1			
	生命思想史Ⅰ	3・4前	○		2		○		1							
	生命思想史Ⅱ	3・4後	○		2		○		1							
	組織コミュニケーションA	3・4前	○		2		○		1							
	組織コミュニケーションB	3・4後	○		2		○		1							
	都市情報論	3・4前	○		2		○					1				
	人間性心理学	3・4前	○		2		○									1
	認知科学Ⅰ	3・4前	○		2		○		1							
	認知科学Ⅱ	3・4後	○		2		○		1							
	ネットワーク社会論	3・4後	○		2		○		1							
	パーソナリティ心理学	3・4前	○		2		○									1
	不確実性下の人間行動	3・4前	○		2		○			1						
	不思議現象の心理学	3・4前	○		2		○			1						
	法コミュニケーション	3・4後	○		2		○									1
	リスク社会論	3・4後	○		2		○			1						
	小計(34科目)	—	—	0	68	0	—		7	8	1	0	0	0	0	9
	先取り履修科目(3・4年次配当科目)	2前・後			2		○		13	14						2
	小計(1科目)	—	—	0	2	0	—		13	14	0	0	0	0	0	2
外国語科目群	英語	EnglishSkillsAⅠ(基礎)	1・2前		1		○									3
	英語	EnglishSkillsAⅠ(中級)	1・2前		1		○									8
	英語	EnglishSkillsAⅠ(上級)	1・2前		1		○									1
	英語	EnglishSkillsAⅡ(基礎)	1・2後		1		○									3
	英語	EnglishSkillsAⅡ(中級)	1・2後		1		○									8
	英語	EnglishSkillsAⅡ(上級)	1・2後		1		○									1
	英語	EnglishSkillsBⅠ(基礎)	1・2前		1		○									2
	英語	EnglishSkillsBⅠ(中級)	1・2前		1		○									6
	英語	EnglishSkillsBⅠ(上級)	1・2前		1		○									3
	英語	EnglishSkillsBⅡ(基礎)	1・2後		1		○		1							1
	英語	EnglishSkillsBⅡ(中級)	1・2後		1		○									6
	英語	EnglishSkillsBⅡ(上級)	1・2後		1		○									3
	英語	Speech&DebateA	1・2前		1		○									3
	英語	Speech&DebateB	1・2後		1		○									3
	英語	CriticalReading	1・2前		1		○									8
	英語	CriticalDiscussion	1・2後		1		○		1	2						5
	英語	CriticalWritingA	1・2前		1		○									2
	英語	CriticalWritingB	1・2後		1		○			1						2
	英語	EnglishSeminarⅠ	3・4前		1		○									1
	英語	EnglishSeminarⅡ	3・4後		1		○									1
	英語	英語コミュニケーションⅠ	3・4前		2		○				1					1
	英語	英語コミュニケーションⅡ	3・4後		2		○				1					1
	英語	英語音声学	3・4前		2		○				1					
	小計(23科目)	—	—	0	26	0	—		1	1	3	0	0	0	32	
ドイツ語	ドイツ語AⅠ	1・2前			1		○									3
	ドイツ語AⅡ	1・2後			1		○									3
	ドイツ語BⅠ	1・2前			1		○									3
	ドイツ語BⅡ	1・2後			1		○									3
	ドイツ語演習Ⅰ	1・2前			2		○									1
	ドイツ語演習Ⅱ	1・2後			2		○									1
	小計(6科目)	—	—	0	8	0	—		0	0	0	0	0	0	6	
フランス語	フランス語AⅠ	1・2前			1		○									3
	フランス語AⅡ	1・2後			1		○									3
	フランス語BⅠ	1・2前			1		○									3
	フランス語BⅡ	1・2後			1		○									3
	フランス語演習Ⅰ	1・2前			2		○									1
	フランス語演習Ⅱ	1・2後			2		○									1
	小計(6科目)	—	—	0	8	0	—		0	0	0	0	0	0	6	
スペイン語	スペイン語AⅠ	1・2前			1		○									2
	スペイン語AⅡ	1・2後			1		○									2
	スペイン語BⅠ	1・2前			1		○									4
	スペイン語BⅡ	1・2後			1		○									4
	スペイン語演習Ⅰ	1・2前			2		○									1
	スペイン語演習Ⅱ	1・2後			2		○									1
	小計(6科目)	—	—	0	8	0	—		0	0	0	0	0	0	5	

メディア
メディア

中国語	中国語A I	1・2前			1		○											3
	中国語A II	1・2後			1		○											3
	中国語B I	1・2前			1		○											2
	中国語B II	1・2後			1		○											2
	中国語演習 I	1・2前			2		○											1
	中国語演習 II	1・2後			2		○											1
	小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	5
韓国語	韓国語A I	1・2前			1		○											2
	韓国語A II	1・2後			1		○											2
	韓国語B I	1・2前			1		○											2
	韓国語B II	1・2後			1		○											2
	韓国語演習 I	1・2前			2		○											1
	韓国語演習 II	1・2後			2		○											1
小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	2	
タイ語	タイ語A I	1・2前			1		○											1
	タイ語A II	1・2後			1		○											1
	タイ語B I	1・2前			1		○											1
	タイ語B II	1・2後			1		○											1
	タイ語演習 I	1・2前			2		○											1
	タイ語演習 II	1・2後			2		○											1
	小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	1
日本語	日本語A I	1・2前			1		○											1
	日本語A II	1・2後			1		○											1
	日本語B I	1・2前			1		○											1
	日本語B II	1・2後			1		○											1
	日本語A III	1・2前			1		○											1
	日本語A IV	1・2後			1		○											1
	日本語B III	1・2前			1		○											1
	日本語B IV	1・2後			1		○											1
	小計 (8科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	1
研究方法・表現実践科目群	情報リテラシー科目																	
	アルゴリズム実習 I	3・4前			1		○					1						
	アルゴリズム実習 II	3・4後			1		○					1						
	専門情報リテラシー	1・2前・後			2		○											5
	ネットワーク技術 I	1・2前・後			2							1						
	ネットワーク技術 II	1・2前			2							1						
	ネットワーク技術 III	1・2後			2							1						
	ネットワーク技術 IV	3・4前			2							1						
	プログラミング実習 I	1・2前			1							1						1
	プログラミング実習 II	1・2後			1							1						1
	ICT統計解析入門	1~4前・後			2			○										1
	ICT統計解析応用	1~4前・後			2			○										1
	ICTデータベース入門	1~4前・後			2			○										1
	ICTデータベース応用	1~4前・後			2			○										1
	ICT画像編集入門	1~4前・後			2			○										1
	ICT画像編集応用	1~4前・後			2			○										1
	ICT動画編集入門	1~4前・後			2			○										1
	ICT動画編集応用	1~4前・後			2			○										1
	ICT音楽編集入門	1~4前・後			2			○										1
	ICT音楽編集応用	1~4前・後			2			○										1
	ICTプログラミング入門	1~4前・後			2			○										1
	ICTプログラミング応用	1~4前・後			2			○										1
	ICTWebページ作成	1~4前・後			2			○										1
	ICTeラーニングデザイン入門	1~4前・後			2			○										1
	ICTeラーニングデザイン応用	1~4前・後			2			○										1
	ICTプレゼンテーション	1~4前・後			2			○										1
	小計 (25科目)	—	—	0	46	0	—	—	—	—	0	1	0	0	0	0	0	16
現日本語表	日本語表現 I	1・2前			2		○				1							6
	日本語表現 II	1・2後			2		○				1							6
	小計 (2科目)	—	—	0	4	0	—	—	—	0	1	0	0	0	0	0	0	6
クリエーション科目	演劇学	1・2前・後			2		○											1
	音楽論	1・2後			2		○											1
	クリエイティブ・コミュニケーション	1・2前・後			2		○			1	2							10
	身体コミュニケーションA	1・2前,3・4後			2		○											2
	身体コミュニケーションB	1・2前・後			2		○											1
	デジタルアートA	3・4前			2		○											2
	デジタルアートB	3・4後			2		○											2
デジタルプレゼンテーション	3・4前・後			2		○											1	

	美学・芸術学	1・2前			2		○										1	
	非言語コミュニケーション	3・4前			2		○										1	
	メディア・アート	1・2後			2		○										1	
	メディア教育論	3・4前・後			2		○				2						1	
	小計 (12科目)	—	—	0	24	0	—				1	3	0	0	0	0	17	
リサーチリテラシー科目	科学リテラシー	1・2前			2		○				1							
	質的調査分析法	3・4前・後			2		○										1	
	社会調査実習	3・4前・後			2		○										3	
	社会調査法A	1・2前			2		○										2	
	社会調査法B	1・2後			2		○										2	
	数理リテラシー	1・2前			2		○										1	
	データ解析論I	3・4前			2		○				1							
	データ解析論II	3・4前			2		○				1							
	統計学A	1・2前			2		○											1
	統計学B	1・2後			2		○											1
	論理リテラシー	1・2後			2		○											1
小計 (11科目)	—	—	0	22	0	—				1	1	0	0	0	0	5		
海外留学科目群	国際交流	1~4前・後			2		○				1	2						
	留学関係科目 (語学・実習) A	1~4前・後			1		○				1							
	留学関係科目 (語学・実習) B	1~4前・後			2		○				1							
	留学関係科目 (講義) A	1~4前・後			2		○				1							
	留学関係科目 (講義) B	1~4前・後			3		○				1							
小計 (5科目)	—	—	0	0	10	—				1	2	0	0	0	0	0		
ウェルネス科目群	ウェルネスA	1・2前・後, 3・4後			2				○									2
	ウェルネスB	1・2前			2				○									1
	ウェルネス・スポーツA	1・2前			1				○									2
	ウェルネス・スポーツB	1・2後			1				○									3
	ウェルネス・スポーツC	3・4前			1				○									1
	ウェルネス・スポーツD	3・4後			1				○									1
小計 (6科目)	—	—	0	0	8	—				0	0	0	0	0	0	5		
キャリアデザイン科目群	キャリアデザイン	1・2前・後			2		○				1							
	インターンシップ入門	1・2前・後			2		○											
	実践キャリア支援講座	3・4後			2		○				1						3	
小計 (3科目)	—	—	0	0	6	—				0	2	0	0	0	0	4		
ICT関連科目群	ICTベーシック	1~4前・後			2				○									1
	小計 (1科目)	—	—	0	0	2	—				0	0	0	0	0	0	1	
総合講座	総合講座A	1~4前・後			2		○											2
	総合講座B	1~4前・後			2		○											2
	総合講座C	1~4前・後			2		○											2
	総合講座D	1~4前・後			2		○											2
小計 (4科目)	—	—	0	0	8	—				0	0	0	0	0	0	2		
合計 (337科目)			—	—	4	578	34	—		25	14	4	0	0	0	147		

メディア

メディア

メディア

メディア

メディア

学位又は称号	学士（情報コミュニケーション学）	学位又は学科の分野	文学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係
卒業・修了要件及び履修方法		授業期間等	
1 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。 2 学際科目群については、情報コミュニケーション学入門を2科目4単位修得しなければならない。 3 専門科目群については、社会科学から4単位、人文科学から4単位、自然科学から2単位を含め、64単位以上を修得しなければならない。 4 外国語科目群については、英語（English Seminar I・II、英語コミュニケーションI・II及び英語音声学は含めない。）を6単位以上、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語及びタイ語（各語学の演習I・IIは含めない。）のうちから1か国語（ただし、外国人留学生については日本語）を選択し、4単位以上を修得しなければならない。 5 研究方法・表現実践科目群については、10単位以上を修得しなければならない。 6 4年次においては、8単位以上修得しなければならない。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	14週
		1時限の授業の標準時間	100分

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教育課程等の概要																
(情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(助手を除く)の教員
ゼミナール科目群	問題分析ゼミナールⅠ	3前			2				○		25	14	4			3
	問題分析ゼミナールⅡ	3後			2				○		25	14	4			3
	問題解決ゼミナールⅠ	4前			2				○		21	14	3			3
	問題解決ゼミナールⅡ	4後			2				○		21	14	3			3
	卒業論文・卒業制作	4通			2				○		16	9				2
	小計(5科目)	—	—	0	10	0			—		25	14	4	0	0	4
群科学目際	情報コミュニケーション学	3・4前・後	○		2				○		1	1				2
	小計(1科目)	—	—	0	2	0			—		1	1	0	0	0	2
専門科目群	社会システム	3・4後	○		2				○		1					
	イノベーションの経済学	3・4後	○		2				○							
	NPO論	3・4前	○		2				○							1
	家族と法Ⅰ	3・4前	○		2				○							1
	家族と法Ⅱ	3・4後	○		2				○							1
	経済思想史	3・4後	○		2				○							1
	現代アメリカ政治論	3・4後	○		2				○		1					
	現代型犯罪と刑法Ⅰ	3・4前	○		2				○		1					
	現代型犯罪と刑法Ⅱ	3・4後	○		2				○		1					
	現代行政と法A	3・4前	○		2				○			1				
	現代行政と法B	3・4前	○		2				○			1				
	現代政治学Ⅰ	3・4前	○		2				○			1				
	現代政治学Ⅱ	3・4後	○		2				○			1				
	公共政策A	3・4前	○		2				○		1					
	公共政策B	3・4後	○		2				○		1					
	コーポレート・ガバナンスⅠ	3・4前	○		2				○							1
	コーポレート・ガバナンスⅡ	3・4後	○		2				○							1
	国際開発論	3・4前・後	○		2				○							1
	国際関係論Ⅰ	3・4前	○		2				○							1
	国際関係論Ⅱ	3・4後	○		2				○							1
	国際経済論A	3・4前	○		2				○		1					
	国際経済論B	3・4後	○		2				○		1					
	個人と国家	3・4前	○		2				○		1					
	財産と法Ⅰ	3・4前	○		2				○				1			
	財産と法Ⅱ	3・4後	○		2				○				1			
	ジェンダーと法A	3・4前	○		2				○			1				
	ジェンダーと法B	3・4後	○		2				○			1				
	ジェンダー・マネジメントⅠ	3・4前	○		2				○		1					
	ジェンダー・マネジメントⅡ	3・4後	○		2				○		1					
	社会思想史	3・4前	○		2				○		1					
	社会福祉学A	3・4前	○		2				○							1
	社会福祉学B	3・4後	○		2				○							1
	情報産業論	3・4前	○		2				○		1					
情報システム論	3・4後	○		2				○							1	
情報社会論A	3・4前	○		2				○		1						
情報社会論B	3・4前	○		2				○		1						
情報政策論A	3・4前	○		2				○		1						
情報政策論B	3・4後	○		2				○		1						
情報法A	3・4前	○		2				○		1					1	
情報法B	3・4後	○		2				○		1					1	
人権と政策	3・4後	○		2				○		1						
政治とメディア	3・4前	○		2				○			1					
ソーシャルビジネス論	3・4前	○		2				○							1	
組織と情報	3・4前	○		2				○		1						
知的財産法A	3・4前	○		2				○		1						
知的財産法B	3・4後	○		2				○		1						
犯罪社会学	3・4前	○		2				○							1	

		情報社会と安全A	3・4前	○		2		○			1										
		情報社会と安全B	3・4後	○		2		○			1										
		情報と経済行動	3・4後	○		2		○			1									メディア	
		情報と職業	3・4前	○		2		○												1	
		人口論	3・4後	○		2		○												1	
		身体と意識	3・4後	○		2		○			1										
		身体表現論	3・4後	○		2		○												1	
		人文地理学	3・4後	○		2		○				1									
		生命思想史 I	3・4前	○		2		○			1									メディア	
		生命思想史 II	3・4後	○		2		○			1									メディア	
		組織コミュニケーションA	3・4前	○		2		○			1										
		組織コミュニケーションB	3・4後	○		2		○			1										
		都市情報論	3・4前	○		2		○				1									
		人間性心理学	3・4前	○		2		○												1	
		認知科学 I	3・4前	○		2		○			1										
		認知科学 II	3・4後	○		2		○			1										
		ネットワーク社会論	3・4後	○		2		○			1										
		パーソナリティ心理学	3・4前	○		2		○												1	
		不確実性下の人間行動	3・4前	○		2		○			1										
		不思議現象の心理学	3・4前	○		2		○			1										
		法コミュニケーション	3・4後	○		2		○												1	
		リスク社会論	3・4後	○		2		○			1										
		小計 (34科目)	—	—	0	68	0	—			7	8	1	0	0	0	0	0	0	9	
外国語科目群	英語	EnglishSeminar I	3・4前			1		○												1	
		EnglishSeminar II	3・4後			1		○												1	
		英語コミュニケーション I	3・4前			2		○					1							1	
		英語コミュニケーション II	3・4後			2		○					1							1	
		英語音声学	3・4前			2		○					1								
		小計 (5科目)	—	—	0	8	0	—			0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
研究方法・表現実践科目群	情報リテラシー科目	アルゴリズム実習 I	3・4前			1		○				1									
		アルゴリズム実習 II	3・4後			1		○				1									
		ネットワーク技術IV	3・4前			2		○		○		1									
		ICT統計解析入門	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICT統計解析応用	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICTデータベース入門	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICTデータベース応用	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICT画像編集入門	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICT画像編集応用	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICT動画編集入門	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICT動画編集応用	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICT音楽編集入門	1~4前・後			2		○												1	
		ICT音楽編集応用	1~4前・後			2		○												1	
		ICTプログラミング入門	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICTプログラミング応用	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICTWebページ作成	1~4前・後			2		○												1	メディア
		ICTeラーニングデザイン入門	1~4前・後			2		○												1	
		ICTeラーニングデザイン応用	1~4前・後			2		○												1	
		ICTプレゼンテーション	1~4前・後			2		○												1	メディア
		小計 (19科目)	—	—	0	36	0	—			0	1	0	0	0	0	0	0	0	9	
クリエイション科目	クリエーション科目	身体コミュニケーションA	1・2前・3・4後			2		○												1	
		デジタルアートA	3・4前			2		○												2	メディア
		デジタルアートB	3・4後			2		○												2	メディア
		デジタルプレゼンテーション	3・4前・後			2		○												1	
		非言語コミュニケーション	3・4前			2		○												1	
		メディア教育論	3・4前・後			2		○					2								1
		小計 (6科目)	—	—	0	12	0	—			0	2	0	0	0	0	0	0	4		
シミュレーション科目	シミュレーション科目	質的調査分析法	3・4前・後			2		○												1	
		社会調査実習	3・4前・後			2		○												3	
		データ解析論 I	3・4前			2		○				1									
		データ解析論 II	3・4前			2		○				1									
		小計 (4科目)	—	—	0	8	0	—			0	1	0	0	0	0	0	0	3		
海外留学科目群	海外留学科目群	国際交流	1~4前・後			2		○			1	2									メディア
		留学関係科目 (語学・実習) A	1~4前・後			1		○			1										
		留学関係科目 (語学・実習) B	1~4前・後			2		○			1										
		留学関係科目 (講義) A	1~4前・後			2		○			1										
		留学関係科目 (講義) B	1~4前・後			3		○			1										
		小計 (5科目)	—	—	0	0	10	—			1	2	0	0	0	0	0	0	0		

ウエルネス 科目群	ウエルネスA	1・2前・後, 3・4後				2			○							1	
	ウエルネス・スポーツC	3・4前				1			○							1	
	ウエルネス・スポーツD	3・4後				1			○							1	
	小計 (3科目)	—	—	0	0	4	—	—	—	0	0	0	0	0	0	3	
キャリア 科目群	実践キャリア支援講座	3・4後				2	○				1					3	
	小計 (1科目)	—	—	0	0	2	—	—	—	0	1	0	0	0	0	3	
IT 科目群	ICTベーシック	1~4前・後				2			○							1	メディア
	小計 (1科目)	—	—	0	0	2	—	—	—	0	0	0	0	0	0	1	
総合 講座	総合講座A	1~4前・後				2	○									2	メディア
	総合講座B	1~4前・後				2	○									2	メディア
	総合講座C	1~4前・後				2	○									2	メディア
	総合講座D	1~4前・後				2	○									2	メディア
	小計 (4科目)	—	—	0	0	8	—	—	—	0	0	0	0	0	0	2	
合計 (187科目)		—	—	0	342	26	—	—	—	24	14	3	0	0	56		

学位又は称号	学士（情報コミュニケーション学）	学位又は学科の分野	文学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係
卒業・修了要件及び履修方法		授業期間等	
1 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。 2 学際科目群については、情報コミュニケーション学入門を2科目4単位修得しなければならない。 3 専門科目群については、社会科学から4単位、人文科学から4単位、自然科学から2単位を含め、64単位以上を修得しなければならない。 4 外国語科目群については、英語（English Seminar I・II、英語コミュニケーションI・II及び英語音声学は含めない。）を6単位以上、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語及びタイ語（各語学の演習I・IIは含めない。）のうちから1か国語（ただし、外国人留学生については日本語）を選択し、4単位以上を修得しなければならない。 5 研究方法・表現実践科目群については、10単位以上を修得しなければならない。 6 4年次においては、8単位以上修得しなければならない。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	14週
		1 時限の授業の標準時間	100分

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教育課程等の概要																		
(情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員		
ゼミナール	基礎ゼミナール	1通			4				○			16	11	2		3		
	問題発見テーマ演習A	2前			2				○			16	13			1		
	問題発見テーマ演習B	2後			2				○			14	10	1		2		
	小計(3科目)	—	—	0	8	0			—			21	13	3	0	0	3	
目学群	情報コミュニケーション学入門A	1前	○	2					○			8	3			2	オムニバス・メディア	
	情報コミュニケーション学入門B	1後	○	2					○			4	5	2		1	オムニバス・メディア	
	小計(2科目)	—	—	4	0	0			—			12	8	2	0	0	3	
専門科目群	社会学	1・2前	○		2				○			1						
	環境と社会	1・2前	○		2				○								1	
	経営学	1・2後	○		2				○								1	
	憲法A	1・2後	○		2				○			1						
	憲法B	1・2後	○		2				○			1						
	コミュニティ論	1・2前	○		2				○								1	
	ジェンダー論	1・2前	○		2				○				1				1	
	市民社会と法I	1・2前	○		2				○					1				
	市民社会と法II	1・2後	○		2				○					1				
	社会学A	1・2前	○		2				○			1						
	社会学B	1・2後	○		2				○			1						
	社会心理学A	1・2前	○		2				○				1				メディア	
	社会心理学B	1・2後	○		2				○				1				メディア	
	情報社会と経済	1・2後	○		2				○			1						
	情報倫理	1・2前	○		2				○				1				メディア	
	政治学	1・2前	○		2				○				1					
	組織論	1・2後	○		2				○			1						
	犯罪と法I	1・2前	○		2				○			1						
	犯罪と法II	1・2後	○		2				○			1						
	法学	1・2後	○		2				○				1					
	マクロ経済学	1・2前	○		2				○			1						
	ミクロ経済学	1・2後	○		2				○			1						
	メディア・リテラシー	1・2後	○		2				○								1	
小計(23科目)	—	—	—	0	46	0			—			7	5	1	0	0	5	
人文科学	異文化理解	1・2前	○		2				○			1						
	英語文学A	1・2前	○		2				○								1	
	英語文学B	1・2後	○		2				○								1	
	外国文学	1・2前	○		2				○			1					メディア	
	言語学	1・2後	○		2				○				1					
	宗教学	1・2前	○		2				○								1	
	小集団コミュニケーション	1・2前・後	○		2				○								4	
	新興国事情	1・2前・後	○		2				○				2					
	心理学A	1・2前	○		2				○								1	
	心理学B	1・2後	○		2				○								1	
	生命論A	1・2前	○		2				○			1					メディア	
	生命論B	1・2後	○		2				○			1					メディア	
	西洋史概論	1・2後	○		2				○								1	
	地域文化論(基礎)	1・2前	○		2				○			3					4	
	地誌学	1・2前	○		2				○								1	
	地理学	1・2後	○		2				○								1	
	哲学	1・2前	○		2				○			1						
	東洋史概論	1・2後	○		2				○								1	
	日本史概論	1・2前	○		2				○								1	
	日本文学	1・2前	○		2				○			1						
	パブリック・スピーキング	1・2後	○		2				○			1						
	比較文化(基礎)A	1・2前	○		2				○								1	
	比較文化(基礎)B	1・2後	○		2				○								1	

	メディア批評	1・2前	○		2		○			1									
	歴史学	1・2後	○		2		○												1
	小計 (25科目)	—	—	0	50	0	—			8	2	0	0	0	0	0	0	0	15
自然科学	科学技術史	1・2後	○		2		○												1
	環境生物学	1・2前	○		2					1									
	情報科学	1・2前	○		2		○				1								
	情報検索論	1・2後	○		2		○												1
	人類学A	1・2前	○		2		○				1								
	人類学B	1・2後	○		2		○				1								
	地球環境科学	1・2後	○		2		○			1									
	脳科学	1・2後	○		2		○			1									
小計 (8科目)	—	—	0	16	0	—			1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
先取り履修科目 (3・4年次配当科目)		2前・後			2		○			13	14								2
	小計 (1科目)	—	—	0	2	0	—			13	14	0	0	0	0	0	0	0	2
外国語科目群	英語	EnglishSkillsA I (基礎)	1・2前		1		○												3
		EnglishSkillsA I (中級)	1・2前		1		○												8
		EnglishSkillsA I (上級)	1・2前		1		○												1
		EnglishSkillsA II (基礎)	1・2後		1		○												3
		EnglishSkillsA II (中級)	1・2後		1		○												8
		EnglishSkillsA II (上級)	1・2後		1		○												1
		EnglishSkillsB I (基礎)	1・2前		1		○												2
		EnglishSkillsB I (中級)	1・2前		1		○												6
		EnglishSkillsB I (上級)	1・2前		1		○												3
		EnglishSkillsB II (基礎)	1・2後		1		○			1									1
		EnglishSkillsB II (中級)	1・2後		1		○												6
		EnglishSkillsB II (上級)	1・2後		1		○												3
		Speech&DebateA	1・2前		1		○												3
		Speech&DebateB	1・2後		1		○												3
		CriticalReading	1・2前		1		○												8
		CriticalDiscussion	1・2後		1		○				1	2							5
		CriticalWritingA	1・2前		1		○												2
		CriticalWritingB	1・2後		1		○					1							2
	小計 (18科目)	—	—	0	18	0	—			1	1	3	0	0	0	0	0	31	
ドイツ語	ドイツ語A I	1・2前			1		○												3
	ドイツ語A II	1・2後			1		○												3
	ドイツ語B I	1・2前			1		○												3
	ドイツ語B II	1・2後			1		○												3
	ドイツ語演習 I	1・2前			2		○												1
	ドイツ語演習 II	1・2後			2		○												1
小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
フランス語	フランス語A I	1・2前			1		○												3
	フランス語A II	1・2後			1		○												3
	フランス語B I	1・2前			1		○												3
	フランス語B II	1・2後			1		○												3
	フランス語演習 I	1・2前			2		○												1
	フランス語演習 II	1・2後			2		○												1
小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
スペイン語	スペイン語A I	1・2前			1		○												2
	スペイン語A II	1・2後			1		○												2
	スペイン語B I	1・2前			1		○												4
	スペイン語B II	1・2後			1		○												4
	スペイン語演習 I	1・2前			2		○												1
	スペイン語演習 II	1・2後			2		○												1
小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
中国語	中国語A I	1・2前			1		○												3
	中国語A II	1・2後			1		○												3
	中国語B I	1・2前			1		○												2
	中国語B II	1・2後			1		○												2
	中国語演習 I	1・2前			2		○												1
	中国語演習 II	1・2後			2		○												1
小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
韓国語	韓国語A I	1・2前			1		○												2
	韓国語A II	1・2後			1		○												2
	韓国語B I	1・2前			1		○												2
	韓国語B II	1・2後			1		○												2
	韓国語演習 I	1・2前			2		○												1
	韓国語演習 II	1・2後			2		○												1

	小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	2	
タイ語	タイ語A I	1・2前			1		○								1	
	タイ語A II	1・2後			1		○								1	
	タイ語B I	1・2前			1		○								1	
	タイ語B II	1・2後			1		○								1	
	タイ語演習 I	1・2前			2		○								1	
	タイ語演習 II	1・2後			2		○								1	
	小計 (6科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	1	
日本語	日本語A I	1・2前			1		○								1	
	日本語A II	1・2後			1		○								1	
	日本語B I	1・2前			1		○								1	
	日本語B II	1・2後			1		○								1	
	日本語A III	1・2前			1		○								1	
	日本語A IV	1・2後			1		○								1	
	日本語B III	1・2前			1		○								1	
	日本語B IV	1・2後			1		○								1	
小計 (8科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	0	0	0	0	0	1		
研究方法・表現実践科目群	情報リテラシー	1・2前・後			2		○								5	
	ネットワーク技術 I	1・2前・後			2				○		1					
	ネットワーク技術 II	1・2前			2				○		1					
	ネットワーク技術 III	1・2後			2				○		1					
	プログラミング実習 I	1・2前			1				○		1				1	
	プログラミング実習 II	1・2後			1				○		1				1	
	ICT統計解析入門	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICT統計解析応用	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICTデータベース入門	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICTデータベース応用	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICT画像編集入門	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICT画像編集応用	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICT動画編集入門	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICT動画編集応用	1~4前・後			2				○						1	
	ICT音楽編集入門	1~4前・後			2				○						1	
	ICT音楽編集応用	1~4前・後			2				○						1	
	ICTプログラミング入門	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICTプログラミング応用	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICTWebページ作成	1~4前・後			2				○						1	メディア
	ICTeラーニングデザイン入門	1~4前・後			2				○						1	
	ICTeラーニングデザイン応用	1~4前・後			2				○						1	
	ICTプレゼンテーション	1~4前・後			2				○						1	メディア
小計 (22科目)	—	—	0	42	0	—	—	—	0	1	0	0	0	15		
日本語表現科	日本語表現 I	1・2前			2		○				1				6	
	日本語表現 II	1・2後			2		○				1				6	
	小計 (2科目)	—	—	0	4	0	—	—	—	0	1	0	0	0	6	
クリエイション科目	演劇学	1・2前・後			2		○								1	
	音楽論	1・2後			2		○								1	
	クリエイティブ・コミュニケーション	1・2前・後			2		○			1	2				10	
	身体コミュニケーションA	1・2前・3・4後			2		○								1	
	身体コミュニケーションB	1・2前・後			2		○								1	
	美学・芸術学	1・2前			2		○								1	
	メディア・アート	1・2後			2		○								1	
小計 (7科目)	—	—	0	14	0	—	—	—	1	2	0	0	0	13		
リサーチリテラシー科目	科学リテラシー	1・2前			2		○			1						
	社会調査法A	1・2前			2		○								2	
	社会調査法B	1・2後			2		○								2	
	数理リテラシー	1・2前			2		○								1	
	統計学A	1・2前			2		○								1	
	統計学B	1・2後			2		○								1	
	論理リテラシー	1・2後			2		○								1	
小計 (7科目)	—	—	0	14	0	—	—	—	1	0	0	0	0	4		
海外留学科目群	国際交流	1~4前・後				2	○			1	2					メディア
	留学関係科目 (語学・実習) A	1~4前・後			1		○			1						
	留学関係科目 (語学・実習) B	1~4前・後			2		○			1						
	留学関係科目 (講義) A	1~4前・後			2		○			1						
	留学関係科目 (講義) B	1~4前・後			3		○			1						
小計 (5科目)	—	—	0	0	10	—	—	—	1	2	0	0	0	0		
ウェルネス	ウェルネスA	1・2前・後, 3・4後				2			○						1	
	ウェルネスB	1・2前				2			○						1	

ホ 大 科 目 群	ウェルネス・スポーツA	1・2前				1			○							2
	ウェルネス・スポーツB	1・2後				1			○							3
	小計 (4科目)	—	—	0	0	6			—		0	0	0	0	0	4
サ キ ヤ リ ア 科 目 群	キャリアデザイン	1・2前・後				2	○					1				
	インターンシップ入門	1・2前・後				2	○									1
	小計 (2科目)	—	—	0	0	4			—			1	0	0	0	1
ラ 横 目 シ 能 群 目 群	ICTベーシック	1~4前・後				2			○							1
	小計 (1科目)	—	—	0	0	2			—		0	0	0	0	0	1
総 合 講 座	総合講座A	1~4前・後				2	○									2
	総合講座B	1~4前・後				2	○									2
	総合講座C	1~4前・後				2	○									2
	総合講座D	1~4前・後				2	○									2
	小計 (4科目)	—	—	0	0	8			—		0	0	0	0	0	2
合計 (178科目)		—	—	4	270	30			—		16	11	2	0	0	104

メディア

メディア

メディア

メディア

メディア

学位又は称号	学士（情報コミュニケーション学）	学位又は学科の分野	文学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係
卒業・修了要件及び履修方法		授業期間等	
1 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。 2 学際科目群については、情報コミュニケーション学入門を2科目4単位修得しなければならない。 3 専門科目群については、社会科学から4単位、人文科学から4単位、自然科学から2単位を含め、64単位以上を修得しなければならない。 4 外国語科目群については、英語（English Seminar I・II、英語コミュニケーションI・II及び英語音声学は含めない。）を6単位以上、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語及びタイ語（各語学の演習I・IIは含めない。）のうちから1か国語（ただし、外国人留学生については日本語）を選択し、4単位以上を修得しなければならない。 5 研究方法・表現実践科目群については、10単位以上を修得しなければならない。 6 4年次においては、8単位以上修得しなければならない。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	14週
		1 時限の授業の標準時間	100分

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

授 業 科 目 の 概 要				
(政治経済学部政策学科)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎科目 人文科学 科目群	哲学概論	○	ソクラテス以前の古代ギリシア哲学から説き起こし、ヘラクレイトスを経てアリストテレスへと受け継がれて行く「ロゴスの探求」を、今日の学問体系との関連性を視野に入れつつ概説する。伝統的な哲学では、「相対と絶対」「内在と超越」「主観と客観」「意識と存在」等の概念が、極めて厳格な規定の下に使用される。本科目では、哲学を理解する上で欠くことのできないこれらの概念に関し講義形式で解説する。本科目は、哲学とともに、政治学、経済学、政策学の古典を読解するための基礎知識の習得を目的とするものである。	
基礎科目 人文科学 科目群	哲学史	○	古代ギリシアから現代に至る哲学の歴史を講義形式で概説する。とりわけ中世以降の西洋哲学における精神的基盤としてのキリスト教について詳解する。加えて、中世から近・現代に至る哲学の歴史を概説する。17世紀のデカルトから始まる近代合理主義の哲学は、神の存在によらない近代的自我の確立を宣言した。しかし、デカルトに始まる近代的自我の探究は、その後、カントの認識論やフイヒテの自我論を経て、ヘーゲルによる自己意識の展開へと受け継がれ、その本質を絶対精神として捉える言わば「近代化したキリスト教神学」の様相を呈するものになって行った。そして現代の哲学は、このようなヘーゲル哲学を受け継ぐ潮流、否定する潮流、全く異なった言語論的潮流として展開している。本科目はこのような解説を通して、哲学とともに、政治学、経済学、政策学の古典を読解するための基礎知識の習得を目的とするものである。	
基礎科目 人文科学 科目群	基礎論理学	○	論証と推論の差異、論証の妥当性と命題の真理値、条件的立言と条件的論証、背理法、ジレンマ、記号論理学における真理値と妥当性、論理的等値、トートロジー、パラドックス、定言的三段論法、ヴェンの図式とクラス論理、関係の論理、限量記号等の演繹法における基本事項に関し講義形式で解説する。演繹法はあらゆる学問における論理の基盤であるところから、演繹法の基本的性質を解説するとともに、学問における論理性の本質的特徴についてもあわせて概説する。本科目は、論理学の基礎的知識とともに、学問という知的営みの本質的特徴に関する理解を目的とするものである。	
基礎科目 人文科学 科目群	応用論理学概論		科学の本質的論理としての帰納法について講義形式で解説する。科学は、実験や観察といった人間の不完全な経験の上に成立している。帰納法とは、有限で不完全な経験から、一般的な原理や法則性を導き出す考え方である。それゆえ帰納法は常に間違える可能性をもっている。しかし、間違える可能性があるからこそ、科学の世界には、新しい発見や進歩の可能性があるととも言える。ここに言う科学は、自然科学のことばかりではない。社会科学も、社会的事象についての科学的研究の営みであって、学問としての基本的形式は、自然科学と同じである。それゆえ帰納法は、経済学や政治学、政策学といった社会科学においても、根本的な論理形式に他ならない。本科目は、社会科学を含めた科学全般の本質的論理としての帰納法に関する理解とともに、科学の本質的性質に関する認識の獲得を目的とするものである。	
基礎科目 人文科学 科目群	歴史学	○	モダニティの成り立ちとその特徴について概説する。近代以降の人類の歴史は地理的に隔たれていた諸文明が繋がりあって一つのシステムに収斂する過程であるが、本講義はその政治的側面に焦点を当て、モダニティ特有の政治体である国民国家の生成と発展を、具体例をもとに説明する。扱う題材は近代奴隷制、人種主義、自由主義革命、民族解放運動、ファシズム、スターリニズム、新植民地主義、ジェノサイドである。	
基礎科目 人文科学 科目群	国語表現	○	この授業では、大学生が必要とするアカデミックライティングのスキルを体系的に学ぶ。主な内容は、論文やレポートの構成、文献の引用方法、論理的な文章の展開、説得力のある主張の構築など。授業は講義形式だけでなく、実践的な演習も取り入れ、受講生が実際に書いた文章に対してフィードバックを行い、具体的な改善点を見つけ出してスキルを向上させる。また、プレゼンテーションやディスカッションも取り入れ、文章表現力だけでなく、総合的なコミュニケーション能力も養成する。最終的には、各自が自身の専門分野での研究や発表に活かせる高度な文章力を身につけることを目指す。	
基礎科目 人文科学 科目群	日本文学	○	この授業では、日本文学の主要な作品や作家を通じて、日本の文化や歴史を理解することを目指す。古典から現代文学まで幅広く取り上げ、各時代の文学的特徴や社会背景を学ぶ。また、作品の分析や解釈を通じて、文学の持つ多様な意味や価値を探索する。授業は主に講義形式で進められ、受講生は講義内容に基づいたレポートや課題に取り組みことで理解を深める。最終的には、日本文学を深く理解し、自身の視点で作品を読み解く力を養うことを目指す。	

基礎科目	人文科学科目群	外国文学		この授業では、イスペインアメリカと呼ばれる地域、そして広くラテンアメリカが生み出した文学作品を、そこに暮らす人びとの歴史と、その中で生まれた暮らしやメンタリティ、政治との関わりとともに考察する。またいわゆる「ラテンアメリカ」地域を、それ以外のアメリカやヨーロッパとの比較し、またそれぞれの関係をとらえられるようになり、そのうえでイスペインアメリカの代表的作家たちの意識や作品に対する理解を深める。20世紀から今世紀にかけてのこの地域の代表的作家とその作品を取り上げ、それぞれの作家、作品を、地域や時代の特徴をとらえる。	
基礎科目	人文科学科目群	言語と文化		私たち人間が使う言語は文化と密接に結びついている。言語は文化を表象するメディアのひとつであるが、また文化を構成していく力を持つものでもある。文化が絶えず変化しているようにそれを伝えるメディアも形を変え、そのひとつである言語も変化している。また言語の変化が文化を変えていく場合もある。そうした状況が露わになるのは植民地支配などにより「外国」の言語が急激に入ってきたときなどである。この講義では文学作品を材料として、異文化間の「翻訳」や非自然である人間の言語による自然環境の「言語化」＝「翻訳」に注目して、言語と文化の関係について考える。	
基礎科目	人文科学科目群	留学認定科目 (基礎科目・人文)		当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の基礎科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の基礎科目(人文科学科目群)として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。	
基礎科目	社会科学科目群	法学		私たちが無条件に「法」として思い浮かべているのは、実は西欧法のことである。日本は江戸時代末期に開国を強いられ、西欧諸国との間に不平等条約を結ばされた。それを改正するために、西欧と同じ制度の「法」を持つことが国是であった。西欧諸国は自分たちと同じ法制度を持たない国とは交渉さえしなかったからである。この授業では、西欧法継受の歴史的背景、そもそも西欧由来の「法」とは何か、その理念としての目的である正義とは何か、東西文化が「法」に及ぼす影響、理想としての法と法の担い手などを中心に学習する。また、法の機能的側面としての目的、即ち、国民相互の関係や国家もしくは地方公共団体と国民との関係等において、法が実際的にどのような働きをしているのかを具体的に学習する。さらに、第二次世界大戦から現代に至るまで、「法」がどのように私たちの社会生活に影響を及ぼしているのかについて、東京裁判、裁判員制度、自衛隊にまつわる憲法問題、憲法解釈変更の閣議決定、憲法改正草案、安保法制などについても検討する。その他、時事問題についても取り上げる。この授業を通して、法や社会問題に関心を持ち、社会の動きに敏感であることを望む。	
基礎科目	社会科学科目群	地理学		地理学研究の歴史は洋の東西を通じて古代からと古くまたその範囲も自然・人文の両分野を通じて極めて幅広い。近代以降の科学的アプローチの台頭とその精緻化を通じて歴史学と同様その広範な分野は著しい専門的分化を遂げてきたが、昨今の社会における環境問題の再認識を通じてこの自然及び人文の両分野にまたがる総合的視座を伴った地理学的認識の有効性が現代社会において改めて再認識されてきた。特にSDGsとの関連において当該学問の有するアプローチの有効性が社会科学分野でも新たに脚光を浴びている。従って当該科目ではこうした地理学的アプローチの有効性について、改めて様々な角度から検証を重ねその学問の有効性を実証を重ねていく。	
基礎科目	社会科学科目群	文化人類学A	○	文化人類学の理論を解説し、異文化理解の方法と解釈を学ぶ。主なものは、古典として、進化論・伝播論・機能主義・構造主義の基礎的な人類学の研究史を解説する。その上で、現代社会の分析に有用な、開発人類学・医療人類学・経済人類学・政治人類学等の応用分野を紹介しながら、文化人類学の方法論を学ぶ。	
基礎科目	社会科学科目群	文化人類学B	○	文化人類学の実践的な方法を紹介する。フィールドワークとは何か、グローバル化における民族文化の位置付け等、実際のフィールドワークの映像・文字資料の解説をしながら、フィールドワークを実施する意味、調査対象地への社会的還元課題等について講義する。また、脱植民地運動。あるいは少数民族の自立権利運動等の事例を通じ、民族文化と国家とは何かを学び考える。	
基礎科目	社会科学科目群	現代心理学		心理学は、私たちの心のはたらきや行動の仕組みを明らかにしようとする学問であり、私たちの日常生活や行動に密接にかかわっている。授業では性格やモチベーション等心理学で古くから扱われてきた理論とともに、学習や教育心理、集団心理など、現在も様々な領域で使われている心理学の諸理論について幅広く講義を行う。心理学の諸概念を理解し自分の言葉で説明できるだけでなく、性格や対人関係、集団行動、学習や仕事に対する意欲など、私たちの生活とかわりの深いテーマについて考察できるようになることを目標とする。	
基礎科目	社会科学科目群	心理学概論		人の心は、他者や周囲の環境にうまく対応していく上で重要な働きを担っている。そうした心はどのように形成され、どのようなときにどのように働くだろうか。本講義ではそうした人の心について解説する。到達目標は(1)心理学の専門用語を理解すること、(2)心理学の研究データを理解できるようになること、(3)その用語を用いて人の心の働きについて説明できるようになること、である。	

基礎科目	社会科学科目群	文化論概論	○	異なる民族への違和感、特定の衣食住やジェンダー格差などを当然視させ、人々の生活様式や価値体系を作り、規定し、再生産することで、人々にきずなや社会性を持つことを可能にする装置を、この授業では「文化」と規定する。授業の前半部では、文化研究で使われるターム(用語)や概念を整理しつつ紹介し、後半では、文化論として社会科学に関連する論考をとりあげて説明する。抽象的な概念と具体的な事例を自分の頭のなかで結びつけ、「文化装置」が、どのような社会構築へと結びつくのかを批判的に考える力を養うことが、この授業の目標である。
基礎科目	社会科学科目群	異文化理解とコミュニケーション	○	異文化間コミュニケーションにおいて、スムーズな関係を構築し、維持するためには、文化的背景の異なる相手の価値観、信念、思考様式を理解し、自分の意見を主張でき、自文化を相手に理解させ、その上で相手と共生していくための接点を見出すことが重要である。本講義では、基礎的な理論及び概念を紹介し、そうした理論に基づいて、学生諸君に、円滑な異文化間コミュニケーションを促進していくためのスキルを習得させることにねらいを定めている。すなわち、それらは異文化環境において文化的認知度を高め、適切な行動をとることができるようなスキルである。そうしたプロセスを通じて、学生諸君の異文化理解を深めることが、本講義の最終目的である。
基礎科目	社会科学科目群	異文化摩擦とコミュニケーション	○	それぞれの文化には、文化的価値観、即ち、重視される価値観が存在する。文化的背景の異なる人の価値観を理解することは、効果的な異文化間コミュニケーションには不可欠である。というのも異なった価値観は、両者の間にコンフリクト(衝突)を生じさせる可能性を高めるからである。本講義では、文化的価値観とコンフリクトに焦点を当て、異文化環境におけるコンフリクトの対処能力の向上を目指す。将来、海外勤務及び留学を望む学生諸君はもちろんのこと、国内においても文化的背景の相違する人とのコラボレーション(協働)を考えている学生諸君には、是非とも履修して頂きたい。
基礎科目	社会科学科目群	国際地域研究基礎論		地域研究を行う上で必要な枠組みや概念を学び、各地域に固有の政治や文化、習慣、価値観、人びとの生活世界など理解するための基本的な視座を手に入れることを目的とする。また地域間のつながりや関係にも着目し、協調・融和、対立・紛争の諸側面を多角的に考察する。具体的な授業内容は担当教員の専門に応じて設定される。
基礎科目	社会科学科目群	ジェンダー論Ⅰ		この授業では、対象としてジェンダー論の初学者を想定し、家族や教育、労働、国家といった諸側面との関わりからジェンダー論の基本的知識を習得する。さらにそれをツールとして他の社会現象や社会問題を分析する視点を獲得することを到達目標とする。こうした学びが、3～4年生における政治学、経済学、行政学各分野の専門的な学びの基礎となることを想定している。
基礎科目	社会科学科目群	ジェンダー論Ⅱ		この授業は、1・2年生で開講される初学者向けの授業としての「ジェンダー論Ⅰ」を踏まえ、より応用的なジェンダー研究の議論を紹介する。雇用・労働とジェンダー、選挙・政治とジェンダー、性暴力、国際政治や軍事や植民地主義とジェンダー、ジェンダーと人種や階級など他の社会的差異のカテゴリーとの関係など、近年の研究成果に基づいて現代社会のさまざまな側面がジェンダー研究の対象であることを明らかにしていく。
基礎科目	社会科学科目群	留学認定科目 (基礎科目・社会)		当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の基礎科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の基礎科目(社会科学科目群)として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。
基礎科目	自然科学科目群	基礎数学	○	現代数学は「集合」「写像」「同値関係」等の概念を基盤として、数学的な世界が構築される。本講義では、このような数学の言葉を学ぶ。集合や論理、命題について解説した後、全称量化記号と存在量化記号の使用例として ϵ - δ 論法による極限の定義を述べる。また、写像の具体例として日本古来の阿弥陀籤を題材に取り上げる。最後に同値関係の応用として、Zellerの公式に触れる。写像や同値関係の意味を正しく理解し、基本的な性質を自身の言葉で説明できるようになることが目標である。
基礎科目	自然科学科目群	数学概論		本講義では、微分積分学の基礎、特に1変数関数の積分法とその応用に関する事項を学ぶ。歴史的背景から始め、Riemann和を用いた定積分の定義の下、微分積分学の基本定理によって、連続関数の不定積分と原始関数が同値であることを証明する。このような基盤となる積分の理論を構築した上で、初等関数の計算を解説する。不定積分や定積分などの概念を正しく理解し、積分法に関する基本的な計算ができるようになることが目標である。
基礎科目	自然科学科目群	線形代数学Ⅰ	○	線形代数学は、連立方程式を解く技法のことである。現在では、数学や物理学、化学、生物学といった自然科学分野に限らず、社会科学分野においても現れる汎用性の高い数学である。本講義では、行列の定義から始め、行列の階数や正則行列、逆行列の理論等を経て、行列を用いた連立方程式の解法を学ぶ。行列と行列の基本変形、行列の階数などの概念を正しく理解し、連立方程式の解を求める計算に習熟することが目標である。
基礎科目	自然科学科目群	線形代数学Ⅱ		線形代数学Ⅱにおいて、行列の基本的性質と連立方程式の解法を学んだ。本講義では、未知数の数と方程式の個数が一致する場合の連立方程式を考察する。日本古来の阿弥陀籤をモデルに据えることで、抽象的な置換の理論を視覚的に捉えながら展開し、行列式の理論へと進む。行列式とその基盤となる置換の概念を理解し、行列式を求める計算に習熟することが目標である。

基礎科目	自然科学科目群	線形代数学Ⅲ		線形代数学I、IIにおいて、行列と行列式の基本的性質と連立方程式の解法を学んだ。本講義では、(一般に無限に存在する)連立方程式の解の性質をより深く理解するために、解全体の集合(解空間)を考え、その数学的な構造をベクトル空間の理論として構築する。ベクトルの一次独立性とベクトル空間の基底の意味を理解し、与えられたベクトル空間の基底を求められることが目標である。	
基礎科目	自然科学科目群	線形代数学Ⅳ		線形代数学I、II、IIIにおいて、行列と行列式の基本的性質、連立方程式の解法、及び抽象ベクトル空間の基本的性質を学んだ。本講義では、抽象的なベクトル空間の理論を百尺竿頭に一步を進めるために、これまでの理論を踏まえ、行列の三角化・対角化とベクトルの内積を中心に扱う。Cayley-Hamiltonの定理を理解すること、及びSchmidtの直交化法により正規直交基底を求められることが目標である。	
基礎科目	自然科学科目群	解析学Ⅰ	○	本講義では、微分積分学の基礎、特に1変数関数の微分法とその応用に関する事項を学ぶ。数列と関数の極限から始め、関数の連続性や微分可能性を経て、Taylorの定理による関数の多項式近似を扱う。関数の連続性及び微分可能性などの概念を正しく理解し、微分法に関する基本的な計算ができるようになること、またその応用としてTaylor展開が求められるようになることが目標である。	
基礎科目	自然科学科目群	解析学Ⅱ		解析学Iにおいて、1変数関数の微分法を学んだ。本講義では、多変数関数の微分法(主に2変数実数値関数)に関する事項を扱う。多変数関数と1変数関数の差異について意識しながら、多変数関数の連続性や微分可能性、Taylorの定理について述べ、多変数関数の条件付き極値問題に対するLagrangeの未定乗数法による解法を学ぶ。多変数関数の連続性及び偏微分可能性、全微分可能性などの概念を正しく理解し、合成関数の微分を始めとした微分法に関する基本的な計算ができるようになることが目標である。	
基礎科目	自然科学科目群	科学史A	○	科学はわれわれの考え方や生き方に大きな影響を与えている。しかし、現在見られるような科学的知識の体系が、人類の始まりとともに存在したわけではない。それは長い時間をかけて、多くの人々が、試行錯誤を重ねながら、作り出してきたものである。つまり人間の営為としての科学には歴史があり、それゆえ科学史というアプローチが可能となるのである。科学史は科学そのものと同じくらい、あるいはそれ以上に幅広い分野である。本講義ではその中でも、古代ギリシアから近世ヨーロッパに至る天文学と自然科学(物理学)の歴史を題材として、科学の歴史的变化を論ずるための基本的な概念や観点を習得することを目標とする。	
基礎科目	自然科学科目群	科学史B	○	科学と科学者は社会から隔絶された存在ではない。むしろ、科学が科学者という人間によってなされる営みである以上、科学の歴史を論ずるにあたっては、さまざまな制度的・社会的要素を考慮することは不可欠であるとさえ言える。ここに科学の社会史と呼ばれる分野の存在意義がある。この講義では、主として欧米諸国の事例を通じて、科学とそれを取り巻く制度・社会・文化との関係を講ずる。これにより、科学から社会への影響と、社会から科学への影響を考察するためのさまざまな視点を涵養することを目指す。	
基礎科目	自然科学科目群	技術史A		技術の歴史は現生人類の歴史よりも古く、人類はその誕生いらい常になんらかの技術とともにあった。したがって技術の歴史は人類史と同じ広がりを持ち、あらゆる時代のあらゆる文化・文明がなんらかの技術を養い育ててきたといえる。しかし今日において「技術」とはもっぱら「科学技術」や「産業技術」を意味し、これははっきり西洋由来のものである。そこで本講義では、(西洋中心主義の排りは承知の上で)西洋世界の技術史を検討していく。技術史Aではその前半として、先史時代から産業革命期までを対象として、前近代の技術史を概観していく。	
基礎科目	自然科学科目群	技術史B		本講義では西洋世界の技術史を産業革命期から現代までを対象として検討していく。従来科学と技術とは全く別の営みとして独立に発展してきたが、両者は産業革命以降急速に接近し、20世紀に入って「科学技術(technology)」として実質融合するに至る。技術の「科学技術」化とともに、科学もまた目的駆動的、つまりは技術的な性格を否応なく帯びて工学へと接近していくことになる。本講義では、(国家(とくに軍)・資本を媒介とした科学・技術の融合)という視点から、近現代の技術史を概観していく。	
基礎科目	自然科学科目群	物理科学概論A		物質のミクロな世界の探求が進んだ19世紀末から20世紀初めに物理学には大きな変革が生じた。この変革は1925年から26年にかけて量子力学が建設されたことで一応の決着をみたが、この変革以前の物理学を古典物理学、以後の物理学を現代物理学などと称している。もちろん現代物理学の基礎は古典物理学にある。この講義では主に古典物理学を扱い古典物理学を構成する力学や熱学、電磁気学、特殊相対論などの基本的な考え方をその歴史的成立過程や我々の日常との関わりとともに学ぶ。	
基礎科目	自然科学科目群	物理科学概論B		物理科学概論Bでは現代物理学が到達した物質観を学ぶ。はじめに量子力学を概説し、量子力学により解明された原子の構造や原子核に話を進める。原子核物理に関連して原子力や放射線について多少詳しく解説する。次いで現在判っている物質の基礎的な構成要素である素粒子とそれらに働く基礎的な相互作用を説明し、最後に宇宙における元素合成の概略を述べる。現代物理学の世界の観方を知るとともに、例えばニュース等に現れる原子力等の物理学に関連する用語の意味が理解できるようになることが目標である。	

基礎科目	自然科学科目群	環境科学概論A	近年、環境の悪化が人類だけでなく、生物全体に及ぼす影響が懸念され、大きな社会問題となっています。世界的な異常気象に加えて、日本では豪雨災害が毎年発生するなど、「地球温暖化」への懸念が年々増えています。「地球温暖化」は地球規模での科学、政治、経済、社会など多様な分野を巻き込む複雑な問題です。地球システムは多くの構成要素から成り立ち、そのサブシステムである気候システムの理解も容易ではありません。そのため、変化のメカニズムや時間スケールに関する誤解や混同が見られ、多くの人々は「地球温暖化については知っているが、詳細はよくわからない」と感じているのではないでしようか。本講義では、地球温暖化に対する科学的理解を深めるため、まず、気候の形成に重要な物理法則などの基本的な概念を学びます。そして、過去に起こった気候変動を取り上げ、全地球環境史という広い視点から気候変動の全体像を俯瞰します。
基礎科目	自然科学科目群	環境科学概論B	近年、地球温暖化が社会的、科学的に大きな注目を集めています。本講義では、この現代の緊急課題に焦点を当て、気候変動のメカニズムを深く理解するための学びを展開します。環境科学概論Aで触れた基礎知識に基づき、人類の歴史を通じた気候変動の詳細な分析と、その現代社会への影響を探索します。受講者は以下の目標を達成することが期待されます：1. 新生代を通じた長期の気候変動の理解：人類の歴史に沿った気候変動のパターンを学び、その科学的背景を理解します。2. 現代の気候問題への洞察：最新の気候変動研究や政府間パネル（IPCC）の報告を参考に、現代の地球温暖化問題への深い洞察を得ます。3. 地球温暖化問題の再考：既に学んだ知識を活用して地球温暖化問題を再考し、その理解を深めます。
基礎科目	自然科学科目群	生命科学概論A	この授業では、計14回の講義の中で生命科学の基礎知識やそれらが現代社会にどのように関わっているのかを解説しています。対試験のような暗記科目としての生物学ではなく、現代社会を生きていく上で必要な生命科学的な知識を得ること、社会に溢れている様々な情報から正しいものを選択できるようになることを目標としています。
基礎科目	自然科学科目群	生命科学概論B	前期の生命科学概論Aからの発展として、マクロな生物現象に関わる生物学分野（進化生物学、生態学、神経科学など）を扱う。特に、政治経済について考察する上で重要な意義を持つ、人間の生物学的側面に関わる知見を紹介する。授業の前半では、遺伝現象から進化のメカニズムを理解し、進化の産物として人間行動を理解するアプローチを紹介する。授業の後半は、神経細胞の働きから知覚・運動を生み出す脳のメカニズムを概説し、経済的意思決定や道徳判断などの社会行動を生み出す脳の働きについての理解を深める。最終的には、こうした人間行動についての機械論的理解と、日常的な世界像が前提とする人間の自由とがどのように調停可能であるのかを考察する。また、基礎的な生物学の知識だけでなく、生命や生命科学技術に関する倫理的・法的・社会的な課題も取り扱う。本講義を通じて、マクロな生物学についての基礎的な知識を獲得するとともに、政治や経済といった人間固有に思われる社会現象の背後にある生物学的な基盤について見通す感覚を養ってほしい。本講義を通じて、政治経済に対するパースペクティブがより豊かなものとなることを期待する。
基礎科目	自然科学科目群	留学認定科目 (基礎科目・自然)	当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の基礎科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の基礎科目(自然科学科目群)として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。
基礎科目	総合科目群	教養演習 I A	本演習は、各教員の指導のもと、学生が自分の研究テーマを自由に設定し、発表・討論を行う授業形式である。学生は研究の過程において、資料を収集し、自らの考えをまとめ、授業の中で研究成果を発表し、他の履修者たちと活発な議論を展開している。教員は学生に伴走する形で適宜必要なアドバイスをを行い、学生を指導している。本演習は、こうした作業を繰り返すことを通じて、1・2年生が学問的リテラシーの基礎を学ぶとともに、幅広い教養を身につけることを目的として開講されている。最終成果は、学期末レポートや『教養セミナー』に投稿される論文の形で結実することになる。教養演習IAは1年次の春学期に履修する科目である。
基礎科目	総合科目群	教養演習 I B	本演習は、各教員の指導のもと、学生が自分の研究テーマを自由に設定し、発表・討論を行う授業形式である。学生は研究の過程において、資料を収集し、自らの考えをまとめ、授業の中で研究成果を発表し、他の履修者たちと活発な議論を展開している。教員は学生に伴走する形で適宜必要なアドバイスをを行い、学生を指導している。本演習は、こうした作業を繰り返すことを通じて、1・2年生が学問的リテラシーの基礎を学ぶとともに、幅広い教養を身につけることを目的として開講されている。最終成果は、学期末レポートや『教養セミナー』に投稿される論文の形で結実することになる。教養演習IBは1年次の秋学期に履修する科目である。

基礎科目	総合科目群	教養演習ⅡA	本演習は、各教員の指導のもと、学生が自分の研究テーマを自由に設定し、発表・討論を行う授業形式である。学生は研究の過程において、資料を収集し、自らの考えをまとめ、授業の中で研究成果を発表し、他の履修者たちと活発な議論を展開している。教員は学生に伴走する形で適宜必要なアドバイスをを行い、学生を指導している。本演習は、こうした作業を繰り返すことを通じて、1・2年生が学問的リテラシーの基礎を学ぶとともに、幅広い教養を身につけることを目的として開講されている。最終成果は、学期末レポートや『教養セミナー』に投稿される論文の形で結実することになる。教養演習ⅡAは2年次の春学期に履修する科目である。	
基礎科目	総合科目群	教養演習ⅡB	本演習は、各教員の指導のもと、学生が自分の研究テーマを自由に設定し、発表・討論を行う授業形式である。学生は研究の過程において、資料を収集し、自らの考えをまとめ、授業の中で研究成果を発表し、他の履修者たちと活発な議論を展開している。教員は学生に伴走する形で適宜必要なアドバイスをを行い、学生を指導している。本演習は、こうした作業を繰り返すことを通じて、1・2年生が学問的リテラシーの基礎を学ぶとともに、幅広い教養を身につけることを目的として開講されている。最終成果は、学期末レポートや『教養セミナー』に投稿される論文の形で結実することになる。教養演習ⅡBは2年次の秋学期に履修する科目である。	
基礎科目	総合科目群	教養演習ⅠC	本演習は、各教員の指導のもと、学生が自分の研究テーマを自由に設定し、発表・討論を行う授業形式である。学生は研究の過程において、資料を収集し、自らの考えをまとめ、授業の中で研究成果を発表し、他の履修者たちと活発な議論を展開している。教員は学生に伴走する形で適宜必要なアドバイスをを行い、学生を指導している。本演習は、こうした作業を繰り返すことを通じて、1・2年生が学問的リテラシーの基礎を学ぶとともに、幅広い教養を身につけることを目的として開講されている。最終成果は、学期末レポートや『教養セミナー』に投稿される論文の形で結実することになる。教養演習ⅠCは1年次の春・秋学期に履修する科目である。	
基礎科目	総合科目群	教養演習ⅡC	本演習は、各教員の指導のもと、学生が自分の研究テーマを自由に設定し、発表・討論を行う授業形式である。学生は研究の過程において、資料を収集し、自らの考えをまとめ、授業の中で研究成果を発表し、他の履修者たちと活発な議論を展開している。教員は学生に伴走する形で適宜必要なアドバイスをを行い、学生を指導している。本演習は、こうした作業を繰り返すことを通じて、1・2年生が学問的リテラシーの基礎を学ぶとともに、幅広い教養を身につけることを目的として開講されている。最終成果は、学期末レポートや『教養セミナー』に投稿される論文の形で結実することになる。教養演習ⅡCは2年次の春・秋学期に履修する科目である。	
基礎科目	総合科目群	ICTベーシック	1. 学内の情報サービス利用とセキュリティ 1-1 大学教育支援システムの利用とセキュリティ 1-2 情報セキュリティの理解 2. インターネット資源の活用 3. 基本的なソフトウェアの操作技能 4. メディアとのつきあい方 5. 権利の尊重（被害防止・加害防止） 6. アカデミックスキル（論文/レポートの作成）	
基礎科目	総合科目群	共通総合講座Ⅰ	社会の制度や仕組みが大きく変化するなかにおいて、本学の教育理念・目的は「個性を大切に自立心の強い人材を育成する」ことにある。 全学共通総合講座は、学部設置のカリキュラムを基礎としながら、なお学部や文理の枠を越えた学際的授業を提供することにより、学生の学問的視野を広げ、問題発見能力や判断力を培うものである。 各々の講座は、各分野で活躍するゲスト講師を招き、現代社会で話題となっている事柄、最先端のホットなニュース等をテーマに取り上げている。この講座を履修することにより、知的好奇心が刺激され、自分が学んでいることの意義と目標を再確認し、学習意欲を喚起することができることである。なお、共通総合講座Ⅰは、春学期に履修する科目である。 1 インTRODクシヨン【44 富澤成實】 2 明治大学の創立者【44 富澤成實】 3-9 明治大学の歴史・学部の歴史【81 阿部裕樹】 10-13 留学生とグローバル化【44 富澤成實】 14 総括【44 富澤成實】	オムニバス方式
基礎科目	総合科目群	共通総合講座Ⅱ	社会の制度や仕組みが大きく変化するなかにおいて、本学の教育理念・目的は「個性を大切に自立心の強い人材を育成する」ことにある。 全学共通総合講座は、学部設置のカリキュラムを基礎としながら、なお学部や文理の枠を越えた学際的授業を提供することにより、学生の学問的視野を広げ、問題発見能力や判断力を培うものである。 各々の講座は、各分野で活躍するゲスト講師を招き、現代社会で話題となっている事柄、最先端のホットなニュース等をテーマに取り上げている。この講座を履修することにより、知的好奇心が刺激され、自分が学んでいることの意義と目標を再確認し、学習意欲を喚起することができることである。なお、共通総合講座Ⅱは、秋学期に履修する科目である。 1 インTRODクシヨン【44 富澤成實】 2 明治大学の創立者【44 富澤成實】 3-9 明治大学の歴史・学部の歴史【81 阿部裕樹】 10-13 留学生とグローバル化【44 富澤成實】 14 総括【44 富澤成實】	オムニバス方式

基礎科目	総合科目群	国際文化特殊講義 A		この授業では、現代社会の重要な争点であるLGBTQをめぐる問いを理解するために、アメリカにおけるLGBTQの歴史に関する入門的な概論を教授する。アメリカの事例を学ぶことを通じて、日本においてLGBTQが置かれた状況や主流社会が直面すべき問いに関する理解を深めていくことを目的としている。	
基礎科目	総合科目群	国際文化特殊講義 B		本講義では、19世紀のヨーロッパで論じられた物理学的世界像、とくに力学的世界像を取り上げ、その科学的意義を考える。力学とは物体の運動ならびに物体間にはたらく力の物理学であり、力学的世界像とはこの世界のすべての現象は究極的には力学によって理解・説明されるという主張である。このような主張は、もちろん今日の現代物理学からすればあまりにも素朴で説得力をもたないが、19世紀には力学は社会科学を含めた諸科学の範疇ないし理想としての地位を築いていたのである。他方で、当時からすでに力学的世界像の妥当性や含意については数多くの異論があった。受講生には当時のテキストに触れてもらいながら、ある科学理論がもつ狭義の含意のみならず、より広い哲学的・文化的含意をも含めた重層的な歴史理解を目指す科学史研究の手法に習熟することが期待される。	
基礎科目	総合科目群	Top School Seminar (International Cultures) A		この講座（春学期・和泉キャンパス開講）では、学部教員が研究活動等を通じて交流のある海外大学の教員を迎え、それぞれの専門分野において英語を用いた授業を受講する機会を設けることを目的として開講するものである。この講義を受講することによって、留学を予定している学生は海外の大学で実際に開講されている講義を留学前に体験することができるほか、留学中に学びを深める専門分野への基礎固めを行うことが期待されている。	
基礎科目	総合科目群	Top School Seminar (International Cultures) B		この講座（秋学期・和泉キャンパス開講）では、学部教員が研究活動等を通じて交流のある海外大学の教員を迎え、それぞれの専門分野において英語を用いた授業を受講する機会を設けることを目的として開講するものである。この講義を受講することによって、留学を予定している学生は海外の大学で実際に開講されている講義を留学前に体験することができるほか、留学中に学びを深める専門分野への基礎固めを行うことが期待されている。	
基礎科目	総合科目群	日本事情 A		この授業は、留学生および海外留学を希望している学生（政治経済学部に限る）を対象としている。日本の歴史や文化から政治や経済にいたるまで、日本に関するさまざまなテーマについて、政治経済学部ならではの多彩な講師陣によって展開される。留学生にとっては、日本に関する多様な知識を得る機会になるとともに、海外留学を希望する一般の学生にとっても、留学先で日本を紹介するために有用な知識の獲得につながる。 1 インTRODクシヨン：政策実践のための処方箋【67 兼子歩】 2 高校国語教科書の「定番」・「小説の神様」志賀直哉『城の崎にて』を読む【44 富澤成貴】 3 東アジアの近代と外来語の交流【54 本間次彦】 4 日本のゲーム業界について【77 ヨーク ジェームズ】 5 明治日本の対外観【50 廣部泉】 6 世界における日本の世論と選挙【120 加藤言人】 7 日本の政治制度 - 衆院総選挙のしくみを中心に - 【47 西川伸一】 8 日本の外交【29 川嶋周一】 9 日本のジャーナリズム、マス・メディア【57 水野剛也】 10 日本の財政【70 倉地真太郎】 11 日本の農村【52 藤本穰彦】 12 日本の人口と家族【175 中島満大】 13 日本経済の歴史と財閥【76 日向祥子】 14 日本の経済発展の歴史【38 末永啓一郎】	オムニバス方式
基礎科目	総合科目群	日本事情 B		この授業は、留学生および海外留学を希望している学生（政治経済学部に限る）を対象としている。日本の歴史や文化から政治や経済にいたるまで、日本に関するさまざまなテーマについて、政治経済学部ならではの多彩な講師陣によって展開される。留学生にとっては、日本に関する多様な知識を得る機会になるとともに、海外留学を希望する一般の学生にとっても、留学先で日本を紹介するために有用な知識の獲得につながる。	
基礎科目	総合科目群	日本事情 C		この授業は、留学生および海外留学を希望している学生（政治経済学部に限る）を対象としている。日本の歴史や文化から政治や経済にいたるまで、日本に関するさまざまなテーマについて、政治経済学部ならではの多彩な講師陣によって展開される。留学生にとっては、日本に関する多様な知識を得る機会になるとともに、海外留学を希望する一般の学生にとっても、留学先で日本を紹介するために有用な知識の獲得につながる。	
基礎科目	総合科目群	留学認定科目 (基礎科目・総合)		当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の基礎科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の基礎科目（総合科目群）として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。	
外国語科目		英語 I	○	この授業は1年生の必修授業である。高校までの英語教育を継承しながら、政治経済学部で政治学や経済学や行政学などを専門的に学ぶために必要な英語力を習得するための一助となることを目指しており、社会科学的な英語文献の読解や英語による議論を行うために必要な語彙や表現などの基礎的英語力を養うことを目的としている。	

外国語科目	英語Ⅱ		この授業は、主に2年生を対象とした選択授業である。基本的には、英語Ⅰをより高度化した内容を想定しており、英語Ⅰで大学における学びのために必要な英語力の基礎を習得したことを踏まえて、より高度な語彙や表現などを習得し、3～4年次の専門課程において英語を用いた政治学・経済学等の学習を行えるための英語力を養うことを目的としている。	
外国語科目	英語Ⅲ		この授業は主に3～4年生を対象とした選択授業であり、英語Ⅰ・Ⅱを踏まえて、さらに高度な英語力の習得を目指す学生のために設定された授業である。基礎レベルを超えた高度なテキストを用いて、高度な読解や英語によるディスカッション等をおこなえるようになることを目標としている。	
外国語科目	英語Ⅳ		この授業は主に3～4年生を対象とした選択授業であり、英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを踏まえて、より高度な英語力の習得を目指す学生のために設定された授業である。基礎レベルを超えた高度なテキストを用いて、英語Ⅲ以上に高度な読解や英語によるディスカッション等をおこなえるようになることを目標としている。	
外国語科目	ドイツ語Ⅰ	○	本授業では、ドイツ語の基本文法を学ぶとともに、やさしい読本を使って標準的なドイツ語表現に親しむ。文法の授業も講読の授業もほぼ同じ章立てになっているので、対応させながら学ぶことができる。文法、講読ともに、1年次の春学期に履修する授業をドイツ語Ⅰと呼ぶ。ドイツ語Ⅰでは、発音から始め、動詞系列では現在形を、名詞系列では格変化を中心にして、ドイツ語の基本構造について学ぶ。ドイツ語Ⅱに対応できるだけのドイツ語の基礎能力を養う。	
外国語科目	ドイツ語Ⅱ		本授業では、ドイツ語の基本文法を学ぶとともに、やさしい読本を使って標準的なドイツ語表現に親しむ。文法の授業も講読の授業もほぼ同じ章立てになっているので、対応させながら学ぶことができる。文法、講読ともに、1年次の秋学期に履修する授業をドイツ語Ⅱと呼ぶ。ドイツ語Ⅱでは、さまざまな時称、助動詞、関係文、受動態、接続法について学ぶ。到達目標は、2年次以降に履修するドイツ語Ⅲに対応できるだけのドイツ語能力を養うことにある。	
外国語科目	ドイツ語Ⅲ		2年次の授業では、1年次に学習した文法事項を確認しながら、ドイツ語圏（主にドイツ、オーストリア、スイス）の歴史、社会、文化、政治、経済、地理に関するドイツ語の中級テキストを読む。履修者の関心に応じて、時事ドイツ語や独検対策のためのドイツ語、会話のためのドイツ語等、さまざまなジャンルのドイツ語の授業を選ぶこともできる。ドイツ語の運用力を高めるとともに、ドイツ語圏をはじめとする異文化への理解を深め、自国の文化や自国語を見つめ直す機会にすることも目標となる。	
外国語科目	ドイツ語Ⅳ		本授業は、基本的にはドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの単位をすでに修得し、自身のドイツ語能力にさらに磨きをかけたい3・4年生が対象である。本授業で扱うテーマは多岐にわたり、しばしば履修者の希望とレベルに応じてテキストも臨機応変に変えられるが、ドイツ語Ⅲで用いられるテキストよりも文法的にも内容的にも高難度のテキストが用いられる。年によっては、専門課程における卒論研究、あるいは大学院受験準備のために役にたてることもある。	
外国語科目	フランス語Ⅰ	○	初めてフランス語に接する学習者を対象とする。フランス語を選択した学生は、1年次の春学期に当該科目2コマを履修する。卒業に必要な必修科目である。フランス語の発音や綴りの読み方を理解し、基礎文法を学ぶ。「話す、聞く、書く、読む」の基礎を身につけることを目標とする。	
外国語科目	フランス語Ⅱ		フランス語Ⅰを履修し終えた学生向けに用意された授業であり、フランス語選択者は、1年次の秋学期に当該科目を2コマ履修する。フランス語の基礎文法を学び、簡単な文章を読んだり、書いたりすることができるようになる。また学んだ語彙を用いて、基礎的な日常会話ができるようになる。	
外国語科目	フランス語Ⅲ		フランス語Ⅰ・Ⅱを履修し終えた学生向けに用意された授業であり、フランス語選択者は、通常、2年次に当該授業を4コマ履修することが推奨される。1年次に学んだ文法、語彙、基礎能力を基礎に、「話す、聞く、書く、読む」の力を総合的に高めることを目標とする。	
外国語科目	フランス語Ⅳ		フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修し終えた学生向けに用意された上級フランス語の授業である。「話す、聞く、書く、読む」の能力を総合的に高めていくことを目標とする。具体的には、辞書を用いながら、高度なフランス語の文章を読み、理解する能力を養う。中程度のフランス語の文章を書けるようになり、自分の気持ちを伝えたり、意見を述べたりする練習を行う。フランス語の会話やニュースなどの聞き取りを行い、内容を理解できるようになる。	
外国語科目	中国語Ⅰ	○	初習者の学生を対象とした授業である。基礎的な発音練習からはじめ、基本文法を学びながら、簡単な会話ができ、やさしい文章が理解できる力を養う。日本人教員が担当する授業では主に、ピンイン表記の理解に重点をおき、ネイティブ教員が担当する授業では主に、音声面での練習に重点をおく。	
外国語科目	中国語Ⅱ		中国語Ⅰの単位を取得した学生を主な対象とした授業である。中国語Ⅰの学習内容をうけ、基本的な発音と文法を学びながら、簡単な会話ができ、やさしい文章が理解できる力を養う。日本人教員が担当する授業では主に、ピンイン表記の理解に重点をおき、ネイティブ教員が担当する授業では主に、音声面での練習に重点をおく。	

外国語科目	中国語Ⅲ		中国語Ⅰ・Ⅱの単位を取得した学生を主な対象とした授業である。中国語Ⅰ・Ⅱで習得した発音能力と文法知識にもとづき、より進んだレベルの会話や文章に対応する中級レベルの能力を身につけることを目指す。
外国語科目	中国語Ⅳ		中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの単位を取得した学生のうち、さらなる中国語力向上を目指す意欲的な学生を主な対象とした授業である。相当の難度の中国語を使いこなせる上級レベルの能力を身につけることを目指す。
外国語科目	スペイン語Ⅰ	○	この授業は、初めてスペイン語を学習する人を対象として、スペイン語の発音から学びはじめ、現在形を使ってある程度表現・理解ができ、スペイン語で最低限の意志を伝えられるようになることを到達目標とする。綴りと発音の関係が明確で、比較的発音しやすいスペイン語はしかし、動詞の活用、名詞/形容詞の性数一致など、覚えること・難しい点も少なくない。そうした文法面の問題を復習、ドリル、小テストなどを繰り返すことで着実に身に付けていく。
外国語科目	スペイン語Ⅱ		この授業では、現在形の学習を前提に、現在完了形、過去形など新しい時制を学び、スペイン語の基礎を固めると同時に、表現や理解の幅を広げていく。スペイン語である程度のコミュニケーションを成立させること、辞書を片手にスペイン語の文章をある程度読み取れることを到達目標とする。スペイン語力の向上のため、学んだ知識を用いて積極的に表現したり、検定受検をめざしたりするなど明確な目標を各自に持たせる。
外国語科目	スペイン語Ⅲ		この授業では、既習の文法事項を確認し、基礎文法を仕上げつつ、言いたいことを表現する技術、書かれていること・言われていることを理解するコツを身につけたり、語彙を強化したりしていく。ネット上のページを読んでみる、動画を見てみる、辞書さえあればスペイン語の文章を理解できるようになること、スペイン政府公認の資格検定であるDELEでA2級以上、スペイン語検定4級以上の合格を目指した文法事項の習得を到達目標とする。
外国語科目	スペイン語Ⅳ		この授業は、中級スペイン語を既習の学生を対象とし、それまでに学んだ基礎的文法事項を用いて、実際に「生きた」スペイン語の文章を講読することにチャレンジする。日常的な水準のスペイン語と格闘し、スペイン語力の基盤を養うことを目標とする。また、スペイン語圏の「今」にスペイン語でアクセスできるようになることをめざす。
外国語科目	日本語Ⅰ		外国人留学生向けの日本語の授業。日本語の精読を目的とする。留学生が大学での勉学や活動に必要な日本語能力を身につけるとともに、大学の講義内容を理解し授業に積極的に参加できる能力を養う。文章読解の基本的な語彙力、文法事項の確認、ディスカッションなど様々な方面から日本語を習得し、読解能力の向上を目指す。
外国語科目	日本語Ⅱ		外国人留学生向けの日本語の授業。大学での勉学や活動に必要な日本語の技能のうち、特に、文章を深く理解するための高度な読解力を身につけること目的とする。主に評論文の読解、論理展開の理解、文章の要約などを通じて、テキスト・専門書の読解に必要な日本語力の獲得とともに、日本語による表現活動の向上を目指す。
外国語科目	日本語Ⅲ		外国人留学生向けの日本語の授業。日本語の速読を目的とする。主に新書などの一般書籍を対象に、読解の方法、要旨の把握などの能力を身につける。大学での勉学のために必要な学術的な文章を迅速に的確に読み取り、大学の授業でのプレゼンテーション、論文作成などの活動に問題なく参加できるようにする。
外国語科目	日本語Ⅳ		外国人留学生向けの日本語の授業。新書や専門書など、やや高度な文章を題材に、読み解く力を養う。文章の要約や簡単な意見文の作成を通じて、自分の考えを明確に日本語で表現するスキルを身につける。また、ディスカッションやグループワークを行い、意見交換をしながら日本語でのコミュニケーション能力を向上させる。大学での勉学や日常生活において、より自然に日本語を使いこなせるようサポートする。
外国語科目	ACE Content-based Study		本授業では、英語圏で刊行されたテキストの講読や英語による講義の受講、英語圏の動画の視聴などを踏まえて、英語でその内容に関するディスカッションをおこなうことを通じて、人文社会科学的な語彙を用いた英語での議論の訓練をおこなうこと、特に留学を検討している学生に対して留学先での英語による授業への参加のための基礎的な準備になることを目標としている。
外国語科目	ACE General Communication Skills		この授業は、英語による口頭でのコミュニケーション技術を培うことに特化した授業である。受講者はトピックを提示された上でのディスカッションや、寸劇などをおこなうことを通じて、英語で話す・聞く能力を伸ばす機会を受講者に提供し、これらの能力を伸ばすことを目標としている。
外国語科目	ACE Exam Skills		この授業は、TOEICやTOEFLなどの英語検定試験でよりよいスコアを達成することを支援する授業である。英語検定のための学習を英語で指導される授業となっており、英語検定対策であると同時に口頭での英語コミュニケーション能力を高める機会を提供することを目的としている。

外国語科目	ACE Presentation Skills		この授業は、他のACE科目で習得した能力を踏まえて、英語によるプレゼンテーションの基本を学ぶことを目的としている。学術的な、あるいはビジネスのためのプレゼンテーションを英語によっておこなえるよう、スライドの作成から口頭での報告や質疑応答のポイントなどを一通り学ぶことで、基礎的なプレゼンテーション能力を培うことを目標としている。指導は英語で行われるため、口頭での英語コミュニケーション能力の訓練の機会ともなる授業である。
外国語科目	ACE Academic Training		この授業は、高いレベルの英語力をすでに有している学生を対象に、英語でレポートや論文を執筆するための技能を習得することを目的としている。課題の設定、英語での資料収集と分析、プレゼンテーション、論文の構成の仕方、学術的な英語表現の技法などを指導し、英語で学術活動がおこなえる能力を習得することがこの授業の目的である。
健康・運動科学	運動学演習 I - 1	○	本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。
健康・運動科学	運動学演習 I - 2	○	本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。
健康・運動科学	健康・運動科学 I	○	この授業の目標は、健康を維持・増進するためになぜ運動が必要なのか、運動を行うと身体がどのように変化するのかを自然科学的に理解することです。この目標を達成するために、自然科学的かつ専門的な内容と身について十分理解して受講して下さい。また、本授業で身につけた知見を活用して生涯にわたり、日常的な運動を実践することが望まれます。授業の概要として、体力、栄養、運動器、加齢、生活習慣病、スポーツ医学、スポーツ科学、トレーニングなどの内容が主になります。
健康・運動科学	健康・運動科学 II		日本では基本的には中央政府の政策に沿いながらも、各地方自治体がそれぞれの地域の実情に合わせたスポーツ政策や健康政策を展開しています。本授業ではまず日本全体、次いで地域行政におけるスポーツや健康に関する政策（法律や組織、予算、政策）の動向について解説する。それらの知識を活用し、最終的にはある地方自治体を想定して、その地域の分析に基づいた健康・スポーツ政策の立案を試みます。この授業は健康運動科学科目として開設されていますが、将来地方自治体の職員として仕事をすることを希望する学生にとっても役立つことを想定しています。
健康・運動科学	健康・運動科学 III		本授業は、外国・日本における地域コミュニティのつながり方の代表的な事例を紹介し、異文化理解の有用な方策としての「スポーツ」について考えることを目標とします。地球上の様々な地域でおこなわれている伝統遊戯（伝統スポーツ）、および、近代スポーツの受容と変容の実相を、異文化交流というグローバルな視点で捉え直します。スポーツを切り口にして、文化創造のダイナミズムを歴史学、および、文化人類学の視点から比較検討します。祝祭的な空間における身体活動の意義を現代的課題と結びつけながら考えます。
健康・運動科学	運動学演習 II - 1		本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。
健康・運動科学	運動学演習 II - 2		本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。
健康・運動科学	運動学演習 III - 1		本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。
健康・運動科学	運動学演習 III - 2		本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。

健康・運動科学		運動学演習Ⅳ-1		本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。	
健康・運動科学		運動学演習Ⅳ-2		本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。	
健康・運動科学		生涯スポーツ演習		本授業の目標は、人間形成や心身共に健康な活力を培うために欠くことのできない身体運動について科学的に理解し、周りの人々とコミュニケーションをとりながら実践できる知識を、実際の体験を通じて習得することです。運動不足が要因となる病が深刻な社会問題となっているなかで、健康で活力ある生活の基礎となる身体運動の実践能力向上、生涯を通じて運動が実践できる資質の育成をねらいとします。また、この授業は学外集中授業のため、集団生活における相互理解等も目標に含まれます。	
基本科目	3 学科共通	政治学特殊講義A		本講義では、政治学科で開講している科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマトピックは、日米関係、戦後日本政治史、民主主義論、政治的討議やディベートなどである。1・2年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が政治学を学ぶにあたって、政治学に関する興味関心を高めることを目的とし、3年次から始まる専門演習科目の選択や卒業論文のテーマ設定のきっかけとすることを目標とする。	
基本科目	3 学科共通	政治学特殊講義B		本講義では、政治学科で開講している科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマトピックは、日米関係、戦後日本政治史、民主主義論、政治的討議やディベートなどである。1・2年次生に向けた授業で秋学期の開講を予定している。学生が政治学を学ぶにあたって、政治学に関する興味関心を高めることを目的とし、3年次から始まる専門演習科目の選択や卒業論文のテーマ設定のきっかけとすることを目標とする。	
基本科目	3 学科共通	社会学特殊講義A		本講義では、政治学科で開講している社会学系の科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。1・2年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が社会学を学ぶにあたって、社会学に関する興味関心を高めることを目的とし、3年次から始まる専門演習科目の選択や卒業論文のテーマ設定のきっかけとすることを目標とする。	
基本科目	3 学科共通	社会学特殊講義B		本講義では、政治学科で開講している社会学系の科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。1・2年次生に向けた授業で秋学期の開講を予定している。学生が社会学を学ぶにあたって、社会学に関する興味関心を高めることを目的とし、3年次から始まる専門演習科目の選択や卒業論文のテーマ設定のきっかけとすることを目標とする。	
基本科目	3 学科共通	経済学特殊講義A		本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、人口動態、産業連関分析、データ分析入門、経済学史、経済思想史、日本の財政、地域産業、地球環境問題、ケインズ経済学、国際貿易と資本移動、米国内国経済、欧州経済、中国経済、東南アジア経済などと多岐に渡り、使用言語を英語とする場合もある。1・2年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が経済学を学ぶにあたって、経済学に関する興味関心を高めることを目的とし、3年次から始まる専門演習科目の選択や卒業論文のテーマ設定のきっかけとすることを目標とする。	
基本科目	3 学科共通	経済学特殊講義B		本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、人口動態、産業連関分析、データ分析入門、経済学史、経済思想史、日本の財政、地域産業、地球環境問題、ケインズ経済学、国際貿易と資本移動、米国内国経済、欧州経済、中国経済、東南アジア経済などと多岐に渡り、使用言語を英語とする場合もある。1・2年次生に向けた授業で秋学期の開講を予定している。学生が経済学を学ぶにあたって、経済学に関する興味関心を高めることを目的とし、3年次から始まる専門演習科目の選択や卒業論文のテーマ設定のきっかけとすることを目標とする。	

基本科目	3 基本 学科 科目 共通	経済政策特殊講義 A	本講義では、経済政策の効果、地域経済政策の効果进行分析するための手法、特に産業連関表を用いた分析の手法について講義を行い、実際に産業連関表のデータをMicrosoft・Excelを用いて分析し、経済構造の把握や政策効果の評価の方法を習得する。公共投資や消費の増加が産業間にどのように波及するのか、新型コロナや災害などによる需要の減少がどのように地域間・産業間に波及するのか、といったマクロ経済指標ではとらえることが困難な地域、地域間・国際間の産業連関表を用いた分析方法についても取り上げる。本講義を通じて、産業連関分析の基本的な分析手法から、地域産業連関表を用いた分析の事例や政策評価の方法、国際産業連関表や地域間産業連関表などの多地域間産業連関表の分析手法、など、最近の産業連関分析の手法について理解を深め、分析や政策評価を行う力をつけることを目標とする。
基本科目	3 基本 学科 科目 共通	経済政策特殊講義 B	本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、日本及び世界の環境問題への取り組み、持続可能な開発目標 (SDGs)、高齢化の進展と課題、キャリア開発論、開発経済学の潮流と開発援助戦略の変遷、米国の経済政策、社会主義市場経済とベトナム経済、産業連関分析、データ分析入門などと多岐に渡り、使用言語を英語とする場合もある。 1・2年次生に向けた授業で秋学期の開講を予定している。学生が経済学を学ぶにあたって、経済学に関する興味関心を高めることを目的とし、3年次から始まる専門演習科目の選択や卒業論文のテーマ設定のきっかけとすることを目標とする。
基本科目	3 基本 学科 科目 共通	海外留学演習 I	この講座は、夏期・春期休暇を利用して実施される学部主催の短期留学プログラムである。短期留学に出発する前に、現地での開講科目の受講の仕方や、海外の学生とのコミュニケーションを取る上で必要となる知識を取得することを旨として事前講座を行う。政治・経済の専門分野では、通常の会話では用いない専門用語や言い回しが多いことから、あらかじめそうした用語をしっかりと身につけることによって、現地大学での受講開始にあたって好スタートをきれるような準備を進める。そして、2～4週間の留学プログラムを受講し、留学先での学びを、帰国後にフィードバックする。最後に、最終レポートを作成し、TOEIC受験を経て、自身の英語能力の向上を実感させる。
基本科目	3 基本 学科 科目 共通	海外留学演習 II	この講座は、夏期・春期休暇を利用して実施される学部主催の短期留学プログラムである。短期留学に出発する前に、現地での開講科目の受講の仕方や、海外の学生とのコミュニケーションを取る上で必要となる知識を取得することを旨として事前講座を行う。政治・経済の専門分野では、通常の会話では用いない専門用語や言い回しが多いことから、あらかじめそうした用語をしっかりと身につけることによって、現地大学での受講開始にあたって好スタートをきれるような準備を進める。そして、2～4週間の留学プログラムを受講し、留学先での学びを、帰国後にフィードバックする。最後に、最終レポートを作成し、TOEIC受験を経て、自身の英語能力の向上を実感させる。
基本科目	3 基本 学科 科目 共通	海外留学演習 III	この講座は、夏期・春期休暇を利用して実施される学部主催の短期留学プログラムである。短期留学に出発する前に、現地での開講科目の受講の仕方や、海外の学生とのコミュニケーションを取る上で必要となる知識を取得することを旨として事前講座を行う。政治・経済の専門分野では、通常の会話では用いない専門用語や言い回しが多いことから、あらかじめそうした用語をしっかりと身につけることによって、現地大学での受講開始にあたって好スタートをきれるような準備を進める。そして、2～4週間の留学プログラムを受講し、留学先での学びを、帰国後にフィードバックする。最後に、最終レポートを作成し、TOEIC受験を経て、自身の英語能力の向上を実感させる。
基本科目	3 基本 学科 科目 共通	海外留学演習 IV	この講座は、夏期・春期休暇を利用して実施される学部主催の短期留学プログラムである。短期留学に出発する前に、現地での開講科目の受講の仕方や、海外の学生とのコミュニケーションを取る上で必要となる知識を取得することを旨として事前講座を行う。政治・経済の専門分野では、通常の会話では用いない専門用語や言い回しが多いことから、あらかじめそうした用語をしっかりと身につけることによって、現地大学での受講開始にあたって好スタートをきれるような準備を進める。そして、2～4週間の留学プログラムを受講し、留学先での学びを、帰国後にフィードバックする。最後に、最終レポートを作成し、TOEIC受験を経て、自身の英語能力の向上を実感させる。
基本科目	3 基本 学科 科目 共通	留学基礎講座	この講座では、夏期・春期休暇を利用して実施される学部主催の短期留学の経験を活かし、英語でのコミュニケーション能力を一段と高めることを目的として開講されるものである。受講生には、留学を通じて学びを深めた専門科目や現地での経験に基づいて、英語でのプレゼンテーションをこなすような能力を身につけることに加え、質疑応答のような場面でも臆することなく英語で受け答えができるような水準にまで達することを旨としてコミュニケーション能力の向上に取り組むことが期待されている。
基本科目	3 基本 学科 科目 共通	留学準備講座	この講座では、夏期・春期休暇を利用して実施される学部主催の短期留学に先立って、英語での自己紹介や海外の学生との交流にあたってのコミュニケーション能力を高めることを目的として開講されるものである。受講生には、自らの名前や略歴といった基本的な事項を英語で紹介するのみならず、留学を通じて学びを深める専門科目についてプレゼンできるような能力を身につけることが期待されている。

基本科目	3 学科 共通	就業力育成総合講座		本講座は、将来のキャリアとして、勤務先企業で経営幹部・管理者を目指す学生、ベンチャー企業を自ら創業しようという思いを抱いている学生、あるいは経営者として既存企業の事業継承を予定（希望）している学生たちのキャリア形成を支援することを目的としている。グループでビジネスプランを策定し、クラス発表を行う。講座を通して、ビジネスキャリアに興味関心を持って、起業を自身のキャリアの選択肢のひとつとして捉え、将来に向けて成長しようとする皆さんを支援するための実践的な講座である。	
基本科目	3 学科 共通	留学認定科目 (基本科目・3学科共通)		当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の基本科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の基本科目として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。	
応用科目	3 学科 共通	日本・アジア文化論A		文学理論を学ぶ。物語の内容（ストーリー）はもちろんのこと、物語の構造に注目することで新たな読解の方法を身につける。感覚的に物語を読むのではなく、分析的に物語が読めるようになることを到達目標とする。以下の作品を読む予定である。志賀直哉「小僧の神様」、国木田独步「鎌倉夫人」、横光利一「蠅」、芥川龍之介「藪の中」。	
応用科目	3 学科 共通	日本・アジア文化論B		近世の中国社会を主に分析の対象としながら、いわゆる「中国的」なものとは何であるかについて、多角的に考察していきたい。（1）他の地域に対して、自らを「中国」と位置づける意識はどのように形成されてきたか。また、「中国人」とはどのような人たちのことか。（2）日本や朝鮮と比較した場合に、中国の近世社会とそのエリート像にはどのような特徴があったか。（3）日本と比較した場合に、中国の伝統社会が生み出した歴史観とその近代の変容にはどのような特徴があったか。これらの点について、順次とりあげていく。	
応用科目	3 学科 共通	日本・アジア文化論C		中国革命とは何であったのかにつき、主に、1920年代の第一次国共合作（そして破綻）から、1966年文化大革命勃発前までを扱う講義とする。中国革命がロシア・ボリシェヴィズムの強い影響下に進められたことに留意しつつ、中国共産党と中国国民党の20世紀史を、世界各地の植民地や半植民地の民族解放運動の歴史と関連づけながら論じる。	
応用科目	3 学科 共通	日本・アジア文化論D		西アジアはたいがい危険きわまりないニュース映像とヘッドラインで印象づけられており、私たちは国家や政治的アクターの動きを追いかけるだけで精いっぱいになりがち。そこでこの授業では、過酷な社会の現実と日常生活を描いた渾身の映画やドキュメンタリーとその解説から、一般市民の住む場所としての西アジアをイメージする力を養うことを目標とする。	
応用科目	3 学科 共通	日本・アジア地域論A		演劇を通じて、日本の文化に触れることを目標にする。パフォーマンス理論を学び、演劇的であることの理解を深める。そのうち、日本の伝統芸能である能、歌舞伎を映像で鑑賞する。また、海外のミュージカル作品の日本国内における展開、宝塚歌劇団、劇団四季、オペラ演出の概要に触れる。さらに日本の現代演劇作家である井上ひさしを学習する。これらの授業を通じて、日本の現代演劇における中心的な作家、代表的な劇団の代表作を知り、世界の演劇シーンにおける日本の位置づけを知る。	
応用科目	3 学科 共通	日本・アジア地域論B		明治時代以降の日本人は、中国をどのように見てきたのか。中国を見るまなざしは、この150年ほどの間にどのように変化し、現在に至っているのか。福沢諭吉から近年に至るまでの代表的な論者の中国観を順次とりあげながら、これらの問題を時系列に即して考察していく。その際に、同時代の中国における日本観も随時参照することで、当時の日中関係の状況を多面的に検討することも目ざしたい。	
応用科目	3 学科 共通	日本・アジア地域論C		授業形態として、三四年生に向けて、映像資料を見せながら、また適宜、紙で用意した資料を提示しつつ、講義を行う。この授業の獲得目標としては、ビジュアルの効果を通じて、また当時において書かれた文字のテキストを活用して、日本とアジアの間に生じた歴史上の現象について深く把握してもらうことである。授業計画の概要については、映画のあるシーンを見せて、その映像が如何なる意味を持つのかを解説して行く。一本の映像資料を観終わった後で、コメントペーパーを書いてもらい、そのコメントに対してまたこちらからコメントし、学生の理解を補っていくというやり方を実施する。	
応用科目	3 学科 共通	日本・アジア地域論D		この授業は、西アジア諸地域の近代史をひもときながら、現在当面しているさまざまな問題の由来や来歴を明らかにし、グローバルな力がどのように組み合わせたり、作用し、紛争や不安定な政治状況などをもたらしているのかについて考察する機会を提供する。「テロ、戦争？こわ〜い」といった漠然とした印象論をこえて、より解像度の高いイメージを持つ能力を身につけることが期待される。	
応用科目	3 学科 共通	ヨーロッパ文化論A		本講義では、映画作品を利用しながら、イギリス文学を「楽しむ」ことを目的とする。ある文化圏の文化を理解する手がかりとして、一番適しているのはその地域の文学を覗いてみるに限る。文学には、その地域の人間の行為が一挙手一投足まで描写されているからである。とは言っても、短時間で外国の文学を読むのは大変な作業ではある。そこで、本講義では、映画化されているイギリスの文学作品を中心に扱っていきたい。もちろん、原作を読むのが一番だが、とっかかりとして映画を使ってイギリス文学の世界に参入するということ。	

応用科目	3 学科 共通 関係 科目	ヨーロッパ文化論B		本講義では、現代のドイツ、あるいは過去にドイツで起こったさまざまな政治的・社会的・文化的事象の中でもすぐれて現代的なテーマやトピックに焦点を当てて授業を行う。近年は、「健康と病気」、「公衆衛生と人権」、「医学と薬害」といったテーマに焦点を当てている。また、同じ問題圏に属する日本の事例にも目を向ける。過去の歴史が単なる昔の話ではなく、現在の世相はおろか、現代を生きるわれわれ自身の振舞いにも繋がっていることを認識してもらうことが目標である。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	ヨーロッパ文化論C		本講義では、主に、フランスとフランス語圏の「文化」を扱う。文化の射程はきわめて広く、文学・芸術、衣食住から、ある社会集団の価値観や規範、振る舞い、宗教・精神にまで至る。19世紀以降の近代社会においてはこうした文化は深く、政治に結びついて形成され、変容してきた。本講義では主に、人びとの生・モラル、さらには社会の構造に深く関わっていた教育問題をテーマにフランスの「文化」の諸相を歴史的に考察する。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	ヨーロッパ文化論D		ヨーロッパの芸術・知の源泉であるギリシア神話とそれをモチーフにして創られた様々な芸術作品（絵画・彫刻・文学・演劇・映画など）との関連性と、キリスト教の様々なエピソードと芸術作品や祝祭との関連性を探求します。モチーフの変遷を考察しながら、時代による心性の変化も見ることができるといえます。対象となるのはスペイン人によって創出された芸術作品ですが、必要な場合はスペイン以外のヨーロッパ人の作品も扱っていきます。多くの作品が、普遍的な眼差しから創造されてきたこと、そしていかに女性や弱者が客体化され、それをいかに私たちが「美」として当然のように認識してきたのかを知るとともに、脱構築できるような眼力や身につけることをめざします。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	ヨーロッパ地域論A		本講義では、主としてヨーロッパ文化の中のイギリス地域の文化を扱う。イギリスの文化は、古代ケルト文化、古代ローマ文化、キリスト教、古代北欧の文化などが重層的に折り重なるように成立したわけだが、そのことを理解した上で、なにかんなく、言語（文学）と映像（映画・美術）という媒体の相互関係に着眼することによって、イギリス地域の歴史や文化の解明を目指す。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	ヨーロッパ地域論B		本講義では、ドイツ語圏地域（ドイツ、オーストリア、東部スイス、リヒテンシュタイン侯国、北イタリアのチロル地方等を含む）の生活や文化、歴史を多面的に扱う。一言でドイツ（語圏）と言っても、宗教的には南部はカトリック、北部はプロテスタントに大まかに分かれ、また東はポーランドとチェコ、ハンガリー、南はイタリア、西はフランスに接し歴史的にも生活スタイルはそれぞれの国や民族の影響を強く受けている。現在EUの枠内における各地域や都市の特色を生活や文化、政策面も含めて比較考察する。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	ヨーロッパ地域論C		本講義では、フランスとフランス語圏という地域を考察の枠組みとして設定する。フランスは現在、国民の4人に1人が外国にルーツをもつ「移民大国」として知られる。しかしそもそも移民や外国人の定義は、「フランス国民」の概念が形成され、広く共有されるようになる19世紀以降に議論され、練られていったものである。本講義では、フランスの国民国家の形成・変容の歴史を考察する。それを通じて、国民、ナショナリズムとは何かを考え、植民地支配の歴史にも目を向ける。フランスという地域に固有の思想や文化はあるのだろうか。あるとしたらその特徴は何か。人間の分類や区別が生み出す差別の問題も扱いながら、日本社会を問いなおすことも試みたい。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	ヨーロッパ地域論D		サラフ主義の思想的展開の概要を把握することを目的とする。サラフ主義はムスリム地域の反植民地運動の一種であるイスラム復興を起源とするが、20世紀に保守化し、イスラムの至上性を主張する思想に変化した。授業では、伝統的イスラムとサラフ主義の違い、アフガニー、アブドゥ、リダー、パンナー、クトブ、フアラグ、アッザーームの思想の特徴とその連続性を順に説明する。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	アメリカ文化論A		北米の歴史は、旧石器時代のネイティブアメリカンの移住から始まって、現在もお、「移民の時代」だと言える。本講義では、この数万年にわたる移民の歴史を、大きく「アメリカ文化」と捉えることから始めたい。氷河期にアジアからベーリング海峡をつたって渡ってきた人々が、如何にして南米の最南端に辿り着くに至ったか。また、大航海時代からヨーロッパ人が如何に植民地化して、現在のアメリカを形成するに至ったか。これが主要なテーマとなる。ふんだんな映像資料を利用して講義を展開していくことになる。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	アメリカ文化論C		本授業は、1890年代から今日までの日米関係を、人種という観点から講義します。コロナ禍に入って、アメリカではアジア人をターゲットにした暴力事件が多発していますが、これはコロナ禍に限ったものではなく19世紀後半からの100年以上の歴史に根差したものです。そのような視点から、この授業では日米関係を見ていきます。19世紀末にサンフランシスコで伝染病が発生すると、証拠がないままチャイナタウンが発生源とされ、隔離されました。第二次世界大戦中は、日系人が日系人であるという理由だけで、強制収容されました。この授業では、日米関係がいかに人種によって支配されてきたのかを、「黄禍論」というキーワードから読み解いていきます。	

応用科目	3 学科 共通 関係 科目	アメリカ文化論D		本授業では、アメリカ合衆国の広大で、多彩な地理空間を縦る作業を通じて、同国の社会に内在する人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティによる差別や格差の構造、これに抗い、社会正義を追求するさまざまな営みについて学ぶ。具体的なテーマとしては、セトラー・コロニアリズム、人種隔離、強制収容、国立公園、人新世、現代都市を取り上げる。授業担当者が各地を歩き撮影した写真資料、ドキュメンタリー、映画などのメディアを使いながら、アメリカという複雑、かつダイナミックな大国の諸相を、空間的にとらえ、考える視点を提起する。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	アメリカ地域論A		この授業は、アメリカ合衆国という地域に焦点を当て、その歴史と現在について論じるものである。特に、現代アメリカの人種問題についての歴史的理解を深めるためのテーマとして、主に奴隷制を取り上げ、経済やジェンダー、政治との関わりといった多角的な視点から論じていくと同時に、現代の労働と自由をめぐる諸問題への視点を歴史的視座から広げていくことを目標としている。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	アメリカ地域論C		北米の歴史は、旧石器時代のネイティブアメリカンの移住から始まって、現在もなお、「移民の時代」だと言える。本講義では、この数万年にわたる移民の歴史を、大きく「アメリカ文化」と捉えることから始めたい。 氷河期にアジアからベーリング海峡をつたって渡ってきた人々が、如何にして南米の最南端に辿り着くに至ったか。また、大航海時代からヨーロッパ人が如何に植民地化して、現在のアメリカを形成するに至ったか。これが主要なテーマとなる。ふんだんな映像資料を利用しながら講義を展開していくことになろう。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	アメリカ地域論D		この授業では、憎悪をキーワードにアメリカ合衆国の社会と文化について学ぶ。同国は、先住民にたいする侵略と虐殺、アフリカから強制的に連行され、奴隷化された黒人による労働力の搾取を基盤に発展してきた。したがって、国家の成立の根本に、制度的、構造的な暴力が内在し、そこには人種差別のイデオロギーが深く浸透していた。これは、階級、ジェンダー、セクシュアリティによる差別思想とも相関関係にあり、アメリカの文化と風景の素地を形成している。「対立」、さらには「分断」という言葉が飛び交う、アメリカ社会の政治・文化・社会地理について、「憎悪」をキーワードに、具体的な事象を参照しながら考えてみたい。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	連環地域文化論A		本科目は、「北極海の資源開発」「南極の氷が融解」「シェール革命の衝撃」「消えたグリーンニューディールとグリーンリカバリー」「スマートグリッド～再生可能エネルギーの現在と近未来～」「エネルギーの自立～ドイツとオーストリア～」「ドイツ再生可能エネルギー法の革新性」「ドイツ環境政策の光と影」「化石賞～日本のエネルギー政策～」「核廃棄物～技術が解決すると言いつつ60年～」「誰が保障するのか?～10万の安全性～」「原子力バックエンド～原子力は安くはない～」「環境先進都市ボートランドの魅力と限界」等の問題を取り上げ、世界各国の環境政策の動向を、多くの映像資料を通して検証しながら、日本と世界のこれからのあるべき環境政策の方向性を提示することを目的とするものである。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	連環地域文化論B		ジハード主義の世界的展開の概要を把握することを目的とする。ジハード主義は20世紀末にサラフ主義から派生したもので、アッザームのジハード論を主な根拠とするものである。授業では、アフガン戦争を通じたジハード主義の拡散、ボスニア内戦、9・11事件、ISの登場までを時系列的に概観した後、西アフリカ、中央アジア、東南アジアのイスラム主義がジハード主義に融合していく過程を説明する。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	連環地域文化論C		今日の統計(学)は、個人的な意思決定から政策判断、そして自然界の理解に至るまで、われわれが行うあらゆる認識に正当化を与える役目を担っている。統計的な根拠づけは、現代の諸科学において一種の特権的な地位を有しているとさえ言える。だがもちろん、統計という手法は古代から変わらず存在し続けてきたのではなく、歴史的に徐々に形成されたものであり、また大きく変化してきたものでもある。統計の歴史を追跡することは、われわれの統計に関する理解を豊かにしてくれるだろう。 受講生には、当時のテキストに触れてもらいながら、統計という考え方がどのように形成されたか、それが生物学や物理学とどのように関わり、自然観を変えてきたのかを検討することを通じて、科学的概念や科学理論の歴史的形成にかかわるさまざまな視点に習熟することが期待される。また、科学史研究にかかわるさまざまなツールも紹介する。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	連環地域文化論D		本講義ではアフリカについて学ぶ。講義の主な素材となるのは、担当者がニジェール共和国の一村で実施した、文化人類学的なフィールドワークにもとづく情報である。こうしたミクロな情報を、21世紀転換期の世界情勢と連関させて論じることにより、自分たちとは一見無縁にも感じられるアフリカを同時代の同一地平で考え抜く視座を養う。 アフリカは、わたしたちが暮らす地域から遠く離れている。そこではわたしたちの「当たり前」がかならずしも通用しない。本講義では、たんにアフリカに関する知識を深めるだけでなく、自らと遠く隔たっている(ように思われる)地域を理解することにより、自らの「当たり前」を再考する柔軟な思考力の養成を目指す。	
応用科目	3 学科 共通 関係 科目	身体文化論		この講義では和泉キャンパス開講の「ジェンダー論」では取り上げられなかった“身体”とジェンダー、セクシュアリティとの関係について焦点を当てる。現代の私たちの身体が単に生物的・物質的な存在であるだけではなく、文化や社会の中でどのように構築されているのかについてジェンダーやセクシュアリティとの関わりから検討し、さらには特に女性の身体に着目しながらそれに関わる政治性・経済性について理解することを目標とする。	

応用科目	3 学科共通 関係科目	スポーツ文化論		我々にとって、「身体」「からだ」の存在は、人間である以上普遍的なテーマとなりえます。古代ギリシャから現代に至るまで、哲学をはじめ様々な分野でこれらが探求され続けています。この授業では、人間の生身の「身体」を表現する文化複合体として「スポーツ」に注目します。FIFA W杯、オリンピック、パラリンピックなどメガスポートイベントは、もはや国際政治・経済の分野においても無視することはできません。「スポーツ」は、我々にとってもはや必要不可欠な存在ともいえます。文化論的学問対象として「スポーツ」に接近することにより、何気なく行ってきた、見てきた「スポーツ」を歴史学的、文化人類学的手法で解釈していきます。本授業では、文化人類学的視点と歴史学的視点でスポーツに関連する様々な事象に接近します。様々な事象に対する歴史的視野を広げることができます。	
応用科目	3 学科共通 関係科目	表象文化論		本講義では、主として日本映画に描かれた歴史や文化や生活について考察することを旨とする。20世紀半ばの第二次大戦後に形成された日本の「家族」を、複数の優れた映画作品を通じて考えることとする。家族は、人間関係の「揺籃」にして「原型」である。その中で人間は基本的生き方を学んでいくわけだが、家族はそのメンバーたちが協力して築いていこうとしなければいつだって簡単に崩壊する。もちろん、家族が崩壊するのは、内的な要因だけではない。天災や疫病や戦争や経済不況なども、家族を脅かすことがある。今期は特に、「戦争」という要因についても、度々、言及することになる。当時の風習や世相も細かく観察しながら、家族や時代の変遷変化を追いかけていく。	
応用科目	3 学科共通 関係科目	留学認定科目 (応用科目・3 学科共通)		当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の応用科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の応用科目として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。	
応用科目	専門演習科目	専門演習（卒業論文）Ⅰ A		本学はゼミナール（専門演習）指導型コース制を採用しており、3・4年生のおよそ8割が専門演習に所属し、指導教員からの指導により体系的な学びを進めることができる。専門演習ⅠA（3年次春学期）では少人数での研究発表や討論を通じて、論理構成力やコミュニケーション能力を養い、後々の卒業論文作成のための力を養うことを目標とする。また、担当教員によってはゼミ合宿等で現地に赴き、PBLを実践する。	
応用科目	専門演習科目	専門演習（卒業論文）Ⅱ A		本学はゼミナール（専門演習）指導型コース制を採用しており、3・4年生のおよそ8割が専門演習に所属し、指導教員からの指導により体系的な学びを進めることができる。専門演習ⅡB（3年次秋学期）では「ゼミナール発表会」や「政経セミナー」などの共同論文執筆を通じて、後々の卒業論文作成のための力を養うことを目標とする。	
応用科目	専門演習科目	専門演習（卒業論文）Ⅲ		本学はゼミナール（専門演習）指導型コース制を採用しており、3・4年生のおよそ8割が専門演習に所属し、指導教員からの指導により体系的な学びを進めることができる。専門演習Ⅲ（4年次春学期）では具体的に各自が研究テーマを定め、卒業論文執筆に向けて資料読解力、分析ツールの習得、論理構成力を高めてゆくことを目標としている。	
応用科目	専門演習科目	専門演習（卒業論文）Ⅳ		本学はゼミナール（専門演習）指導型コース制を採用しており、3・4年生のおよそ8割が専門演習に所属し、指導教員からの指導により体系的な学びを進めることができる。専門演習Ⅳ（4年次秋学期）では具体的に各自が研究テーマを定め、卒業論文完成を目指す。なお、指導教員によっては、さまざまな発表の機会を用意しており、そこの批評を通じて論文の完成度を高めることになる。	
応用科目	専門研究科目	専門研究Ⅰ		本学はゼミナール（専門演習）指導型コース制を採用しているが、およそ2割の学生は専門演習に所属していない。そうした学生は学科ごとにコース制を選択し、応用科目を履修しなければならないことになっている。専門研究Ⅰ（3年次春学期）は専門演習に所属しないコース制の学生を対象とし、各学科で応用科目群を学ぶ上で必要な外国語文献の読解力や卒業後に必要となるプレゼンテーション能力を中心に養う。専門研究Ⅰ及び後述のⅡは、コース制の学生の必修科目となっている。	
応用科目	専門研究科目	専門研究Ⅱ		本学はゼミナール（専門演習）指導型コース制を採用しているが、およそ2割の学生は専門演習に所属していない。そうした学生は学科ごとにコース制を選択し、応用科目を履修しなければならないことになっている。専門研究Ⅱ（3年次秋学期）は専門演習に所属しないコース制の学生を対象とし、専門研究Ⅰに引き続き、各学科で応用科目群を学ぶ上で必要な外国語文献の読解力や卒業後に必要となるプレゼンテーション能力をさらに高めることを目標としている。	
応用科目	専門研究科目	専門研究Ⅲ		ゼミナール（専門演習）に所属していないコース制の学生は、専門研究ⅠおよびⅡを履修し、外国語文献の読解力及びプレゼンテーション能力等を学ぶことになるが、さらに大学院進学や専門職等に就職したい学生向けに、専門研究Ⅰ及びⅡの履修を前提に、専門研究Ⅲ（4年次春学期）及び専門研究Ⅳ（4年次秋学期）を履修することが可能になっている。	

応用科目	専門研究科目	専門研究Ⅳ		ゼミナール（専門演習）に所属していないコース制の学生は、専門研究ⅠおよびⅡを履修し、外国語文献の読解力及びプレゼンテーション能力等を学ぶことになるが、さらに大学院進学や専門職等に就職したい学生向けに、専門研究Ⅰ及びⅡの履修を前提に、専門研究Ⅲ（4年次春学期）及び専門研究Ⅳ（4年次秋学期）を履修することが可能になっている。	
応用科目	専門研究科目	専門演習（卒業論文）ⅠB		本学部はゼミナール（専門演習）指導型コース制を採用しており、3・4年生のおよそ8割が専門演習に所属し、指導教員からの指導により体系的な学びを進めることができる。専門演習ⅠB（3年次春学期）では各指導教員の指導により、卒業論文執筆のための力を養うことを目標としている。指導教員により、文献読解力を高めるために、外国語文献を用いる場合や、さまざまな分析ツールを利用するための能力を高める場合がある。	
応用科目	専門研究科目	専門演習（卒業論文）ⅡB		本学部はゼミナール（専門演習）指導型コース制を採用しており、3・4年生のおよそ8割が専門演習に所属し、指導教員からの指導により体系的な学びを進めることができる。専門演習ⅡB（3年次秋学期）では、専門演習ⅠBに引き続き、外国語文献等の文献読解力をさらに高めるとともに、さまざまな分析ツールの応用力やプレゼンテーション能力を高めることを目的としている。	
応用科目	総合講座科目	応用総合講座A		本講義では、政治学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てながら、複数の専門家によるオムニバス形式の授業を提供する。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、ジェンダー・セクシャリティに関連する様々な社会科学的話題である。 1-4 【85 碓陽子】 ジェンダーについてのイントロダクション、問い直される家族、新しい家族の形、ケアと労働の歴史 5-9 【58 水戸部由枝】 ドイツにおけるジェンダー、ナチズムとジェンダー、戦後社会運動とジェンダー 10-14 【26 重田園江】 フランスにおけるジェンダー、中絶合法化運動、女性の権利と憲法問題、#MeToo運動、総括	オムニバス方式
応用科目	総合講座科目	応用総合講座B		本講義では、政治学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てながら、複数の専門家によるオムニバス形式の授業を提供する。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、女性と政治社会に関連する様々な社会科学的話題である。 1-5 【85 碓陽子】 イントロダクション、社会学とフェミニズム、人類学における女性、母権社会について、女性による人類学 6-9 【58 水戸部由枝】 歴史学とフェミニズム、女性史という試み、社会史と女性史、ナチ政権における女性の役割 10-14 【26 重田園江】 政治学とフェミニズム、政治思想における女性、女性による社会思想史、家政学と経済学、総括	オムニバス方式
応用科目	総合講座科目	応用総合講座C		本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てながら、複数の専門家や実務家によるオムニバス形式の授業を提供する。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、ビジネスと市場リスク、エコシステム産業、事業承継、「いい会社」に学ぶ経営、日本経済論などであり、使用言語を英語とする場合もある。 本講義は応用科目として3・4年次生に向けた授業である。学生が複数の専門家や実務家の多様な意見や経験に触れ、経済学に関する興味関心を高めることを目的とし、専門演習科目の補足、卒業論文のテーマ設定や同論文執筆の補助、さらには実社会における実践的知識に触れることを目標とする。 「ビジネスと市場リスク」 1-7 【175 中島満大】 イントロダクション、市場リスクの定義、価格変動のメカニズム、企業・個人・金融機関における市場価格変動の影響、ヘッジとスペキュレーション 8-14 【155 高橋聡】 金融商品取引・コモディティ商品取引と市場、市場リスクマネジメント、投資教育と金融リテラシー、総括	オムニバス方式

応用科目	総合講座科目	応用総合講座D	<p>本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てながら、複数の専門家や実務家によるオムニバス形式の授業を提供する。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、ビジネスと市場リスク、エコシステム産業、事業承継、「いい会社」に学ぶ経営、日本経済論などであり、使用言語を英語とする場合もある。</p> <p>本講義は応用科目として3・4年次生に向けた授業である。学生が複数の専門家や実務家の多様な意見や経験に触れ、経済学に関する興味関心を高めることを目的とし、専門演習科目の補足、卒業論文のテーマ設定や同論文執筆の補助、さらには実社会における実践的知識に触れることを目標とする。</p> <p>「ビジネスと市場リスク」 1-7 【175 中島満大】 イントロダクション、市場リスクの定義、価格変動のメカニズム、企業・個人・金融機関における市場価格変動の影響、ヘッジとスペキュレーション 8-14 【155 高橋聡】 金融商品取引・コモディティ商品取引と市場、市場リスクマネジメント、投資教育と金融リテラシー、総括</p>	オムニバス方式
応用科目	総合講座科目	応用総合講座E	<p>本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てながら、複数の専門家や実務家によるオムニバス形式の授業を提供する。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、ビジネスと市場リスク、エコシステム産業、事業承継、「いい会社」に学ぶ経営、日本経済論などであり、使用言語を英語とする場合もある。</p> <p>本講義は応用科目として3・4年次生に向けた授業である。学生が複数の専門家や実務家の多様な意見や経験に触れ、経済学に関する興味関心を高めることを目的とし、専門演習科目の補足、卒業論文のテーマ設定や同論文執筆の補助、さらには実社会における実践的知識に触れることを目標とする。</p> <p>「日本経済を知る：多面的分析」 1-7 【175 中島満大】 イントロダクション、ポストバブル期の日本経済、財政面・金融面から見る日本経済 8-14 【155 高橋聡】 人口減少と日本経済、貿易と日本経済、外国人労働者と日本経済、総括</p>	オムニバス方式
応用科目	総合講座科目	応用総合講座F	<p>本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てながら、複数の専門家や実務家によるオムニバス形式の授業を提供する。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、ビジネスと市場リスク、エコシステム産業、事業承継、「いい会社」に学ぶ経営、日本経済論などであり、使用言語を英語とする場合もある。</p> <p>本講義は応用科目として3・4年次生に向けた授業である。学生が複数の専門家や実務家の多様な意見や経験に触れ、経済学に関する興味関心を高めることを目的とし、専門演習科目の補足、卒業論文のテーマ設定や同論文執筆の補助、さらには実社会における実践的知識に触れることを目標とする。</p> <p>「日本経済を知る：多面的分析」 1-7 【175 中島満大】 イントロダクション、ポストバブル期の日本経済、財政面・金融面から見る日本経済 8-14 【155 高橋聡】 人口減少と日本経済、貿易と日本経済、外国人労働者と日本経済、総括</p>	オムニバス方式
応用科目	総合講座科目	応用総合講座G	<p>この講座では、自治体の首長や幹部職員を招聘し、自治体が置かれている現状や課題について、オムニバス形式で講義を行う。自治体の首長は、行政のトップとしての役割を果たす一方で、住民の政治的リーダーとしての顔をもつ。行政経営の担い手として、また、行政経営のリーダーとしてさまざまな困難に立ち向かっていかなければならない。本講座では、自治体トップの講義を通じて、自治体の政策や組織を学ぶことを目的とする。</p> <p>1-7回 【3 牛山久仁彦】 イントロダクション、2-3 自治体政治の構造と選挙、4-5 自治体行政の組織と制度しくみと政策、6 政策争点と政治構造、7 政策と自治体首長のリーダーシップ 8-14回 【25 小野島真】 8 自治体政治と財政、9-10 自治体財政のしくみと財政調整、11 中央・地方関係と自治体首長、12 ふるさと納税と自治体首長、13 政策と財政、14 全体のまとめ</p>	オムニバス方式
応用科目	特殊講義科目	政治学特殊講義C	<p>本講義では、政治学科で開講している科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマトピックは、history of US-Japan relations, history from the first point of contact between Europe and Asia (英語開講) などである。</p> <p>3・4年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が1・2年次の学びをもとに、さらに専門的なテーマで学習するための講義である。また、専門演習科目との関連づけや卒業論文のテーマに沿った科目提供の一助とし、専門演習と連携して研究を深めることを目標とする。</p>	

応用科目	特殊講義科目	政治学特殊講義D	本講義では、政治学科で開講している科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマトピックは、政治における独裁、history of relations between Japan and China(英語開講)などである。 3・4年次生に向けた授業で秋学期の開講を予定している。学生が1・2年次の学びをもとに、さらに専門的なテーマで学習するための講義である。また、専門演習科目との関連づけや卒業論文のテーマに沿った科目提供の一助とし、専門演習と連携して研究を深めることを目標とする。
応用科目	特殊講義科目	政治学特殊講義E	本講義では、政治学科で開講している科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマトピックは、Translation and Conceptual Change in the Early Meiji Period, South Asian Politics (英語開講) などである。 3・4年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が1・2年次の学びをもとに、さらに専門的なテーマで学習するための講義である。また、専門演習科目との関連づけや卒業論文のテーマに沿った科目提供の一助とし、専門演習と連携して研究を深めることを目標とする。
応用科目	特殊講義科目	政治学特殊講義F	本講義では、政治学科で開講している科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマトピックは、Encounters between Europe and East Asia in the History of Political Thought (英語開講) などである。 3・4年次生に向けた授業で秋学期の開講を予定している。学生が1・2年次の学びをもとに、さらに専門的なテーマで学習するための講義である。また、専門演習科目との関連づけや卒業論文のテーマに沿った科目提供の一助とし、専門演習と連携して研究を深めることを目標とする。
応用科目	特殊講義科目	社会学特殊講義C	本講義では、政治学科で開講している社会学系科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。 3・4年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が1・2年次の学びをもとに、さらに専門的なテーマで学習するための講義である。また、専門演習科目との関連づけや卒業論文のテーマに沿った科目提供の一助とし、専門演習と連携して研究を深めることを目標とする。
応用科目	特殊講義科目	社会学特殊講義D	本講義では、政治学科で開講している社会学系科目から、さらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。 3・4年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が1・2年次の学びをもとに、さらに専門的なテーマで学習するための講義である。また、専門演習科目との関連づけや卒業論文のテーマに沿った科目提供の一助とし、専門演習と連携して研究を深めることを目標とする。
応用科目	特殊講義科目	経済学特殊講義C	本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、人口動態、産業連関分析、データ分析入門、経済学史、経済思想史、日本の財政、地域産業、地球環境問題、ケインズ経済学、国際貿易と資本移動、米国経済、欧州経済、中国経済、東南アジア経済などと多岐に渡り、使用言語を英語とする場合もある。 3・4年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が経済学に関する自らの興味関心を深めることを目的とし、専門演習科目の補足、卒業論文のテーマ設定や同論文執筆の補助とすることを目標とする。
応用科目	特殊講義科目	経済学特殊講義D	アメリカで19世紀末前後からソースタイン・ヴェブレンやジョン・R. コモンズらにより形成された旧制度派経済学は、戦後、K.W. カップにより独自の環境経済学の中に摂取された。また、それは現代ではスウェーデンのP. セーデルバウム、アメリカのD. プロムリーらのエコロジー経済学に継承され、発展した。我が国では都留重人および彼の研究グループに継承されている。この講義では、以上の理論的な発展過程を跡づけ、現代における制度派経済学の到達点とその環境経済学バージョンの特徴を考察するとともに、現代制度主義経済学を提唱するジェフリー・ホジソンの近年の研究を検討する。
応用科目	特殊講義科目	経済政策特殊講義C	本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、日本及び世界の環境問題への取り組み、持続可能な開発目標 (SDGs)、高齢化の進展と課題、キャリア開発論、開発経済学の潮流と開発援助戦略の変遷、米国の経済政策、社会主義市場経済とベトナム経済、産業連関分析、データ分析入門などと多岐に渡り、使用言語を英語とする場合もある。 3・4年次生に向けた授業で春学期の開講を予定している。学生が経済学に関する自らの興味関心を深めることを目的とし、専門演習科目の補足、卒業論文のテーマ設定や同論文執筆の補助とすることを目標とする。

応用科目	特殊講義科目	経済政策特殊講義D	<p>本講義では、経済学科で開講している科目からさらに深く掘り下げたテーマ、あるいは学際的なトピックに焦点を当てて授業を行う。近年、本講義において取り上げたテーマ・トピックは、日本及び世界の環境問題への取り組み、持続可能な開発目標 (SDGs)、高齢化の進展と課題、キャリア開発論、開発経済学の潮流と開発援助戦略の変遷、米国の経済政策、社会主義市場経済とベトナム経済、産業連関分析、データ分析入門などと多岐に渡り、使用言語を英語とする場合もある。</p> <p>3・4年次生に向けた授業で秋学期の開講を予定している。学生が経済学に関する自らの興味関心を深めることを目的とし、専門演習科目の補足、卒業論文のテーマ設定や同論文執筆の補助とすることを目標とする。</p>
応用科目	特殊講義科目	国際文化特殊講義E	<p>(英文) This course examines films, TV programs, YouTube videos, visual art, and theory on the concept of "haunting" in Japan. Topics covered include the depiction of Aokigahara (the "suicide forest") in contemporary media, Japanese horror YouTube channels, the movie Dark Water, and the idea of "home" in ghost stories and Japanese horror films. Class activities will include discussions of films and readings, viewings of short videos, lectures, group presentations, and small group discussions. The final exam will ask students to either write a short essay, write a creative piece, or create an original artwork. The class is conducted entirely in English.</p> <p>(和訳) この授業は、テレビ番組、映画、読み物、YouTube動画で、「haunting」という概念を検討します。テーマは青木ヶ原の描写(映画)、日本のホラーエンターテインメントYouTube、「仄暗い水の底から」(映画)、と恐怖映画の「home」という概念。授業活動は毎週の読み物・動画・映画のディスカッション、短い講義、と個人プレゼン。定期試験はみつのオプションがあります: 論文を書く、短い漫画を描く、また短編を書く。定期試験は授業中試験です(春学期の最後の日に開催します)。授業は100%英語で開催します。</p>
応用科目	特殊講義科目	国際文化特殊講義F	<p>(英文) This course offers an in-depth exploration of the evolution of video games, tracing their development from early rudimentary forms to their current prominence in contemporary culture. Through interactive play, critical analysis, and rigorous discussion, students will enhance their game literacy, advance their academic English proficiency, and critically examine the social, cultural, and economic ramifications of video games.</p> <p>* Enhance students' game literacy to enable proficient play, comprehension, and discussion of various game genres. * Improve academic English skills through the close reading and critical discussion of scholarly texts related to the history of gaming. * Understand the social, cultural, and economic impact of video games in modern society.</p> <p>(和訳) このコースでは、ビデオゲームの進化を徹底的に探求し、初期の初歩的な形態から現代文化における現在の隆盛に至るまでの発展をたどります。インタラクティブなプレイ、批判的分析、厳密なディスカッションを通して、学生はゲームリテラシーを高め、アカデミックな英語力を向上させ、ビデオゲームの社会的、文化的、経済的影響を批判的に検討する。</p> <p>* 様々なジャンルのゲームを十分にプレイし、理解し、議論できるよう、ゲームリテラシーを高める。 * ゲームの歴史に関連する学術的な文章を精読し、批判的に議論することで、アカデミックな英語力を向上させる。 * 現代社会におけるビデオゲームの社会的、文化的、経済的影響を理解する。</p>
応用科目	特殊講義科目	Top School Seminar (International Cultures) C	<p>この講座(春学期・駿河台キャンパス開講)では、学部教員が研究活動等を通じて交流のある海外大学の教員を迎え、それぞれの専門分野において英語を用いた授業を受講する機会を設けることを目的として開講するものである。この講義を受講することによって、留学を予定している学生は海外の大学で実際に開講されている講義を留学前に体験することができるほか、留学中に学びを深める専門分野への基礎固めを行うことが期待されている。</p>
応用科目	特殊講義科目	Top School Seminar (International Cultures) D	<p>この講座(秋学期・駿河台キャンパス開講)では、学部教員が研究活動等を通じて交流のある海外大学の教員を迎え、それぞれの専門分野において英語を用いた授業を受講する機会を設けることを目的として開講するものである。この講義を受講することによって、留学を予定している学生は海外の大学で実際に開講されている講義を留学前に体験することができるほか、留学中に学びを深める専門分野への基礎固めを行うことが期待されている。</p>
応用科目	特殊講義科目	Top School Seminar (International Cultures) E	<p>この講座(春学期・駿河台キャンパス開講)では、学部教員が研究活動等を通じて交流のある海外大学の教員を迎え、それぞれの専門分野において英語を用いた授業を受講する機会を設けることを目的として開講するものである。この講義を受講することによって、留学を予定している学生は海外の大学で実際に開講されている講義を留学前に体験することができるほか、留学中に学びを深める専門分野への基礎固めを行うことが期待されている。</p>

応用科目	特殊講義科目	Top School Seminar (International Cultures) F		この講座（秋学期・駿河台キャンパス開講）では、学部教員が研究活動等を通じて交流のある海外大学の教員を迎え、それぞれの専門分野において英語を用いた授業を受講する機会を設けることを目的として開講するものである。この講義を受講することによって、留学を予定している学生は海外の大学で実際に開講されている講義を留学前に体験することができるほか、留学中に学びを深める専門分野への基礎固めを行うことが期待されている。	
応用科目	特殊講義科目	留学認定科目 (応用科目・特殊講義)		当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の応用科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の応用科目として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。	
	実習科目	社会実習		本学部が認定する機関で、ボランティア制度を利用し、在学中にボランティア体験を行う。公共部門、民間部門、NPO などのボランティア活動に参加することによって、視野を広め、社会人になった後も積極的に社会貢献活動に参加してもらいたい。単位認定の基準として、一定期間の実習の修了を認定機関に承認してもらい、体験レポートの提出を義務づけ、担当教員が合否判定を行う。なお、自身が実習受け入れ機関を選定した場合、当該機関の適切性を担当教員が、情報収集の上、認定機関と見なすことがある。	
応用科目	情報科目	ICT統計解析入門		統計的データ分析を行うために必要な統計解析の基礎的な知識・手法を学習します。また、表計算ソフト(Excel)や統計処理ソフト(SPSSなど)を活用し、実践的な演習を豊富に行いながら、データ分析および統計解析の基礎的な知識・手法を習得します。 (1) 統計解析の概要、手法について (2) 表計算ソフトの使い方 (3) 統計ソフトの使い方 (4) 基礎的な統計分析の演習	
応用科目	情報科目	ICT統計解析応用		統計的データ分析を行うために必要な統計解析の基礎的な知識・手法を学習します。また、表計算ソフト(Excel)や統計処理ソフト(SPSSなど)を活用し、実践的な演習を豊富に行いながら、データ分析および統計解析の基礎的な知識・手法を習得します。 (1) 統計解析の手法について (2) 表計算ソフトを用いたデータ分析演習 (3) 統計ソフトを用いたデータ分析演習	
応用科目	情報科目	ICTデータベース入門		データベースを中心した情報処理の知識や技術を習得します。また、情報収集の手法、リレーショナル・データベース、データベース管理やデータベース作成などの実践的スキルを習得します。 (1) データベースの基礎概念 (2) データベース管理システムの使い方 (3) データベースとプログラミング処理	
応用科目	情報科目	ICTデータベース応用		データベースを中心した情報処理の知識や技術を習得します。また、情報収集の手法、リレーショナル・データベース、データベース管理やデータベース作成などの実践的スキルを習得します。 (1) データベース・システムを構築利用 (2) データベースとプログラミング処理	
応用科目	情報科目	ICT画像編集入門		作品の制作を最終目標に、ソフトウェアや機器の扱い方に限らず、制作に関わるプロセスやそれに関わる必要な知識などについても学習します。 (1) 画像編集に関わる知的財産権について (2) 撮影機材の利用方法について (3) 画像処理の理論について (4) 画像編集ソフトの使い方 (5) 画像の加工・編集 (6) 基本的な作品の制作	
応用科目	情報科目	ICT画像編集応用		作品の制作を最終目標に、ソフトウェアや機器の扱い方に限らず、制作に関わるプロセスやそれに関わる必要な知識などについても学習します。 (1) 作品の制作に係るプロセス（企画、撮影、編集）について (2) アニメーションの作成 (3) CG (4) 画像の加工・編集 (5) より高度な作品の制作 (6) 制作物の発表	
応用科目	情報科目	ICT動画編集入門		作品の制作を最終目標に、ソフトウェアや機器の扱い方に限らず、制作に関わるプロセスやそれに関わる必要な知識などについても学習します。 (1) 動画編集に関わる知的財産権について (2) 撮影機材の利用方法について (3) 動画編集ソフトの使い方 (4) 動画、音声の加工・編集 (5) 基本的な作品の制作	

応用科目	情報科目	ICT動画編集応用	作品の制作を最終目標に、ソフトウェアや機器の扱い方に限らず、制作に関わるプロセスやそれに関わる必要な知識などについても学習します。 (1) 映像作品の制作に係るプロセス等（企画、撮影、編集）について (2) より高度な作品の制作 (3) 制作物の発表	
応用科目	情報科目	ICT音楽編集入門	作品の制作を最終目標に、ソフトウェアや機器の扱い方に限らず、制作に関わるプロセスやそれに関わる必要な知識などについても学習します。 (1) 音楽編集に関わる知的財産権について (2) 音響の原理、録音について (3) 録音編集技法について (4) 自動演奏技法について (5) 基本的な作品の制作	
応用科目	情報科目	ICT音楽編集応用	作品の制作を最終目標に、ソフトウェアや機器の扱い方に限らず、制作に関わるプロセスやそれに関わる必要な知識などについても学習します。 (1) 音楽作品の制作に係るプロセス等（企画、撮影、編集）について (2) より高度な作品の制作 (3) 制作物の発表	
応用科目	情報科目	ICTプログラミング入門	自身のアイデアを、プログラミングを用いて具現化させることを目標に、プログラミングの理解、作成～実行までの流れ等を学習します。 (1) プログラミングを理解する (2) プログラム作成から実行までの基本的な流れ (3) プログラミングに使用するソフトウェアの使い方について (4) 初歩的なプログラミング演習	
応用科目	情報科目	ICTプログラミング応用	自身のアイデアを、プログラミングを用いて具現化させることを目標に、プログラミングの理解、作成～実行までの流れ等を学習します。 (1) 複雑なプログラムの理解 (2) 目的に応じた実用的なプログラミング演習 (3) 自己のアイデアを具現化させる	
応用科目	情報科目	ICT Webページ作成	Webページの作成を目標に、Webページ作成に必要なスキルを学習します。また、Webページの作成のみではなく、知的財産権等の関わる知識を学習します。 (1) Webページ作成と知的財産権について (2) Webページ作成に必要なスキルについて (3) Webページ作成に必要な言語について (4) 初歩的なWebページ作成演習 (5) Webページ作成に必要な言語の修得 (6) Webページ作成演習、制作物の発表	
応用科目	情報科目	ICT eラーニングデザイン入門	eラーニングコンテンツの制作体験を通して、インストラクショナル・デザインを学ぶとともに様々な分野で応用できるデザイン力を習得します。制作演習を経て、制作発表会の開催と報告書の提出ができるようになります。 (1) eラーニングの概要・定義 (2) インストラクショナルデザインの基本 (3) コンテンツ制作に必要なシステムの理解 (4) コンテンツの企画制作 (5) コンテンツ制作演習、発表	
応用科目	情報科目	ICT eラーニングデザイン応用	eラーニングコンテンツの制作体験を通して、インストラクショナル・デザインを学ぶとともに様々な分野で応用できるデザイン力を習得します。制作演習を経て、制作発表会の開催と報告書の提出ができるようになります。 (1) インストラクショナルデザインの分析 (2) eラーニングの効果的な活用法 (3) eラーニングにおける評価技法 (4) コンテンツの企画制作 (5) コンテンツ制作演習、発表	
応用科目	情報科目	ICT プレゼンテーション	プレゼンを実施するまでの企画校正から、実際のプレゼンテーション力等を養成する授業です。自分の考えをプレゼン資料にまとめて、発表するのみに留まらず他者のプレゼンに対してピアレビューを行います。 (1) プレゼン制作の企画・校正 (2) プレゼンソフトの応用 (3) プレゼン資料作成、発表 (4) 話し方、伝え方トレーニング (5) コンペプレゼン実習	

基本科目	政策学関係科目	政策学基礎	○	<p>本科目は、政策の概要及びプロセスを理解するとともに、社会的課題を網羅的に把握、理解することを目的とする。政策とは「社会問題の解決のための方法」であり、その基本的なプロセスは「社会的課題を発見し、その問題が生じた要因を分析し、問題解決の方法を探索・選択し、実行し、フィードバックし、改善する」となる。この科目では、まず、政策形成や政策決定に関する理論を中心に、政策実施や課題設定について、基礎的な理論を、できるだけわかりやすく紹介していく。そのうえで、政策の思想やプロセスにおいて従来指摘されてきた特徴、たとえば縦割り行政、ボトムアップ型意思決定方式などへの理解を深める。さらに、各分野に典型的な社会的課題を紹介し、「社会には解決すべきどのような課題があるか」をしっかりと把握する。</p> <p><教員ごとの氏名、担当する回数（時期）及び内容等></p> <p>1 イントロダクション：政策とは何か、政策思想【5 奥山雅之】</p> <p>2 政策に必要な知識と技能【5 奥山雅之】</p> <p>3 政策プロセス・政策主体【3 牛山久仁彦】</p> <p>4 国と地方自治【3 牛山久仁彦】</p> <p><ここからは先オンデマンド></p> <p>5 政策におけるデータ、因果関係【16 宮崎イキサン】</p> <p>6 住民参加と民間活用【7 西村弥】</p> <p>7 人口問題・少子化政策・地域問題【68 鎌田健司】</p> <p>8 都市政策・空き家問題【8 野澤千絵】</p> <p>9 中小企業政策【11 森下正】</p> <p>10 地域活性化・産業立地【5 奥山雅之】</p> <p>11 経済産業政策【14 齋藤雅己】</p> <p>12 技術政策【15 柴田有祐】</p> <p>13 国際貿易政策【10 藤永修一】</p> <p>14 まとめ：現代の政策課題と展望【1 飯田泰之】</p>	オムニバス方式
基本科目	政策学関係科目	憲法B		<p>憲法の全体像について基礎事項を中心に講義する。最初に憲法の内容や基本原則を解説し、次に憲法が定める統治の仕組みを解説する。これらの知識を踏まえつつ、憲法が保障する基本的人権の意義や内容、限界について解説する。授業では裁判所の判決も積極的に取り上げ、具体的な憲法問題の解決方法についても検討する。</p> <p>憲法の基礎概念を説明できるようになること、及び基礎的な憲法問題について自身の見解を説明できるようになることを目標とする。</p>	
基本科目	政策学関係科目	政治学基礎		<p>この講義では、現実の政治を構成している諸制度と実際の政治のプロセスを理解するための視座に関して、その基礎的な知識とそれに基づく思考の機会を提供する。これらを通じて、他の政治系科目を学ぶための「基礎体力」を付けることを最大の目標とする。</p>	
基本科目	政策学関係科目	政治理論基礎		<p>古代から政治は様々な問題に直面してきた。それに対し政治学もまた多様な概念を編み出し、思考してきた。いまの政治はどうだろうか。同じように様々な問題を抱えてはいないだろうか。</p> <p>この講義では、政治の根本に関わる基礎概念について考え、現代政治が直面している諸課題について検討していきたい。</p>	
基本科目	政策学関係科目	マクロ経済学 I		<p>経済を理論的に理解するにはミクロ経済学とマクロ経済学の知識が不可欠である。ミクロ経済学が家計や企業といった個々の経済主体の経済活動とそれらの相互作用としての市場を分析対象とするのに対し、マクロ経済学はGDP・物価水準・失業率といった経済全体の集計値を考察する。本講義は、経済の仕組みをこれから本格的に学ぼうとしている初学者を対象としたマクロ経済学の入門講義であり、経済学科および政策学科1年次の必修科目である。</p> <p>GDPとは何か。何が一国のGDPを決めるのか。景気にはなぜ波があるのか。インフレ、デフレはなぜ生じるのか。消費や投資の増加はGDPをどれだけ増やすのか。政府はどのような役割を果たすのか。すべてがマクロ経済学の扱う問題である。本講義は、受講者が経済の基本的な考え方を体系的に習得し、現代社会における経済の仕組みや役割、様々な経済現象に対する理解を深めることを目指している。</p>	
基本科目	政策学関係科目	ミクロ経済学 I		<p>経済を理論的に理解するにはマクロ経済学とミクロ経済学の知識が不可欠である。マクロ経済学がGDP・物価水準・失業率といった経済全体の集計値を考察するのに対し、ミクロ経済学は家計や企業といった個々の経済主体の経済活動とそれらの相互作用としての市場を分析対象とする。本講義は、経済の仕組みをこれから本格的に学ぼうとしている初学者を対象としたミクロ経済学の入門講義であり、経済学科および政策学科1年次の必修科目である。</p> <p>モノやサービスの価格はどのように決まるのか。限りある資源はどのように配分されるのか。そこにおいて、市場はどのような役割を果たし、消費者と企業はどのように行動するのか。いずれもミクロ経済学が扱うテーマである。本講義は、受講者が経済の基本的な考え方を体系的に習得し、現代社会における経済の仕組みや役割、様々な経済現象に対する理解を深めることを目指している。</p>	
基本科目	政策学関係科目	行政学基礎	○	<p>行政学基礎では、近代以降における行政の守備範囲の変遷と拡大について把握するとともに、議院内閣制や大統領制、あるいはそれを支える官僚制や行政機構等、現代行政を構成する基本的な「制度」について理解を深める。また、後半では、長らく改革の対象とされながら、もっとも変動の少ない分野である公務員制度について多様な観点からとりあげ、現代公務員制度の意義と課題について光をあてる。</p>	

基本科目	政策学関係科目	行政理論基礎	○	行政理論基礎では、行政機関の「活動」について理論と実際の両面から光をあてる。最新の動向にも配慮しながら、わが国の行政において、政策、ヒト（定員）、カネ（予算決算）がこれまでどのように運用・管理されてきたのか概観する。最後に、改革の対象として注目されてきた特殊法人や独立行政法人等の外郭団体との関係、および、行政改革を支える理論的動向について理解を深める。	
基本科目	政策学関係科目	政策研究総合講座		政策の現代的な各課題に関わる講義を行う。講師は、多様な地域で活躍されている専門家で、その経験をもとに、各分野の現状と問題点、課題などについてお話しいただく。地域において政策を展開・運用する際の、地域の「実態」を十分に理解できるようになることを目的としている。自治体の政策形成、地域活性化、まちづくりなど、理論だけでは得られない貴重な体験談等も紹介していただく。こうした一連の講義により、地域づくりの最先端の取り組み状況を理解できるようになるとともに、政策形成のための基礎体力（知識・見識・常識）を身につけることを目的としている。 <教員ごとの氏名、担当する回数（時期）及び内容等> 1 現代の政策課題のアウトライン【5 奥山雅之】 2 人口減少、少子化【68 鎌田健司】 3 労働と失業、所得格差【5 奥山雅之】 4 高齢者、年金、福祉、介護、健康、医療【5 奥山雅之】 5 観光、文化【5 奥山雅之】 6 都市計画、交通【8 野澤千絵】 7 農林水産、食料【5 奥山雅之】 8 環境、エネルギー【11 森下正】 9 産業、中小企業【11 森下正】 10 災害、被災地復興【3 牛山久仁彦】 11 外交、貿易【16 宮崎イキサン】 12 地方自治【3 牛山久仁彦】 13 地方創生【5 奥山雅之】 14 予算、財政【5 奥山雅之】	オムニバス方式
基本科目	政策学関係科目	経済政策	○	市場経済（資本主義経済）は世界経済の原動力（の一部）であると同時に、社会が抱える様々な問題の原因ともなっている。なぜのような問題が発生するのか、問題に対する対策の方向性は何か、その方向性に基づく政策をどのように実行していくべきか。本講義ではこれら問いに対しての経済学の知見を学ぶことで、以下の3つの点を通じて理解を深める。 ①経済政策の前提として、市場経済においてどのような問題が存在し、またそれらが政策の対象となるのかについて理解すること。②経済政策を考えるのにあたり、経済学はどのような知見を与えているのかを学ぶこと。③先に触れた問題やそれに対する知見と、現実の問題と実施された・されている政策とを結びつけることである。	
基本科目	政策学関係科目	民法（総則）		民法は、民法総則、物権法、債権法、家族法（親族法、相続法）によって構成されているが、本授業では民法総則を学習する。教育的効果をあげるため、基礎講義と応用講義に分けて授業を行う。基礎講義は、民法の条文とそれが想定するケースの理解・定着を目的とする。応用講義では、最高裁判例を主たる題材とする重要論点についての解説をする。民法は、私法の基礎法であり、あらゆる職業に就く者の業務に必要なものであるし、また私的生活でも必要なものであるため、基礎力の充実に力点を置きたい。	
基本科目	政策学関係科目	民法（物権）		本授業では、物権法を学習する。講学上、物権法は、物権法総論と担保物権法に分かれるが、全範囲を講義する。教育的効果をあげるため、基礎講義と応用講義に分けて講義を行う。基礎講義は、民法の条文とそれが想定するケースの理解・定着を目的とする。応用講義では、最高裁判例を主たる題材とする重要論点について講義を行う。	
基本科目	政策学関係科目	地域研究論		参加者各自に演習課題に積極的に取り組んでもらうことを通じて、都市や地域に関連する専門諸科目へのイントロダクションとする。具体的な項目としては、官庁地域統計の実際や地域データの特徴とその限界、地域特化係数に代表される様々な地域指数の紹介と演習、それらの結果を利用したGISソフトによるデータプレゼン、さらには表計算ソフトで算出可能なジニ係数計算や回帰分析計算等々初歩的な多変量解析法の導入と展開、そして最終的にはプレゼンテーションと地図化に関する諸問題、特に表象としての「地図」の特徴と限界等々についても、上記所演習とその結果に基づいて議論を重ねる。	
基本科目	政策学関係科目	地域分析法		『地域』概念の社会的意義について、関連する社会諸科学の成果を踏まえながら、さらには哲学及び歴史諸科学の成果も踏まえながら多様な角度から総合的に検討を重ねる。中でも、社会分析の明示的な変数として『地域』を取り上げることの意義と射程、さらにはその限界等について、先のような人文社会諸科学における具体的な研究成果や事例に即しながら、学生とのフィードバックも含めて多様な視角から検討を重ねる中で改めて地域研究の意義についての認識を深める講義とする。	
基本科目	政策学関係科目	簿記論		本講義は、簿記・会計の初学者を対象として、特に財務会計論の入門レベルの知識修得を目標としている。また本講義では、財務会計論の根幹となる会計基準を題材とするとともに、その理解に役立つように設例を用いた説明を行う。より具体的なテーマとしては、企業会計の基礎、貸借対照表と損益計算書、棚卸資産、固定資産、金銭債権と金銭債務、負債会計、資本会計、収益会計、法人税等と課税所得、有価証券、無形資産を予定している。	

基本科目	政策学関係科目	統計学	統計学の基礎理論について講義を行う。具体的には、記述統計、確率、確率変数と確率分布、確率変数の関数と標準化、正規分布、二項分布、中心極限定理、信頼区間の推定、仮説検定、相関分析、回帰分析の基礎と説明力、回帰分析と仮説検定である。本講義では、統計学の基礎理論を学ぶだけでなく、Excelを使ってデータ分析の手法を学び、どのようにデータ分析を行うのか、また出力された結果に対してどのように解釈するのかについて理解を深めることが期待される。
基本科目	政策学関係科目	社会科学方法論	大学に入り、概念、理論、仮説などの言葉を耳にする機会も増えたと思う。これらの言葉は、研究の方法論に関係する用語である。本講義の前半では、研究(ex.卒業研究)を実施する際に必要となる方法論やその考え方について解説していく。後半では、各調査法について概説し、それぞれの調査法の強みや注意すべき点を説明する。本講義では、学生が、社会科学方法論に基づいて、卒業研究などの研究計画を立案できることを到達目標とする。自分で問いを立て、先行研究を整理し、何らかの方法で調査し、その調査を土台として論文を執筆していくための基礎的な力の習得を本講義では目指していく。
基本科目	政策学関係科目	数量経済分析	経済学においては、多くの分野で数学的な手法や思考法を用いた理論展開がなされている。本講義では、複雑に絡み合った現実の経済現象を論理的かつ明快に整理し、分析する強力なツールとしての基本的な数学手法を学ぶとともに、そうした数学的手法が経済学へどのように応用されているのかを学んでいく。本講義を通じて、受講生が学部レベルの経済学の学習に必要な数学的知識を身につけて専門科目に対応できるだけの数学的基礎能力を養成する。
基本科目	政策学関係科目	社会学A	社会学は社会科学の一つであり、近代以降の社会を中心に研究する学問である。この授業では、社会学の由来・研究対象・基本概念・研究方法・視点・考え方、政治・統治、言語共同体、植民地・異文化などにたいする応用分析を中心に、社会学という学問の考え方・特徴・分析手法と近代社会の仕組みを説明していく。
基本科目	政策学関係科目	社会学B	社会学は社会科学の一つであり、近代以降の社会を中心に研究する学問である。この授業では社会学という学問の基礎を創った、E.デュルケム、M.ウェーバー、G.ジンメルという三巨匠のそれぞれの経歴・社会学の特徴・代表作を学習し、社会学の基本的な考えにたいする理解をさらに深める。また、貧困・福祉、移民・エスニシティ、国家・国民などを中心に現代社会の仕組みや個人と社会との関係について、社会学という分析手法で説明していく。
基本科目	政策学関係科目	憲法A	私たちの生活のルールである様々な法の基本である日本国憲法は、私たちの人権を保障し、国の仕組みを規定し、実は身近なところまでつながっている。こうした日本国憲法の様々な論点、争点を具体的な判例を紹介しながら解説していくことを通じて、日本国憲法に関する基礎的な知識、考え方を身につけていく。日本国憲法の基礎的な知識や考え方を身につけ、自分の意見を組み立てることができるようになることを目標とする。
基本科目	政策学関係科目	マクロ経済学II	本講義はマクロ経済学Iで学んだことを前提に、マクロ経済学をさらに深く掘り下げ、マクロ経済学への理解をより深めるための講義であり、本講義の履修にはマクロ経済学Iを履修していることが望ましい。なお、本講義は経済学科1年次の必修科目である。本講義では、マクロ経済学Iを復習した後、財市場と貨幣市場とを統合するIS-LMモデルを通じて財政金融政策の有効性について分析する。さらには、総需要と総供給からなるAD-ASモデル、失業とインフレーションの理論、経済成長モデル、オープンマクロ・モデルなどに焦点を当てることで、現実の経済に対する理解を深め、必要となる政策的対応についても考察する。本講義は、履修者がマクロ経済学のより高度な考え方を身につけ、多様な経済関連科目を履修し、理解するうえでの確かな土台を提供することを目指している。
基本科目	政策学関係科目	ミクロ経済学II	本講義はミクロ経済学Iで学んだことを前提に、ミクロ経済学をさらに深く掘り下げ、ミクロ経済学への理解をより深めるための講義であり、本講義の履修にはミクロ経済学Iを履修していることが望ましい。なお、本講義は経済学科1年次の必修科目である。本講義では、ミクロ経済学Iを復習した後、消費者と企業の行動原理をさらに詳しく考察することで市場機構の効率性について理解を深めるとともに、完全競争の前提が当てはまらない場合の市場の失敗とその対処についても学ぶことになる。また、本講義でも取り上げるゲーム理論の発展はミクロ経済学を深化させ、不完全競争下あるいは不完全情報下での企業戦略を考えるうえで活用されるとともに、その応用範囲は経済学を越えて多方面に及んでいる。本講義は、履修者がミクロ経済学のより高度な考え方を身につけ、多様な経済関連科目を履修し、理解するうえでの確かな土台を提供することを目指している。

基本科目	政策学関係科目	政策フィールドスタディーズ	<p>本科目は、講義と実習の両方を有機的に統合した、新しい形態の講義科目である。中間で教室外での調査活動（フィールドワーク）を実施し、その事前準備と事後のとりまとめなどを通じて、フィールドワークを通じて把握した課題について、提案書を作成する能力を修得する。政策形成と実施におけるフィールドリサーチの重要性を理解し、実践的な調査スキルを習得することを目的としている。</p> <p>具体的に考え、解決策を見出ししていくには、講義で知識を身につけるだけではなく、現場に足を運んで体験してみることが重要である。そこで、現地調査を通じて政策の現実と課題を学び、データ収集、分析、および報告書作成の技術を身につける。</p> <p><想定されるフィールドワーク先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下北沢エリア（ウォークアブルシティ政策） ・三鷹市（コミュニティ政策） ・調布駅周辺（バリアフリー政策） ・神楽坂エリア（景観政策） ・三軒茶屋エリア（防災政策）
基本科目	政策学関係科目	政策評価・デザイン	<p>本講義は、社会科学において重要な概念である「因果関係」を学ぶ。具体的には「因果関係」と「相関関係」の違いについて学習し、そして因果関係を特定するために有効な実験デザイン、また世の中に既に存在するデータを使って因果の効果を発見するための条件や手法、反事実と因果推論の基本的考え方、ランダム化比較試験と政策評価などを学ぶ。さらに、データから政策評価及び立案にとって価値のある情報をいかに引き出すかについて議論する。</p>
基本科目	政策学関係科目	財政学	<p>本講義では、財政学の基本的な考えを、理論と実際の両面から学習する。現在、日本は未曾有の政府債務を抱えており、将来の公共サービスの持続可能性に対して多くの人が不安を抱えている。これに加えて、2020年初頭から新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を奮っている。政府はコロナ対策として類を見ない規模の財政支出を決定したが、多額の財政出動にもかかわらず貧富の差は拡大し、コロナ危機からの脱却には至っていない。さらに2022年からはウクライナ危機の影響が世界中に及び、多くの国々が物価高騰対策を実施している状況にある。危機の時代において、あるべき財政の姿はどのようなものだろうか。なぜ、このような財政問題が発生しているのか。どのようにすれば解決可能なのか。財政学の学習を糸口として、現代社会の課題について理解を深める。</p>
基本科目	政策学関係科目	現代経済事情	<p>本講義では日本と世界の経済・ビジネスの現状について概念的な講義を行う。単純な事項の暗記にとどまることなく、経済理論に依拠しながら政府や企業活動、マーケットデータを知ることを通じて、理論的に思考し、データに基づいて議論をすすめる本学部・学科教育の基礎的な素養を身につけることを目標とする。これらの目標を達成するために、物価や国民経済計算に代表される経済統計の作成方法や指数理論についての解説、日本と主要国における公的な数量資料の仕組みを解説することを通じて、実践的な経済学の使い方を身につける第一歩としていきたい。</p>
基本科目	政策学関係科目	留学認定科目 (基本科目・政策学科)	<p>当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の基本科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の基本科目として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。</p>
応用科目	政策学関係科目	地域行政学	<p>本講義では、地方分権による「地域」の役割の高まりを意識し、こうした改革がもたらされた歴史的背景、制度の変化について学ぶ。そして、民主主義のもとでの地方自治の意義を検討し、日々変化する地域行政の課題や今後のあり方について考えることで、地域の一員として地域の行政への関心を高めてもらうことをめざす。また、少子高齢化への対策、頻発する災害、ジェンダー政策など昨今の自治体行政をめぐる具体的な課題についても当事者意識をもって、考えることを目的とする。</p>
応用科目	政策学関係科目	都市政策	<p>本講義では、世界・日本の都市政策の歴史や理論・手法、法制度と共に、新たな思潮や国・自治体等による取り組み事例を学ぶ。特に、世界の人口10万人以上の都市の4分の1が人口減少都市（Shrinking Cities）と言われる中で、前例のないスピードで人口減少が深刻化する日本は世界的に注目されている。そのため、成長期の都市化社会から都市成熟型社会に移行し、既存の都市の再生・再編成に向けた新しい都市政策の考え方・仕組み・手法に関する幅広い視野と専門知識を習得する。その上で、国内外の大きな方向性を読み取り、暮らしや経済・ビジネス等のあり方と関連づけながら問題構造を論じることができるとを目的とする。</p>
応用科目	政策学関係科目	都市行政	<p>都市行政は、経済社会状況の変化や人々の新たなニーズに的確、かつ迅速に対応するだけではなく、様々な分野が輻輳した現代的な行政課題に対し、総合的・長期的に見て持続可能な都市経営を推進するという重要な役割も担っている。本講義では、都市行政に関わる様々な分野の現代的課題を中心に、その実態や法制度、新たな取り組みなど横断的に都市行政が抱える問題の構造とともに、都市行政に関する考え方・仕組み・手法に関する幅広い視野と専門知識を獲得することを目的とする。</p>
応用科目	政策学関係科目	地方自治法	<p>日本の地方自治は、憲法で保障されており、戦後改革をふまえた地方自治の確立がなされていたが、戦前からの官治集権が引きつがれた面もある。本講義では、日本国憲法に規定された自治権保障の基本的な原則をふまえ、憲法付属法ともいわれる地方自治法の基本的な原理と制度等について講義を行う。この講義を通じて地方自治の基本原理についての法的な理解を深め、地方自治の基本的な構造と制度についての概略についての知見を得る。</p>

応用科目	政策学関係科目	自治体経営論	地方分権は、日本における重要な政治課題として登場してきた。2000年4月のいわゆる「分権一括法」はそうした改革を具体的にスタートさせた歴史的意義をもつ。戦後、日本国憲法のもとで構想された地方自治制度であるが、55年目にして大きな改革が行われたのである。この講義では、こうした改革がもたらされた歴史的背景や、制度の変化について概観し、自治体経営改革がなぜ、どのように求められているか、その意義について検討する。
応用科目	政策学関係科目	地方財政論	地方財政は、東京から農村部自治体まで様々な規模の自治体の財政について議論する部分と、総体として、国と地方の関係を財政面から見る部分とに分かれる。2つの側面からの扱いはかなり違った様相を示し、地域住民の生活、経済、自治体の権限論からもみていくことで、地域の発展と民主主義の実現を模索する分野となる。
応用科目	政策学関係科目	社会保障論	社会保障制度の役割や内容にとどまらず、広く社会保障を支える枠組みとしての財政や租税制度、年金・医療・介護などの社会保険に関する経済学的な分析、所得分配と公平性、少子化問題の分析、さらには社会保障制度改革のあり方などについても学ぶ。 社会保障制度は、病気やケガ、高齢、失業、貧困などさまざまなリスクに直面した際に必要となる社会的な仕組みであり、我々の生活に欠かせないものである。最近では、公的年金制度や医療・介護保険制度の見直しなどが政策課題となっているが、これらは社会保障制度の柱である。また、格差や所得再分配などについても、社会保障制度の枠組みの中で考えていくべき政策課題である。 社会保障制度を考える際には、幅広い視点が必要になる。授業では経済学的視点からのアプローチが中心となるが、財政との関連性、雇用や労働市場などとの関係、少子高齢化など人口問題からの見方、国際比較の視点などが欠かせない。以上の多様な視点から、社会保障の仕組み・現状・課題を総合的に理解することが授業の到達目標となる。
応用科目	政策学関係科目	情報政策論	「情報政策」は情報技術の発達により、多領域を含む概念となっている。政策とは、行政が望ましい社会形成のための目標とそれを実現するものであり、情報政策は、望ましい社会へと導く情報の取り扱い方になる。現代のデジタル化は誰もが情報発信することを可能にしたが、SNS等は虚偽から真実を識別できず、民主主義における公共圏を汚染する元凶となっている。そこで本講義では技術論ではなく、新しい「公共圏」構築の方策として、情報を創造、伝達し又は様々な分野で利用すること、特に自治体を中心に、社会の成員が共通善を行政と協力しつつ作り上げる方策の必要性を検討していく。学修者には行政と様々な環境主体との情報の関係を理解し、社会課題解決に役立てるための情報政策を学修してもらう。具体的には、行政と市民との情報交流・コミュニケーション実践（広聴・広報・メディア）、情報マネジメントに基づく情報政策の理解が出来ることを目標とする。
応用科目	政策学関係科目	公共政策学	本講義では、公共政策学を体系的に学習する。公共政策とは、「社会の問題を解決するための方向性と具体的手段」を指す。公共政策は、社会経済の変化に応じて刻々と変化していく。特に近年は、パンデミックの発生、国際競争、物価高騰、人口減少の進行など、未曾有の課題が発生し、国民生活全体とともに、公共政策における立案内容や実施プロセスが大きく変動している。このため、できる限りアップ・トゥー・デートな行政課題を採り上げ、当該問題を巡る政策の在り方について議論を深めていく。学期前半は、公共政策の意義や政策の企画立案、及び実施過程に関する基本的事項を扱い、後半は、公共政策の現代的展開を全体テーマとし、財政、環境、政策評価、犯罪対策、デジタル政策等の個別テーマの講義を行う。
応用科目	政策学関係科目	公会計学	本講義では、公的分野の会計について取りあげる。具体的には、中央政府、地方自治体、公営企業、独立行政法人、社会福祉法人、学校法人などの会計について解説する。公会計における最近のトピックスを一言でいうと「企業会計化」である。従来、公的分野の会計は現金主義（単式簿記）を基本としてきた。しかし1990年代以降、公的分野においても営利企業と同様の会計手法が取り入れられ、発生主義（複式簿記）の導入が進められている。本講義は、なぜ「企業会計化」が進んだのか、公会計制度の変遷を概観しつつ、会計の基礎知識や政府・非営利組織の特性を学習し、公会計に関する理解を深める。
応用科目	政策学関係科目	行政法	高度情報化社会の急速な発展、地球的規模での環境問題の深刻化、少子高齢社会の到来、格差社会の進行、高度な生命科学の発達、エネルギーの原発依存など、次々と生起する複雑かつ深刻な現代的課題に対し、行政機関は、広範な専門技術的裁量権を行使して迅速に対応する必要性に迫られている。行政法の核心は、「国民の厳粛な信託によるもの」（憲法前文）であるという憲法原理を基本として、このような問題を抱える現代社会における行政の役割の重大性の認識の下に、行政機関による裁量権の適正な行使を確保し、民主的かつ公正・透明で国民に対して責任のとれる行政を実現するためには行政の過程をどのように統制すべきか、その統制の法理論を探究することにあると考える。 かかる観点に立って、本講義は、第1部では「憲法理念と行政・行政法」のテーマの下に、権力分立制と行政権、憲法理念の転換と現代行政の特質、行政裁判法制の歴史と公法・私法、行政事件と民事事件について。第2部では「民主的責任行政の法的過程と透明性・アカウンタビリティ」のテーマの下に、情報公開・公文書管理、行政立法、行政計画、行政手続（行政処分手続、行政不服審査手続）について、具体的な事例と関連づけながらその基本的な仕組みを理解したうえで、その争点に関する（最高裁判例を中心とする）判例及び学説の検討を通じて、行政法の基礎理論及び行政法上の問題を解決する能力の修得を到達目標とする。

応用科目	政策学関係科目	社会福祉政策論	現代社会における貧困、疾病、老後の所得問題・介護問題、格差・不平等などの社会問題を解決する主な対策は社会福祉政策である。この授業の主なテーマはつぎのとおりである。(1)社会福祉の意味・関連概念・基本的な考え・機能、(2)貧困救済対策に関する日中比較、(3)社会福祉の政策主体・厚生省の成立と戦後の機構改革／戦後の社会福祉行政の主な課題、(4)国民健康保険の創設・普及と医療保険の改革、(5)労働者年金保険・厚生年金保険の創設・実施と年金保険の改革、(6)高齢期の生活と介護保険の制定。この授業は日本の社会福祉政策を中心に講義するが、比較対象として、中国の貧困救済対策・社会福祉政策・福祉格差も取り上げる。日中の社会福祉政策に关する比較によって、東アジア型の福祉モデルの特質を探究する。
応用科目	政策学関係科目	コミュニティ福祉論	現代社会におけるコミュニティの変化を踏まえながら、高齢者・介護者、障害者、子どもに関する地域の課題やその課題の背景や環境を理解する。その上で地域の課題に対する支援に関する制度や政策を概観し、地域の課題を解決するための方法について理解を深める。また、国や地方自治体、専門職の役割や社会福祉事業を担う事業者やボランティア等による多様なコミュニティを理解し、多様な地域の課題に対応する担い手と連携を理解する。
応用科目	政策学関係科目	地域産業論	産業あるいは個々の企業は、地勢や地域の資源、人材、他の企業や大学などの存在、自治体の政策などによって大きな影響を受ける。一方、地域産業は雇用や税収、地域住民に必要な製品やサービスの提供など、地域の持続的発展に大きな役割を担っている。さらには、グローバル化の進展のなかで、世界的な地域間競争が活発化し、地域産業の果たす役割はむしろ高まっているといえよう。この講義では、地域の持続的発展の担い手である地域産業を実証的に捉えるとともに、グローバル化の中でも個性的な製品・サービスの創造や地域課題の解決を図ろうとする地域産業のあり方や、地域産業と地域づくりの関係について考察する。到達目標は、地域と産業についての関係性を理解し、地域における産業の役割を深く認識するとともに、各地の産業の実態や課題を把握し、解決に向けた構想力を身につけることである。
応用科目	政策学関係科目	中小企業論	ベンチャー・中小企業による産業の苗床機能の発揮が、先進諸国や発展途上国で期待されている。なぜなら、今日のトヨタやパナソニックも、創業当初は小さな町工場からスタートし、絶え間ない技術革新と製品開発によって、国際的な企業を築いたからである。そこで、企業活動を軸とした現実世界に観察し、経済の本質と企業経営の実態を解明する。 (授業の目的) 本講義では、ベンチャー・中小企業の実態と問題を解明するために必要な理論的視点と手法を学ぶ。また経済発展、経済環境変化、産業構造転換と企業経営との関係を理論と実証の側面から詳述する。さらに産業集積地の実態や企業に必要なマネジメントの手法、経営者に必要な能力と資質、技術的な方法について講義を進め、中小企業経営を遂行する上で必要な視点を学ぶ。 (到達目標) 中小企業の経営革新等に資する戦略立案能力、及び企業経営を行うにあたってのマネジメントの考え方と手法を身につける。
応用科目	政策学関係科目	協同組合学	現代社会は、貧困や飢餓、健康や教育、労働環境、環境破壊、国際紛争など、さまざまな課題を抱えている。その中で、国連は持続可能な社会の実現にむけた取り組み(SDGs)に着目し、また、経済理論においても、市場・再分配・互酬性を混合させた多元的経済を軸としたボランタリーの研究があらためて見直されている。このように、協同、相互扶助、民主的参加・自主管理を含む連帯関係が組み込まれた経済活動は21世紀の経済・社会のあり方を考える上で無視することのできないものとなっている。本講義では、それらの社会的連帯経済の代表的な存在である協同組合を念頭に置きつつ、(市場)経済至上主義を軸とした自由主義経済とは異なる社会的経済の実現にむけた実践的・理論的課題及び可能性について論じる。
応用科目	政策学関係科目	食料経済学	食料経済学は、わたしたちが口に入っている食料の由来——生産・加工・製造・流通・販売・消費・廃棄・リサイクルのプロセスを、世界の食料問題とローカルな食の実践の双方を視野におさめつつ、経験的研究や統計データをもとに明らかにすることを課題としてきた。社会的に公正で、循環性に優れた持続可能なフードシステムをいかにして構築できるか。暮らしを中心において、家族や地域など身近なところからローカルに構築する「食の安全保障(Food Security)」について探究したい。
応用科目	政策学関係科目	労働経済学	本講義では、日本の労働市場の現状とその背後にあるメカニズムを理解することを目指す。人口減少・少子高齢化の進展、国際競争の激化、IT・AI化の進展などの経済社会環境の変化によって、たとえば非正社員が増大するなど日本の労働市場は変化に直面している。講義のなかで、このような労働市場の現状を政府統計データやアンケート調査の集計・分析結果、ヒアリング調査による具体的な事例を紹介しながら解説するとともに、労働市場の仕組みや事象が発生するメカニズムを経済学の理論的フレームワークを用いて説明する。授業の到達目標は以下2点である。 1. 日本の労働市場の現状を理解する。 2. 労働市場の仕組みや今起こっていることを経済理論を使って説明できる。

応用科目	政策学関係科目	異文化ビジネス論概論	今日、グローバル化下において、海外進出や M & A (企業の合併・買収) が頻繁に行われる中で、それに伴う異文化的な諸問題が発生している。例えば、中国進出日本企業の中には、中国人従業員の品質、作業標準書、ホウレンソウ (報告・連絡・相談) 等に対する思考様式が、日本人管理職のそれと相違するために生じる様々な問題に直面している企業が多い。日本人管理職と中国人管理職とのチームワークの醸成や信頼関係の構築に悩んでいる日本企業もある。同様の現象は、インド進出日本企業においても観察することができ、現地インド人従業員のモチベーションにマイナスの影響を与えている。そこで、本講義では、海外進出がもたらす異文化ビジネス環境において、従業員のモチベーションを高め、コラボレーションを実現させる知識やスキルを学生諸君に習得させることを目標に、実践的な講義を行う。	
応用科目	政策学関係科目	実践異文化ビジネス論	今日、日本企業は、地球規模の競争にさらされ、それに生き残り、発展していかなければならないという共通の課題を抱えている。しかし、企業の多くは、異文化ビジネス環境でリーダーシップを発揮し、効果的に業務を遂行できる人材の不足に悩んでいる。本講義では、異文化ビジネス環境において、成功を収めることができるような異文化ビジネス人材の育成を目的としている。それは、異文化的なものを見方並びに考え方を備えた人材であり、文化的背景の異なる相手の価値観と自分乃至自社の価値観を調整できる KSAA (Knowledge, Skill, Ability, Attitude: 知識・スキル・能力・態度) を備えた人材でもある。その意味で極めて実践的な内容となる。また、本講義では、グローバル化下における望ましいリーダー像である異文化協働型リーダーの育成にも関心が注がれている。異文化のみならず、同文化においても、ものの見方、考え方、価値観の異なる人と協働し、リーダーシップを発揮する際に、本講義で得られた KSAA は必ずその力を発揮されるであろう。	
応用科目	政策学関係科目	応用政策論 A	本講義のテーマはサービス経済と地域政策および産業政策である。産業が取り扱う財には、「物財」「サービス財」「情報財」があるが、講義の前半では、それぞれの財の提供する産業の相互の比較、各財の特性が生み出す産業問題など、サービス経済化が進む現代に起きている産業問題を取り扱う。現代の社会経済の大きな変化であるサービス経済化の中で、経済学・経営学融合的な知識と、時代認識の中での課題把握能力を獲得することを到達目標とする。	
応用科目	政策学関係科目	応用政策論 B	近年、子ども家庭を巡る環境や背景は多様であり、その家庭ごとにさまざまな課題を持っている。そこで妊娠期から、子育て期の切れ目なく包括的に相談支援し、子ども家庭を伴走的に支援していくことが求められる。本講義は、子ども家庭政策に関する制度・施策の概要を学び、子どもと保護者をめぐる現状と課題を理解し、国や地方自治体の役割を知ることである。到達目標は、(1)現代社会の子育てをめぐる支援政策についての基本的な制度政策の仕組みを理解し、(2)子どもや保護者を巡る様々な課題について、事例や映像を通して理解し、(3)自治体の役割や機能、保育士等の専門職との連携について課題を考察できるようになることである。	
応用科目	政策学関係科目	応用政策論 C	本講義のテーマは「ブレイスブランディングによる地域振興政策」である。地方創生、地域活性化は我が国の産業、経済にとって大きな政策課題ともなっている現在、市場のグローバル化とアジア経済の台頭、日本文化への世界的評価の高まりなどを背景として、国内各地域における独自の独自性に着目し、都市や地域などの特定の場所に対してブランドを構築し、その場所に関連するイメージや価値を強化するマーケティング戦略が重要である。本講座は、こうしたブレイスブランディングによる地域振興策事例を共有することでその手法を修得することをめざす。	
応用科目	政策学関係科目	応用政策論 D	本講義では地方議会について取り上げる。二元代表制のもとにおける日本の地方議会は、住民からその役割・権限を十分に果たしているとは評価されておらず、また住民の地方議会・議員への関心は年々低下し、さらに議員のなりて不足等の多くの課題を抱えている。そこで行政学・政治学からのアプローチにより、地方議会に関する法制度の解釈、実態の分析を行い、地方公共団体における地方議会の役割・権限を理解することを目標とする。	
応用科目	政策学関係科目	応用政策論 E	本授業では、国内外の産業振興策について、産業クラスター論の視点から検討します。産業クラスターとは、異なるアクター間に協働関係と競争関係が併存している状態を意味します。そこで、本授業では、この産業クラスターの形成状況やその特徴について、福岡県、岡山県、福島県等々、国内各地の事例に加えて、米国、フィンランド、カナダ、韓国等々、海外の産業クラスターの事例についても紹介しながら、日本にとって必要な地域産業政策について考察します。学生諸君には、将来、自分がどこで、どんな職業に就いているのか、その時、地域産業と自分の関わりはどのようなものになっているのかといったことを想像しながら、自分の未来像を描出するヒントを掴んで貰うことを期待します。授業は対面 (リアル) で実施しますが、毎回、オンラインで講義資料、参考文献を掲示しますので、予習・復習に役立ててください。	
応用科目	政策学関係科目	応用政策論 F	本講座では、政治学や地方自治論についての基本的な知識を土台として、住民の自治体への参加の意義と役割を中心に理解を深め、民主主義の考え方から、日本の地方自治における住民参加の意義や歴史、住民参加の仕組みについて考えていく。本講座の履修を通じて、地域の一人として市民・住民として、活動できる力を身につけるものとする。	

応用科目	政策学関係科目	応用政策論G	本授業では、国内の産業振興策の特徴について、各地の具体的な取り組み事例に基づいて紹介します。また、地域産業のイノベーションの仕組みについて、産業集積の形成プロセスの観点からも検討します。現在、日本国内の地方地域は、産業構造の変化や経済・産業のグローバル化、少子高齢化といった複数の問題に直面しています。さらに、今後は、脱炭素社会への対応も重要になります。そこで、この授業では、地方地域を如何にして若者にとって魅力ある地域に転換できるのかといった課題に焦点を当てます。受講する学生諸君には、自分の地域の現状と照らし合わせながら、特に少子高齢化が加速している中で、活力ある地域づくりは如何にして可能かといった問題を自分自身の将来の問題として捉えながら、自分自身で考えて貰うことを期待します。授業は対面（リアル）で実施しますが、毎回、オンラインで講義資料、参考文献を掲示しますので、予習・復習に役立てて下さい。
応用科目	政策学関係科目	環境経済学	経済学は自然や環境をどのように理解してきたのか。経済活動は公害や環境破壊にどのように関与してきたのか。そして現在、地域社会から地球規模に至る環境問題にたいして経済学、そして消費者・企業・政府さらに国際機関はどのような処方箋を準備しているのか。授業では環境経済学の形成史をたどり、以上の諸論点を解明する。そして環境政策の様々な手法（法的な直接規制、経済財政的規制、情報的教育的誘導）がどのように構想され、模索されているかを跡付ける。現状分析として、1960年代以降の先進諸国での環境政策の模索とその後の導入を契機に、経済活動での環境資源の節約、すなわち環境節約の進展過程を解明する。80年代以降の廃棄物問題や地球規模の環境問題への関心を契機に、企業の自主的な環境管理活動から環境志向的な技術革新が生じ、台頭する環境志向の消費者群との連携からエコグッズが開発される。こうした環境ビジネスの展開過程も解明する。
応用科目	政策学関係科目	地域情報論	「地域情報化」と呼ばれる社会変動の深化によって、地域に流通し、当該地域の住民が受信する情報の量と質が大きく変容してきている。本講義では、地域情報の産出と流通、消費をめぐる、これまでの経緯と現状について詳しく説明していく。とりわけ「地域メディア」≪インターネットによる地域情報の受信≫≪地域の魅力の情報発信≫といったトピックの説明に多く時間をかける予定。授業テーマは、「ソーシャルネットワーク時代における地域情報の生成・流通・消費」。自分たちが生活をしているローカルな場に生起している地域情報について興味を持ち、その産出・流通メカニズムについて主体的に考察できるだけの知識習得を目指す。
応用科目	政策学関係科目	人口学	人口学は、その名の通り「人口」を研究対象とする学際科学である。人口学の研究分野は、人口の規模・構造・変化や人口変動要因である死亡・出生・人口移動を研究対象とする「形式人口学」と経済・社会・政治との関係や生物学的側面や歴史的側面などを研究する「実体人口学」（応用人口学・人口研究）に分けられる。本講義では、「形式人口学」における人口統計や人口学の基礎概念・分析手法の習得を基本に起きながら、少子高齢化・人口減少が進行する日本の人口動向を中心に、国際比較や社会経済的環境との関係、個人のライフコース選択など「実体人口学」についても取り上げ、人口を学術的に理解することを目指す。
応用科目	政策学関係科目	経済地理学	経済地理学の体系的理解を目指したこの講義では、その理論・実証の両面に通底する広範な分野の紹介を行うことになる。まずは、我々の日々の生活諸条件を物質的に構成している都市空間に対する様々なアプローチの方から若干詳しく検討し始めることとし、通常考えられているよりも遥かに多く状況依存的な産物である我々の日常的都市生活活動とその物的および社会経済的基盤に対する客観的分析の能力と、空間を明示的に分析枠組みの中に取り込んだ経済ダイナミクスの理解の双方に努める。
応用科目	政策学関係科目	地域開発論	そもそも、地域開発とはどのような行為なのでしょう。また、効果的な地域開発を考えていくためにはどのような問題を考慮していかなければならないのでしょうか。本講義では、主としてマクロな理論、グローバルな現象に焦点をあてながら地域開発について考えていきたいと思います。具体的には、地域開発をめぐる主要なトピックスについて、日本を含めた世界各地の具体的な問題・取り組みを取り上げながら検討を進めていくことで、地域開発を捉えるための幅広い視野を獲得することを目標としています。
応用科目	政策学関係科目	地域振興論	近年の地域振興の議論では、ボトムアップによる地域主導の取り組みの重要性が強調されるようになってきました。しかし、地域振興の戦略は、過去の失敗の経験を踏まえ、少しずつ修正されながら現在に至っています。かつて「成功」と評価された事例が、持続可能性を持っておらず、中長期的に破綻してしまったケースも少なくありません。本講義では、主としてミクロな視点から地域振興について考えていきたいと思います。具体的には戦後、日本で行われてきた様々な地域振興の政策・取り組みを中長期的な視点から検証していく作業を積み重ねて行くことで、地域の文脈を踏まえた地域振興を図っていく上で重要な視点と柔軟な発想の獲得を目標としています。

応用科目	政策学関係科目	応用数量分析		この講義には「応用」という語が冠されている。しかしこの「応用」は、高度な統計的な手法を紹介することを指すのではない。本講義では、確率サンプリングに基づいて収集されたサーベイ・データを再分析していく。実際に研究に利用されているデータを分析するという意味で本講義では「応用」という言葉を用いている。本講義では、まず演繹的なプロセスにおける仮説検証や因果関係の考え方について解説していく。次に統計解析ソフトSPSSに触れながら、基本的な統計的手法について講義する。最後に調査報告書を執筆し、二次分析のプロセスを一通り経験してもらう予定である。	
応用科目	政策学関係科目	民法（債権）		本講義では、債権法を学習する。講学上、債権法は、債権総論、契約法、法定債権（事務管理・不当利得・不法行為）によって構成され、広範囲に及ぶが、そのすべてについて講義を行う。教育的効果をあげるため、基礎講義と応用講義に分けて授業を行う。基礎講義は、民法の条文とそれが想定するケースの理解・定着を目的とする。応用講義では、最高裁判例を主たる題材とする重要論点についての解説を行う。	
応用科目	政策学関係科目	民法（家族法）		本講義では、家族法を学習する。講学上、家族法は、親族法と相続法に分かれるが、そのすべてについて講義を行う。親族法では、親族の範囲、婚姻、離婚、親子関係（実子・養子）、親権、扶養等について学習する。相続法では、相続人、相続分、相続の放棄、遺産の範囲、遺産分割、遺言、遺留分等について学習する。家族法は、婚姻・離婚・相続といった、私達が日常生活を送るうえで必要不可欠な知識を習得する分野である。	
応用科目	政策学関係科目	経済法		経済法に分類される法律のうち、その根幹をなす独占禁止法に焦点を当て、必ずしも法学になじみのない履修者がいることを前提としつつ、独占禁止法の歴史及び主要な規制、公正取引委員会の体制や執行手続等について、実務に即した説明を行う。必要に応じて海外における規制の概要や国際協力の状況についても触れる予定である。	
応用科目	政策学関係科目	租税論		誰もが望んで税を負担したいと考えているわけではないだろうが、税がなければさまざまな政府活動が立ち行かなくなることは明らかである。そして、税は政府の強制力を持って徴収されるものであり、我々の行動をも大きく変化させることになる。本講義では、税について、経済学、財政学、法学等の基礎知識を用いて考えてゆく。少子高齢化が深刻化する中、そして、経済のグローバル化が進展するなか、望ましい税制とは如何なるものなのか。これまで税制改革としてどのようなことが議論されてきたのか。海外の事例等も含めて今後の税制改革についての理解を深める。	
応用科目	政策学関係科目	経済政策原理		我々は、現在、グローバル化した世界経済の中で、国境を超えた様々な問題に直面し、解決を迫られている。これらの問題に答えていくためには、現実経済の動きを認識・把握し、克服すべき政策課題を明らかにして経済政策の形成と実践を図っていかねばならない。本講義では、日々起こりうる経済問題をとりあげながら、この課題に取り組み、経済理論を現実の経済問題へと実践的に応用して、経済運動のメカニズムが円滑に、効率的に、拡大的に機能するように維持・管理していく「経済政策形成の原理」を習得する。	
応用科目	政策学関係科目	金融政策		本講義では、政府の金融経済教育推進機構（J-FLEC）と連携しながら、適切な金融サービスの利用等に資する金融又は経済に関する知識を習得し、これを活用するための能力を育成することを第一の目的とする。第二に、金融・経済に関する知識をベースとして、日米欧を中心とした主要国の金融政策の枠組みの変遷（特に、わが国におけるバブル崩壊以降の様々な金融緩和策の変遷）を振り返りながら、金融政策の目的、手段、具体的な運営について理解を深めることを目的とする。	
応用科目	政策学関係科目	現代経済政策		本講義では、市場メカニズムと政府の役割について考える。市場メカニズムは価格の変化を通じて需給を調整し、経済を望ましい状態へと導く働きをするが、常に望ましい状態を実現するわけではない。市場メカニズムがうまく機能しない場合、政府にはそれを補完する役割が求められる。政府はどのような場合に、どのようにして経済に介入すべきなのだろうか。具体的には、政府の役割として一般に考えられている景気の安定化、資源配分の調整、所得の再分配について解説する。それぞれについて、関連する基本的な理論モデルや各国の政策の事例を取り上げ、理論と現実の両面から各種の経済的課題とその対処法について理解を深めていく。	
応用科目	政策学関係科目	開発経済学		世界経済における貧富の格差は極めて大きい。いち早く経済発展を遂げた国もあれば、そうした国を模倣してキャッチアップに成功した国もある。その一方で、発展に取り残された国も数多く存在する。本講義では、経済発展やキャッチアップに成功した国々・失敗した国々を取り上げつつ、後発国が経済発展を遂げるための方策・戦略について議論する。到達目標は、世界における経済発展の歴史と現状、理論、計量を学ぶとともに、後発国が採るべき戦略について、自ら考察出来るようになることである。	

応用科目	政策学関係科目	国際経済政策		国際経済政策は経済政策の範疇の一つとして位置づけることができるが、今や一国の経済政策は他の諸国や世界経済に対して少なからず影響を及ぼす。また、グローバリゼーションは世界経済や各国経済に対してプラスやマイナスの影響をもたらしている。そのため、近年、国内経済の諸問題を国際経済と結び付け、他国や国際機関に責任を転嫁するという傾向が強くなっている。国際経済では自国の国益（時にはエゴ）が現われやすく、結局、国内経済と国際経済とのバランスを如何にとるかが今日の課題となる。この課題に対する処方箋を検討していくことが、本講義の目指すところである。	
応用科目	政策学関係科目	財政政策		本講義では、財政学のうち財政政策に焦点を当て、理論と実際の両面から学習する。現在、日本は未曾有の政府債務を抱えており、将来の公共サービスの持続可能性に対して多くの人々が不安を抱えている。最近では政府が「異次元の少子化対策」を掲げて子育て支援政策の拡充を検討し、防衛費も過去最大の額を計上するなど財政支出は拡大し続けている。財政支出の拡大は日本だけに限らない。2020年初頭から猛威を奮った新型コロナウイルス感染症、2022年からはウクライナ危機の影響で多くの先進諸国でも財政支出の拡大が見られる。このような財政のあり方は持続可能なのだろうか。あるべき社会保障財政、地方財政、財政政策はどのようなものだろうか。なぜ日本では様々な財政問題が発生しているのか。どのようにすれば解決可能なのか。財政政策の学習を糸口として、現代社会の課題について理解を深める。	
応用科目	政策学関係科目	国際法A		本講義は国際法の総論部分を取り扱う。現代国際法は分権的な国際社会において適用される規範であり、第2次大戦後に確立し、国際社会の秩序維持を担ってきた。しかし、「主権」国家が国際社会の主たる法主体であることから、必ずしも国際法の執行や遵守が貫徹されない状況が現出する。このような国際法の制約を踏まえつつ、その基礎的・体系的な知識を得ることが本講義の目的である。取り扱う項目は、国際法主体の国家の形成、国家承継、国家の基本的権限、管轄権、主権免除、国際法の存在形態である。学習した国際法理論を用いて、国際的な事象を自らの言葉で解説し、議論できることが到達目標である。	
応用科目	政策学関係科目	国際法B		本講義は国際法の各論部分を取り扱う。国際法Aの履修は必ずしも前提とはしないが、履修しておくことが望ましい。現代国際法は、武力行使の国際法における位置づけの変化、すなわち、武力行使の禁止によって、その内実が大きく変化した。加えて、人間の科学技術の進歩に伴って、その対象範囲も拡大した。国際法の各分野について、このような歴史的变化を踏まえ、体系的な知識を習得することが本講義の目的である。取り扱う項目は、条約法、国家責任法、国家領域、国際的制度、海洋法、宇宙空間、国際人権法、国際環境法となる。学習した国際法理論を用いて、国際的性情を自らの言葉で解説し、議論できることが到達目標である。	
応用科目	政策学関係科目	観光・文化政策論		本講義では、ソフトパワーと政策、観光需要分析と観光行動、観光供給分析、観光の価格理論、観光産業（宿泊施設、仲介業、交通業者）、観光と地域政策・まちづくり、国際観光、負担と受益の制度設計、リゾート開発と持続性、各種ツーリズム、文化政策、社会教育行政と芸術文化活動などを取り扱う。現代の社会経済の中で、観光文化政策によって社会問題を解決するための専門知識と、時代認識の中での課題把握能力を獲得することを到達目標とする。	
応用科目	政策学関係科目	社会的企業論		本講義では、社会的企業の組織構造や社会政策との関係性に、失業や貧困、障害などの問題を抱えた人々の労働市場や地域のコミュニティへの社会的包摂、非営利組織（NPO・NGO）などの経営、企業の政策への活用手法（PPP、PFI、指定管理者制度など）、CSR、CSV、SDGsと企業などを取り扱う。現代の社会経済の中で、社会的企業の社会的意義および運営に関する専門知識と、多様な社会的企業をとりまく課題把握能力を獲得することを到達目標とする。	
応用科目	政策学関係科目	政策マーケティング		本講義で取り扱う政策マーケティングとは、政策に関わる領域において、マーケティングの発想や手法を適用することで、多様な主体（ステークホルダー）が価値を共創し続ける構造を持続的に機能させることを目的としている。また、政府や自治体、そのほか政策実施者による、コトラーのいう「ソーシャルマーケティング（個人やコミュニティ全体としての行動の変容を促すマーケティング）」でもある。本講義では、マーケティングの手法の基礎を学ぶとともに、それを政策にどのように生かすかを修得する。マーケティングの手法による政策課題解決能力を獲得することを到達目標とする。	

応用科目	政策学関係科目	政策実践総合講座	<p>「地域」は今日、多様で深刻な問題を抱えている。そうした中で、「地域」の健全化・活性化をはかるには、住民、企業、行政、NPOなど多様なセクターが互いに協働することが不可欠である。さらには、「地域」同士が手をとりあい、グローバルな視点から行動することも不可欠となっている。</p> <p>本講座では、いままでに学んだ「地域」をとりまくさまざまな社会課題を把握し、それを解決するための政策の基礎を総合化・体系化しながら政策実践能力を獲得することを目的としている。それは各人が将来において、直接・間接に、多様な地域・社会で実践活動に従事することを前提としている。講師は、官民で政策に携わる外部講師を招いた実践的講義とワークショップで構成される。</p> <p>1 イントロダクション：政策実践のための処方箋【5 奥山雅之】 2-4 【デベロッパー・まちづくり会社】外部講師による実践的講義、調査分析・政策/まちづくりプランの立案・提案書の作成（グループワーク）【5 奥山雅之・8 野澤千絵】 5-7 【産業支援組織】外部講師による実践的講義、調査分析・政策/社会的事業のビジネスプランの作成（グループワーク）【1 飯田泰之・11 森下正】 8-10 【NPO/NGO・国際問題解決】外部講師による実践的講義、調査分析・政策/社会的事業のビジネスプランの作成（グループワーク）【14 齋藤雅己・15 柴田有祐・16 宮崎イキサン】 11-13 【行政】外部講師による実践的講義、予算要求書/事業計画書の作成（グループワーク）【3 牛山久仁彦・7 西村弥】 14 振り返り：政策実践力のさらなる獲得に向けて【5 奥山雅之】</p>	オムニバス方式
応用科目	政策学関係科目	政策研究インターンシップ	<p>自治体あるいは外郭団体、議員事務所、まちづくり関連企業、地域金融機関、その他政策に関わる民間企業などでの職場体験を通じて、それまで蓄積した知識を、実践的な「活きた知識」とすることを目的とする。授業、実習を通じ、公共部門、民間部門を問わず、地域社会で働くとはどういうことかについて学ぶ。</p> <p>本プログラムは、特別に組まれた職場体験（インターンシップ）を核としながら、事前の説明、マナー講座など、事後のグループワーク、発表会などで構成され、これらのプロセスを全て経ることで、実効性のある実務経験となるよう工夫されている。自治体等行政、政策関連機関、社会的企業など対象を広げ、それぞれの将来的志向に応じた政策立案・実施業務を体験する。</p> <p>到達目標は、国内外の各地域における現状と課題を分析し、その課題の解決や地域の発展・創生・活性化を担い支える能力を獲得することとする。</p> <p>【派遣先確保状況】 拠点自治体：大田区、杉並区、多摩市、国分寺市、戸田市、松戸市、所沢市 拠点政策関連機関：一般社団法人ならはみらい、東京観光財団、城南信用金庫、船場</p>	
応用科目	政策学関係科目	留学認定科目 (応用科目・政策学科)	<p>当該科目は、本学と協定を結ぶ海外の大学等に交換留学した学生が海外の大学で修得した科目を本学の応用科目として申請した後、学部として、その名称やシラバスを基に内容を精査し、本学の応用科目として扱うことが相応しいとみなされる科目について、本学の単位として認定しているものである。</p>	
応用科目	資格課程科目	日本史概論	<p>日本史概論では、現在の日本社会の前提になっている近現代の国際環境・社会環境を講義している。私たちの社会が世界の潮流と密接であることを理解するために、歴史学と国際政治学の両分野の視角から、近代～現代とはどのような時代であったのかを学習する。「歴史総合」における課題や意義には特に着目し、教員育成の課題にも対応できる内容とした。現在の日本における社会問題・教育問題を自ら多面的に分析できるようになり、専門知識を得た上で、さらに実社会や教育の現場でその力を活用できるように考える力を涵養する。そのため歴史学的思考法とは何かを理解できることを到達目標とする。</p>	
応用科目	資格課程科目	東洋史概論	<p>本授業では高校の歴史総合・世界史探求、および中学社会科の授業を運営するに十分な基礎知識と新しい研究動向について講義する。具体的には7世紀から20世紀末までの中国史の流れを概観し、中国の政治・経済・社会の動向を世界史的背景から理解できるよう説明する。中国史を講義の軸とするのは、農耕と遊牧という異質の社会システムや環境、生活・文化が接しながら新しい時代を育むという、日本にはない特色あるからである。また、伝統的な華夷意識にもとづく「帝国」が、19世紀以降いかにして近代国家へと変革を遂げたかを学ぶことは、地域によって異なる「近代化」のプロセスを比較する材料となる。そして、現在の多民族国家としての中国が形成されてきた過程を長期的視野からとらえることで、中国社会やアジアが抱える諸問題を深く理解できるだろう。本授業を通じて、アジアという広い地域の特質を歴史的な視点で考えるその手法を学んでほしい。</p>	

応用科目	資格課程科目	西洋史概論	本講義では、世界の一体化の歴史的過程をヨーロッパが果たした役割に焦点を当てつつ論ずる。最初に、11世紀から15世紀にかけてのヨーロッパの経済・社会状況をイスラーム世界及びモンゴル帝国との関わりに触れながら説明し、15世紀以後西ヨーロッパの国々がヨーロッパ外の地域へと進出するようになった要因を検討する。次にポルトガルをはじめとするヨーロッパ諸国のアフリカ、アジア進出の過程を説明し、その進出がアフリカ、アジアにどのような影響を与えたのか、また、ヨーロッパ諸国にとってどのような意味があったのかを検討する。続けて、スペインをはじめとするヨーロッパ諸国のアメリカ進出の過程を説明し、その進出がアメリカ世界にどのような影響を与えたのか、また、ヨーロッパ諸国にとってどのような意味があったのかを論ずる。最後に、産業革命以後、ヨーロッパの優位の元世界の一体化が進められていく過程を説明する。	
応用科目	資格課程科目	地誌学概論	教職課程におかれている「地誌学概論」であることを考慮し、中学・高等学校の教員に求められる地誌学の基礎・基本から専門領域に加えて、既存の概念から応用する授業事例も触れる。地理は知らない土地の知らない人たちが自然に対する好奇心から成り立っている。とくに地誌学は特定地域における自然と人文の諸事象とその関係を考察し、地域的な特徴を究明すること、すなわち地域を知ることが目的とされる。地誌学の楽しみを得ることで、将来のあなたの教え子たちに還元するための糸口になることを目指す。また2022年度より高等学校で必修化された「地理総合」では「地誌」を扱わないが、地図学習は入ることから、それを意識した内容とし、それに続く「地理探究」で地誌の内容を事例的に扱う。	
応用科目	資格課程科目	人文地理学概論	地理学の歴史と発展を紹介し、人文地理学の知識体系及び地図、フィールドワーク、地理情報システムなどの地理学研究の基本的方法を講義する。中等教育の経験をもとに、中学校や高等学校での教育現場を想定した講義を行う。地理学に関わる歴史や基本概念について、具体例を通して地理学がいかなる学問であるかを理解し、説明できるようにすることが目的とする。また、人間の生活・活動・行動が展開する空間、場所、環境に対する深い認識と説明力を習得し、地理学の見方で身近の空間を理解できるようになることが目的とする。	
応用科目	資格課程科目	自然地理学概論	自然地理学はその地域の気候、地形、水文、植生等の自然環境を総合的に捉える学問分野である。地理というと、社会科の科目であり、事象の暗記科目と思われがちである。しかし自然地理学は、実際には私たちの身のまわりにある自然環境がどのようなものかを理解し、その仕組みや因果関係を学ぶことが非常に大切である。本講義は、自然環境に関する基礎的な知識を身に付け、総合的に自然環境を捉える能力を身に付けることが目標である。このような能力を身に付けることで、自然災害や地球環境問題に対しての正しい対処が可能にもなる。	
応用科目	資格課程科目	法学概論	本講義では、主に法学の初学者を対象に法学の基本的な事項について講義を行う。すなわち、「法とは何か」、「法の仕組み」そして「法学学習の方法」といった点を整理した後、「憲法」、「刑法」、「民法」といった具体的な法律について解説する。とりわけ、それぞれの法律がどのような問題を扱うものか、具体的な事例を検討する形で講義を進めていく。我々が生活する現代社会は様々な利益を有する様々な人々によって作られる「共同体」であるため、ときにそれぞれの人の利益が対立し、(法的な)紛争が生じる。そのため本講義が目標とするのは、①法学の基本的な知識の習得に加え、②具体的な事例を与えられた際、習得した知識に基づいて事例を分析することで解決策を論理的に導けるようになること、そして、③その解決策を説得的な形で他者に説明できるようになること、これら3点である。	
応用科目	資格課程科目	倫理学概論	授業ではまず、いじめやハラスメントが生じる心理的背景を考察し、併せてそれらがもたらす「人格形成」への影響を解説する。その際に特に注目するのは「いじめ」と「排除の論理」の関係である。次に「情報化社会が突きつける諸問題」として、同調圧力や承認欲求の症例分析を行い、「同型性に基づく他者理解の本質とその限界」を明らかにする。そこでは今の若者達が「いいね」(評価)を必死で求めて、本当の自己を失ってゆく姿が目撃されるだろう。その際の中心テーマは、ネットの中で増殖する「バーチャルな私」と欲望によって侵食される「自己及び他者の心」である。そして最後は「新たな教育論の現場から」と題して、従来型の倫理観が機能不全に陥っている現状を示し、SNS時代における新しい「倫理」の役割と教育の在り方を一つの試論として紹介したい。その際の中心テーマは、ネット社会における「思考停止」と「生成AIと倫理」である。	

(注)

- 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が40人を超えることを想定するものについては、その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

学校法人明治大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和7年度			入学定員	編入学 定員	収容定員	令和8年度			入学定員	編入学 定員	収容定員	変更の事由			
明治大学						明治大学									
法学部	法学学科	920	—	3,680	法学部	法学学科	920	—	3,680						
商学部	商学科	1,150	—	4,600	商学部	商学科	1,150	—	4,600						
政治経済学部	政治学科	290	—	1,160	政治経済学部	政治学科	290	—	1,160						
	経済学科	695	—	2,780		経済学科	630	—	2,520	定員変更 (△65)					
	地域行政学科	165	—	660			0	—	0	令和8年4月学生募集停止					
						政策学科	200	—	800	学科の設置 (届出)					
文学部	文学科	465	—	1,860	文学部	文学科	465	—	1,860						
	史学地理学科	290	—	1,160		史学地理学科	290	—	1,160						
	心理社会学科	155	—	620		心理社会学科	155	—	620						
理工学部	電気電子生命学科	236	—	944	理工学部	電気電子生命学科	236	—	944						
	機械工学科	138	—	552		機械工学科	138	—	552						
	機械情報工学科	138	—	552		機械情報工学科	138	—	552						
	建築学科	173	—	692		建築学科	173	—	692						
	応用化学科	127	—	508		応用化学科	127	—	508						
	情報科学科	127	—	508		情報科学科	127	—	508						
	数学科	63	—	252		数学科	63	—	252						
	物理学科	63	—	252		物理学科	63	—	252						
農学部	農学科	150	—	600	農学部	農学科	150	—	600						
	食料環境政策学科	150	—	600		食料環境政策学科	150	—	600						
	農芸化学科	150	—	600		農芸化学科	150	—	600						
	生命科学科	150	—	600		生命科学科	150	—	600						
経営学部	経営学科	485	—	1,940	経営学部	経営学科	485	—	1,940						
	会計学科	160	—	640		会計学科	160	—	640						
	公共経営学科	100	—	400		公共経営学科	100	—	400						
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	520	—	2,080	情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	520	—	2,080						
国際日本学部	国際日本学科	400	—	1,600	国際日本学部	国際日本学科	400	—	1,600						
総合数理学部	現象数理学科	90	—	360	総合数理学部	現象数理統計学科	105	—	420	名称変更 定員変更 (15)					
	先端メディアサイエンス学科	120	—	480		先端メディアサイエンス学科	120	—	480						
	ネットワークデザイン学科	90	—	360		ネットワークデザイン学科	105	—	420	定員変更 (15)					
計					7,760	—	31,040	計					7,760	—	31,040
明治大学大学院						明治大学大学院									
法学研究科	公法学専攻 (M)	20	—	40	法学研究科	公法学専攻 (M)	20	—	40						
	公法学専攻 (D)	6	—	18		公法学専攻 (D)	6	—	18						
	民法法学専攻 (M)	20	—	40		民法法学専攻 (M)	20	—	40						
	民法法学専攻 (D)	6	—	18		民法法学専攻 (D)	6	—	18						
商学研究科	商学専攻 (M)	35	—	70	商学研究科	商学専攻 (M)	35	—	70						
	商学専攻 (D)	6	—	18		商学専攻 (D)	6	—	18						
政治経済学研究科	政治学専攻 (M)	25	—	50	政治経済学研究科	政治学専攻 (M)	25	—	50						
	政治学専攻 (D)	5	—	15		政治学専攻 (D)	5	—	15						
	経済学専攻 (M)	35	—	70		経済学専攻 (M)	35	—	70						
	経済学専攻 (D)	7	—	21		経済学専攻 (D)	7	—	21						
経営学研究科	経営学専攻 (M)	40	—	80	経営学研究科	経営学専攻 (M)	40	—	80						
	経営学専攻 (D)	8	—	24		経営学専攻 (D)	8	—	24						
文学研究科	日本文学専攻 (M)	6	—	12	文学研究科	日本文学専攻 (M)	6	—	12						
	日本文学専攻 (D)	2	—	6		日本文学専攻 (D)	2	—	6						
	英文学専攻 (M)	6	—	12		英文学専攻 (M)	6	—	12						
	英文学専攻 (D)	2	—	6		英文学専攻 (D)	2	—	6						
	仏文学専攻 (M)	6	—	12		仏文学専攻 (M)	6	—	12						
	仏文学専攻 (D)	2	—	6		仏文学専攻 (D)	2	—	6						
	独文学専攻 (M)	6	—	12		独文学専攻 (M)	6	—	12						
	独文学専攻 (D)	2	—	6		独文学専攻 (D)	2	—	6						
	演劇学専攻 (M)	6	—	12		演劇学専攻 (M)	6	—	12						
	演劇学専攻 (D)	1	—	3		演劇学専攻 (D)	1	—	3						
	文芸メディア専攻 (M)	6	—	12		文芸メディア専攻 (M)	6	—	12						
	史学専攻 (M)	25	—	50		史学専攻 (M)	25	—	50						
	史学専攻 (D)	6	—	18		史学専攻 (D)	6	—	18						
	地理学専攻 (M)	5	—	10		地理学専攻 (M)	5	—	10						
	地理学専攻 (D)	2	—	6		地理学専攻 (D)	2	—	6						
	臨床人間学専攻 (M)	14	—	28		臨床人間学専攻 (M)	14	—	28						
	臨床人間学専攻 (D)	4	—	12		臨床人間学専攻 (D)	4	—	12						
	理工学研究科	電気工学専攻 (M)	82	—		164	理工学研究科	電気工学専攻 (M)	82	—	164				
		電気工学専攻 (D)	6	—		18		電気工学専攻 (D)	6	—	18				
機械工学専攻 (M)		86	—	172	機械工学専攻 (M)	86		—	172						
機械工学専攻 (D)		7	—	21	機械工学専攻 (D)	7		—	21						
建築・都市学専攻 (M)		80	—	160	建築・都市学専攻 (M)	80		—	160						
建築・都市学専攻 (D)		7	—	21	建築・都市学専攻 (D)	7		—	21						
応用化学専攻 (M)		40	—	80	応用化学専攻 (M)	40		—	80						
応用化学専攻 (D)		5	—	15	応用化学専攻 (D)	5		—	15						
情報科学専攻 (M)		40	—	80	情報科学専攻 (M)	40		—	80						
情報科学専攻 (D)		3	—	9	情報科学専攻 (D)	3		—	9						
数学専攻 (M)		15	—	30	数学専攻 (M)	15		—	30						
数学専攻 (D)	3	—	9	数学専攻 (D)	3	—	9								
物理学専攻 (M)	16	—	32	物理学専攻 (M)	16	—	32								

農学研究科	物理学専攻(D)	3	—	9	農学研究科	物理学専攻(D)	3	—	9
	農芸化学専攻(M)	26	—	52		農芸化学専攻(M)	26	—	52
	農芸化学専攻(D)	2	—	6		農芸化学専攻(D)	2	—	6
	農学専攻(M)	20	—	40		農学専攻(M)	20	—	40
	農学専攻(D)	2	—	6		農学専攻(D)	2	—	6
	農業経済学専攻(M)	8	—	16		農業経済学専攻(M)	8	—	16
	農業経済学専攻(D)	2	—	6		農業経済学専攻(D)	2	—	6
	生命科学専攻(M)	26	—	52		生命科学専攻(M)	26	—	52
	生命科学専攻(D)	2	—	6		生命科学専攻(D)	2	—	6
	情報コミュニケーション研究科	情報コミュニケーション学専攻(M)	25	—		50	情報コミュニケーション研究科	情報コミュニケーション学専攻(M)	25
情報コミュニケーション学専攻(D)		6	—	18	情報コミュニケーション学専攻(D)	6		—	18
教養デザイン研究科	教養デザイン専攻(M)	20	—	40	教養デザイン研究科	教養デザイン専攻(M)	20	—	40
	教養デザイン専攻(D)	4	—	12		教養デザイン専攻(D)	4	—	12
先端数理科学研究科	現象数学専攻(M)	20	—	40	先端数理科学研究科	現象数学専攻(M)	20	—	40
	現象数学専攻(D)	5	—	15		現象数学専攻(D)	5	—	15
	先端メディアサイエンス専攻(M)	45	—	90		先端メディアサイエンス専攻(M)	45	—	90
	先端メディアサイエンス専攻(D)	6	—	18		先端メディアサイエンス専攻(D)	6	—	18
	ネットワークデザイン専攻(M)	36	—	72		ネットワークデザイン専攻(M)	36	—	72
	ネットワークデザイン専攻(D)	3	—	9		ネットワークデザイン専攻(D)	3	—	9
国際日本学研究科	国際日本学専攻(M)	20	—	40	国際日本学研究科	国際日本学専攻(M)	20	—	40
	国際日本学専攻(D)	5	—	15		国際日本学専攻(D)	5	—	15
グローバル・ガバナンス研究科	グローバル・ガバナンス専攻(D)	5	—	15	グローバル・ガバナンス研究科	グローバル・ガバナンス専攻(D)	5	—	15
明治大学専門職大学院					明治大学専門職大学院				
ガバナンス研究科	ガバナンス専攻(P)	55	—	110	ガバナンス研究科	ガバナンス専攻(P)	55	—	110
グローバル・ビジネス研究科	グローバル・ビジネス専攻(P)	85	—	170	グローバル・ビジネス研究科	グローバル・ビジネス専攻(P)	85	—	170
会計専門職研究科	会計専門職専攻(P)	80	—	160	会計専門職研究科	会計専門職専攻(P)	80	—	160
法務研究科	法務専攻(P)	40	—	120	法務研究科	法務専攻(P)	40	—	120
計		1,255		2,685	計		1,255		2,685